

「地域イノベーション協創プログラム」 施策実施効果に関する調査・分析

地域イノベーション創出共同体形成事業

【アンケート調査結果】

1. アンケート調査結果

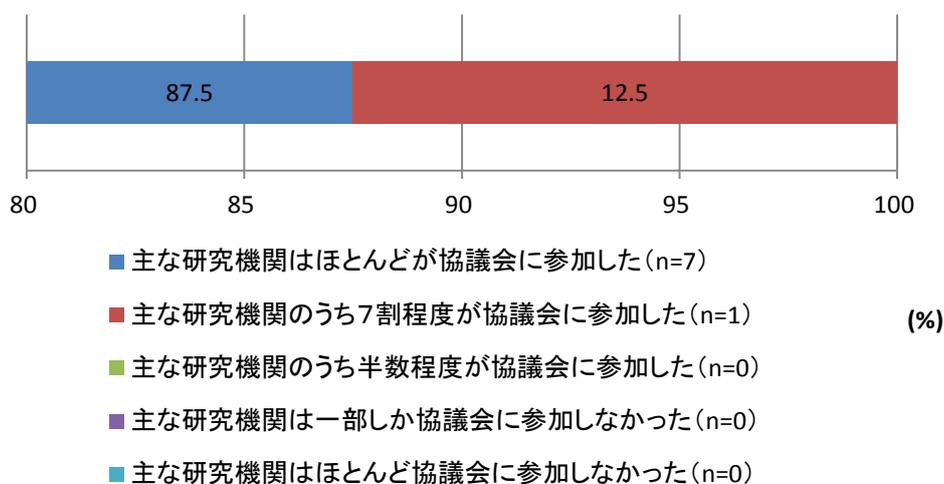
(1) 補助事業者向けアンケート

送付数：12 件

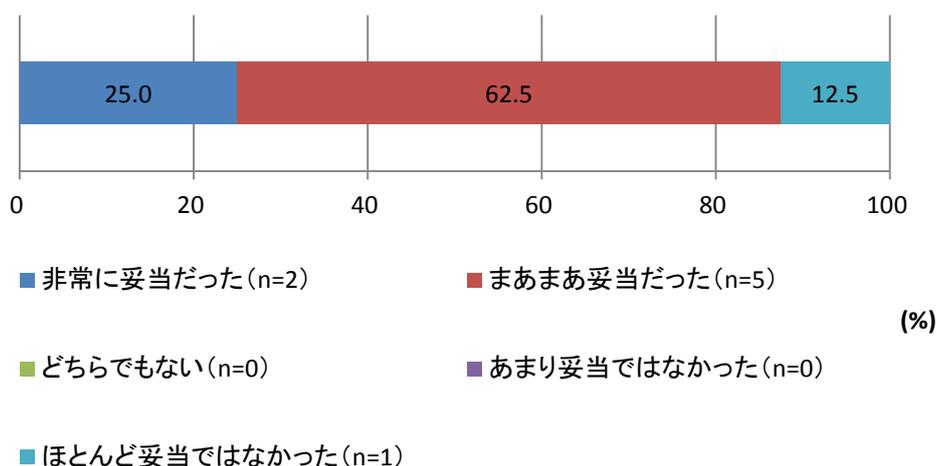
回収数：9 件

(2/14 時点)

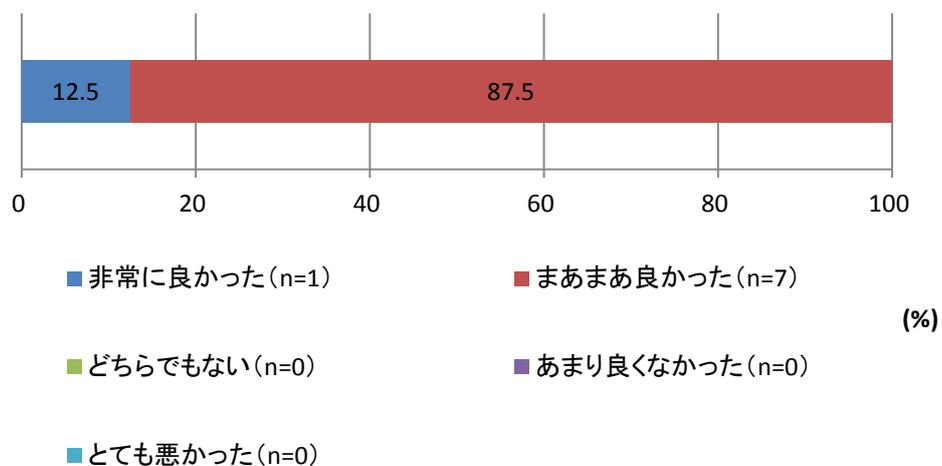
地域の主要な研究機関等は協議会へ参加しましたか。(S A)



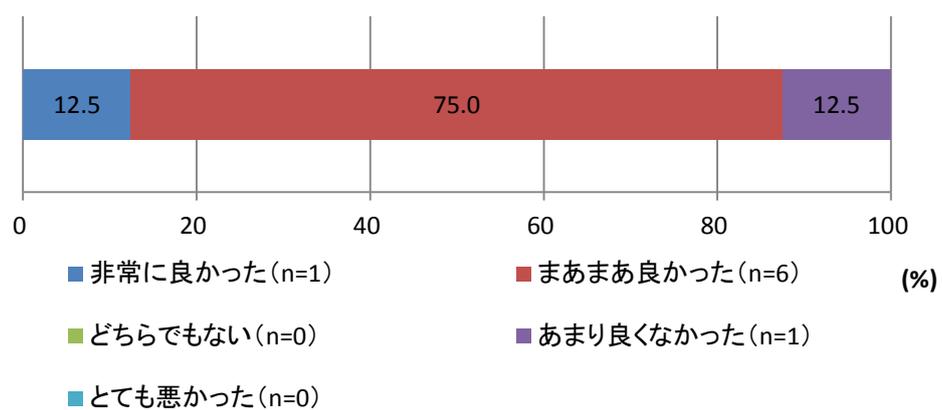
設置機器の選定方法及び設置機関、設置機器に関する分野は妥当でしたか。(S A)



本制度の補助を受けて実施した事業の自己評価（総合評価）をしてください。（S A）



本制度の事業設計等に関する全体の評価をしてください。（S A）



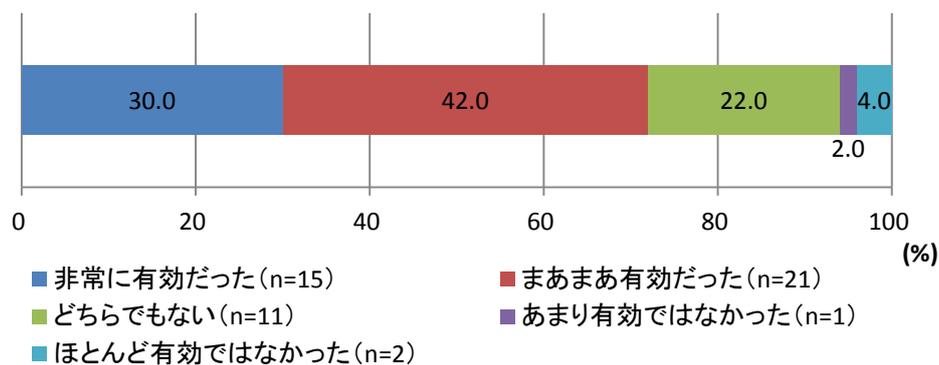
(2) 共同体構成員向けアンケート

送付数：93 件（他、地方経済産業局経由での送付有り）

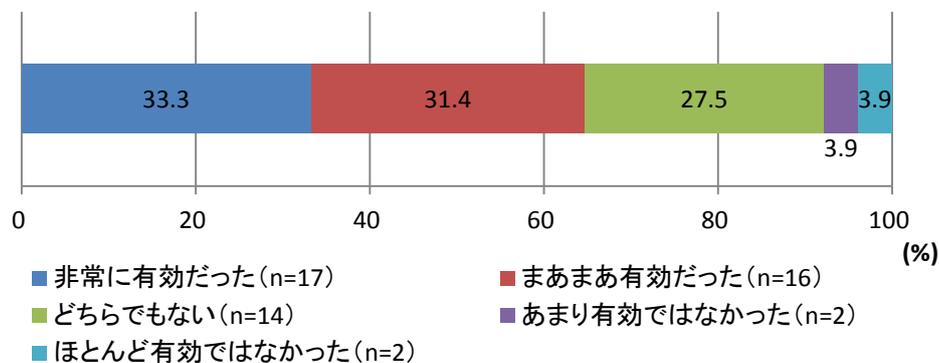
回収数：63 件

(2/14 時点)

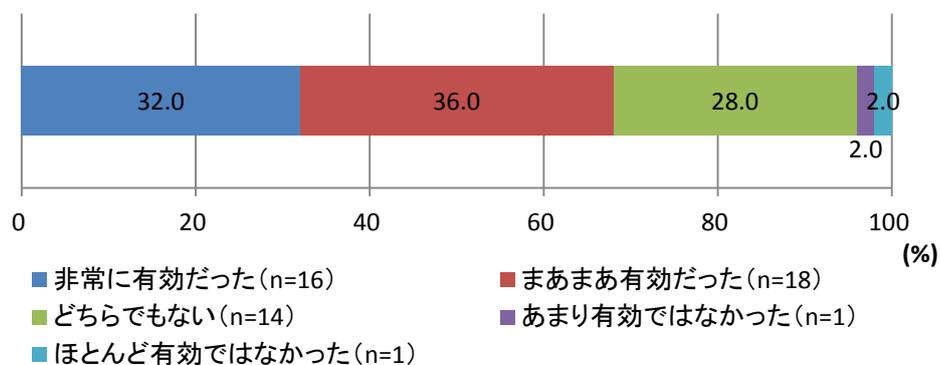
事業実施年度における、設置機器に関する研修会・研究会について、開催時期及び開催回数は有効でしたか。(S A)



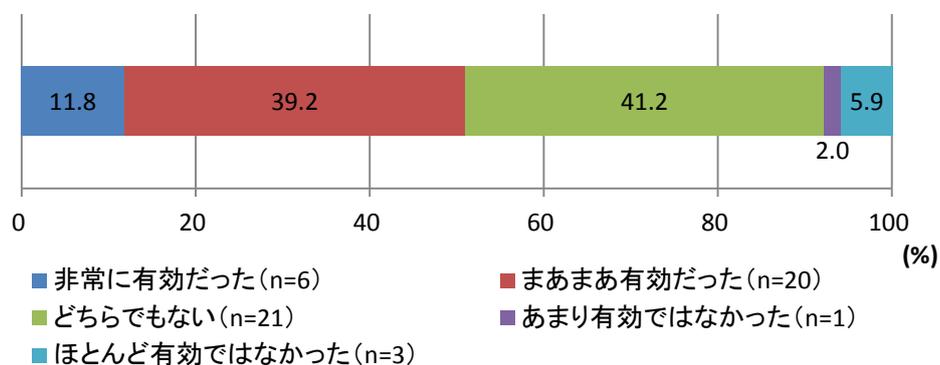
事業実施年度における、設置機器に関する研修会・研究会について、開催場所は有効でしたか。(S A)



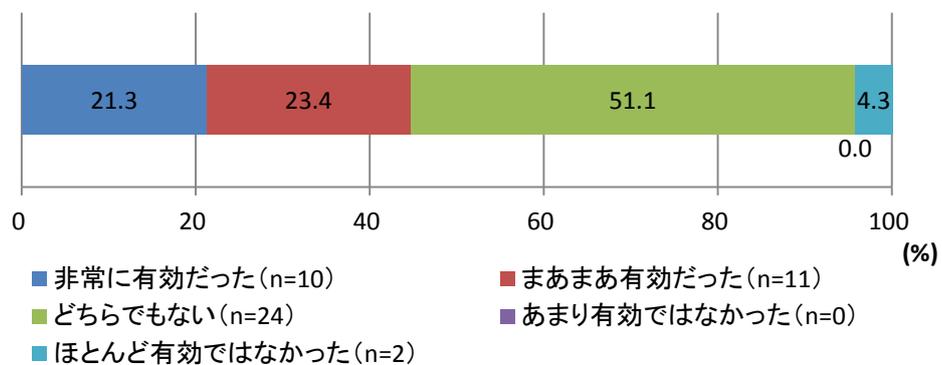
事業実施年度における、設置機器に関する研修会・研究会について、内容は有効でしたか。また、その理由をお答えください。(S A)



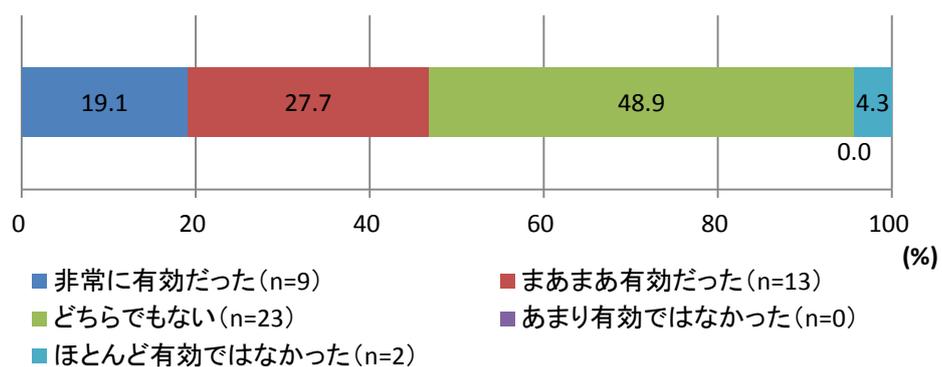
事業実施年度における、その他の研修会・研究会について、開催時期は有効でしたか。(S A)



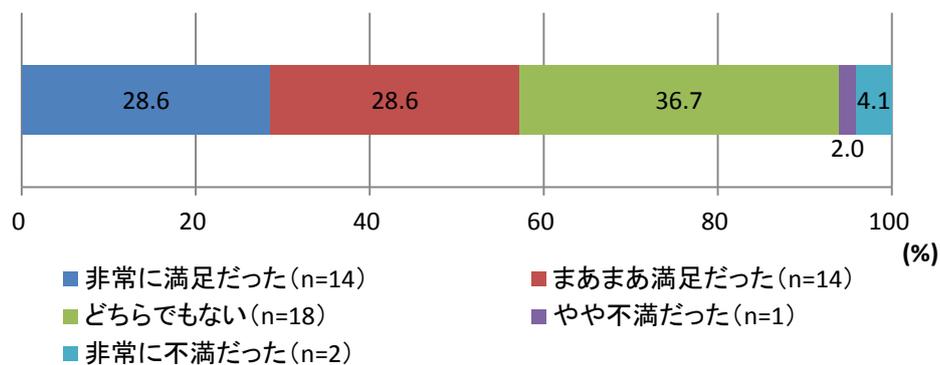
事業実施年度における、その他の研修会・研究会について、開催場所は有効でしたか。(S A)



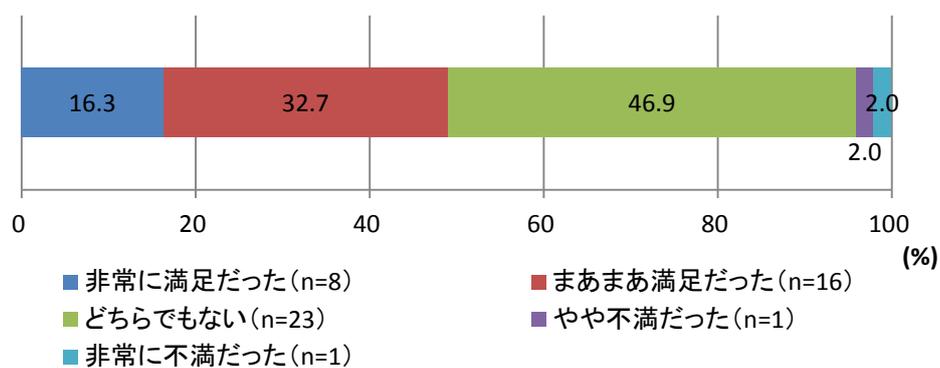
事業実施年度における、その他の研修会・研究会について、内容は有効でしたか。(S A)



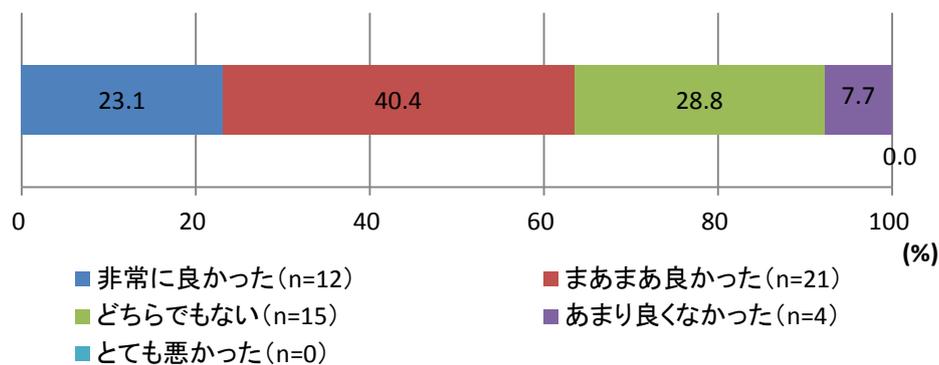
事業実施年度における、コーディネータについて、その専門性は満足でしたか。(S A)



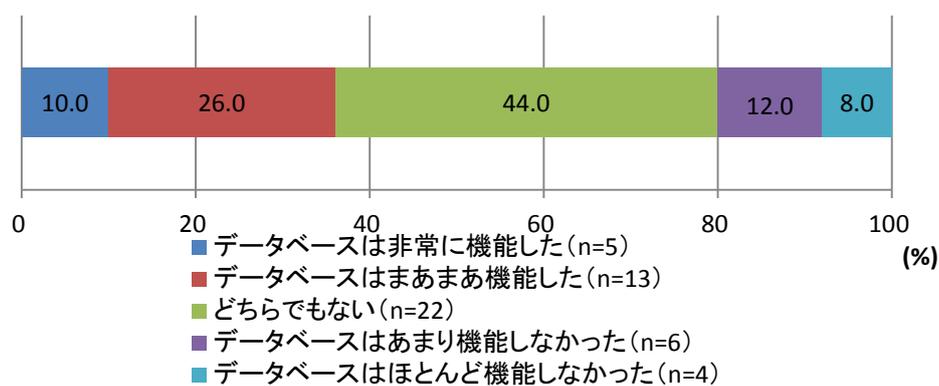
事業実施年度における、コーディネータについて、その人数は満足でしたか。(S A)



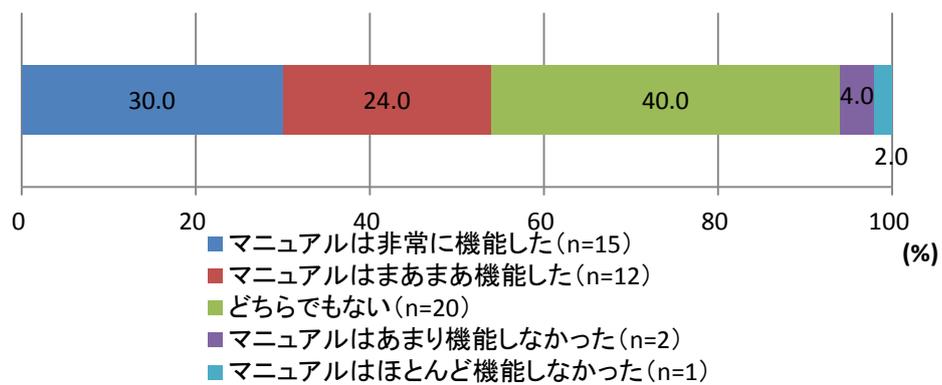
補助事業実施結果を踏まえた、本件制度設計等に関する全体の評価をしてください。(S A)



データベースは有効に機能しましたか。(S A)



マニュアルは有効に機能しましたか。(S A)



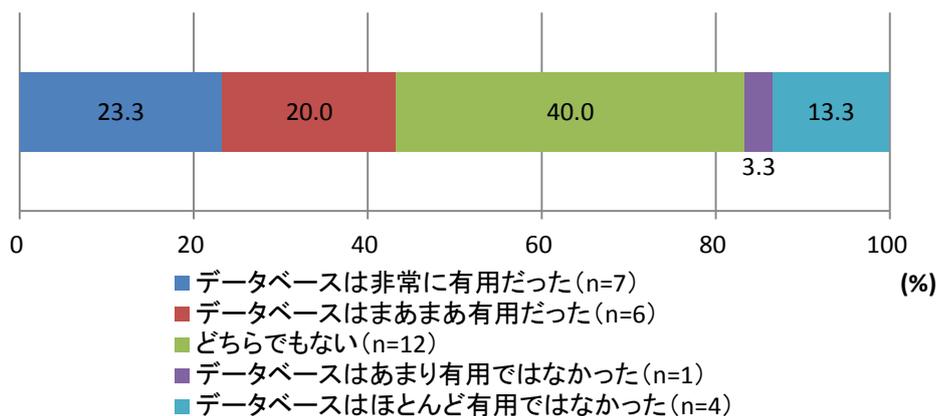
(3) 利用企業向けアンケート

送付数：21件（他、地方経済産業局経由での送付有り）

回収数：35件

（2/14時点）

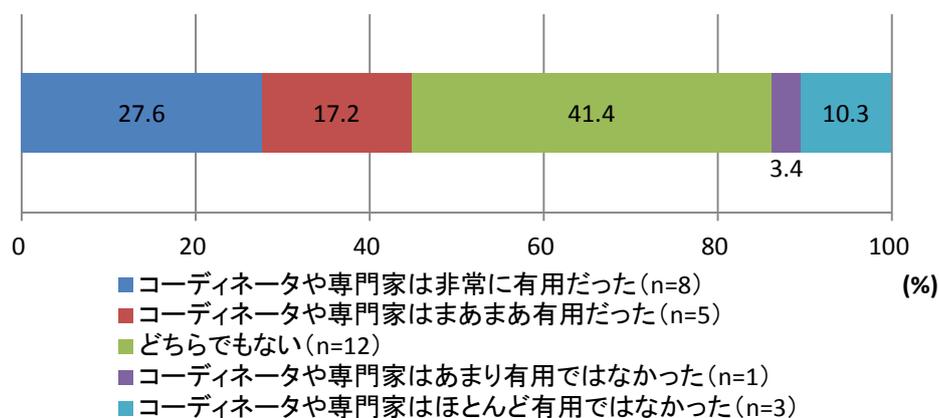
補助事業により構築されたデータベースは有用でしたか。（S A）



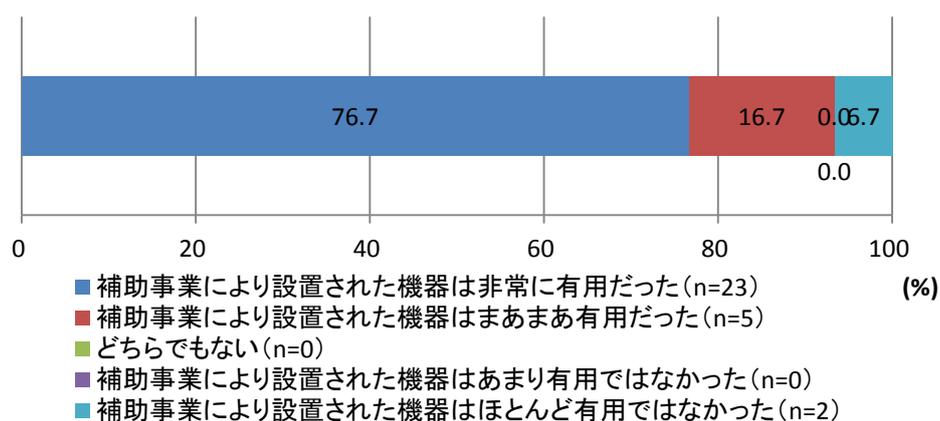
補助事業により実施された研修会・研究会は有用でしたか。（S A）



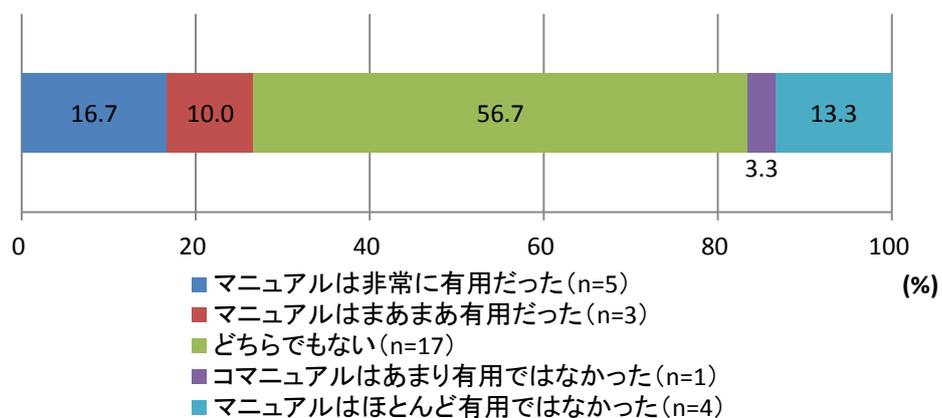
補助事業により配置されたコーディネータや専門家は有用でしたか。(S A)



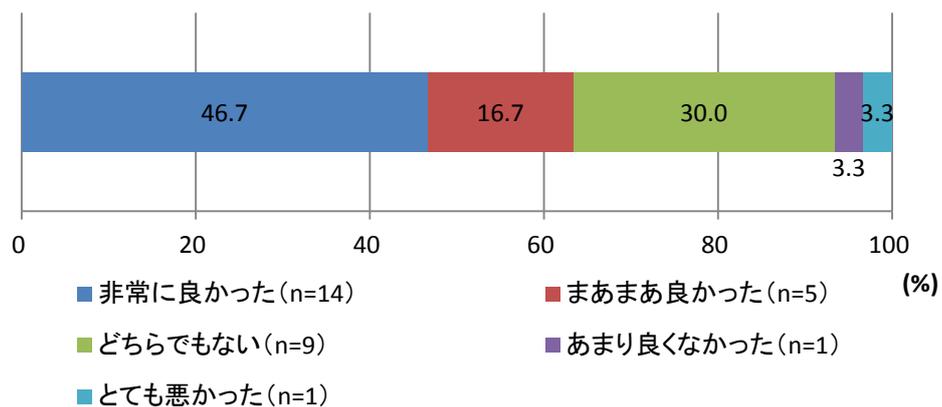
補助事業により設置された機器は有用でしたか。(S A)



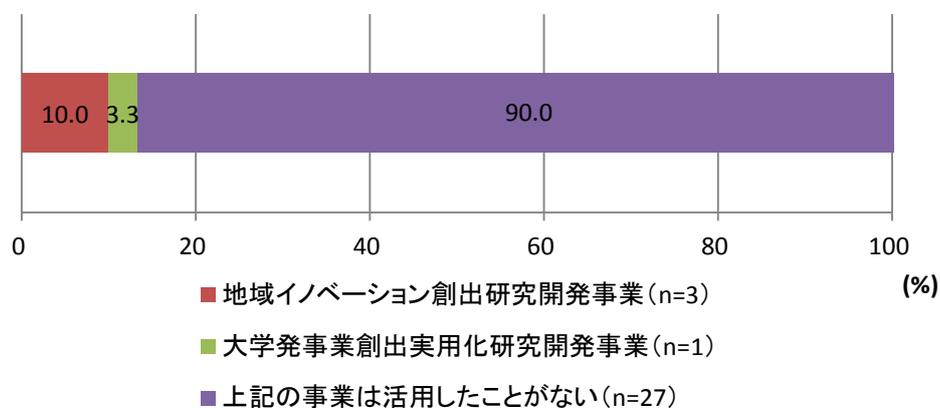
補助事業により作成されたマニュアルは有用でしたか。(S A)



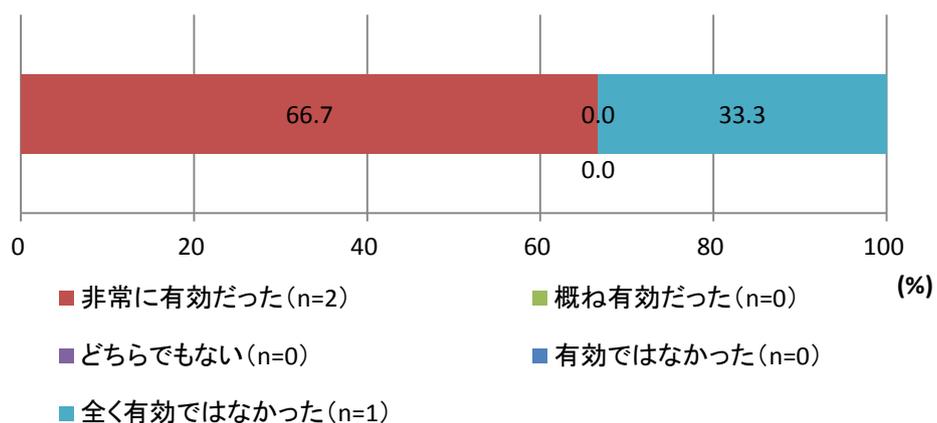
実施体制等の評価をしてください。(S A)



「地域イノベーション創出共同体形成事業」の他「地域イノベーション協創プログラム」を構成する
下記事業について活用した事業はありますか。(MA)



活用した事業がある場合、連携することは有効でしたか (SA)



「地域イノベーション協創プログラム」
施策実施効果に関する調査・分析

創造的産学連携体制整備事業

【アンケート調査結果】

1. アンケート調査結果

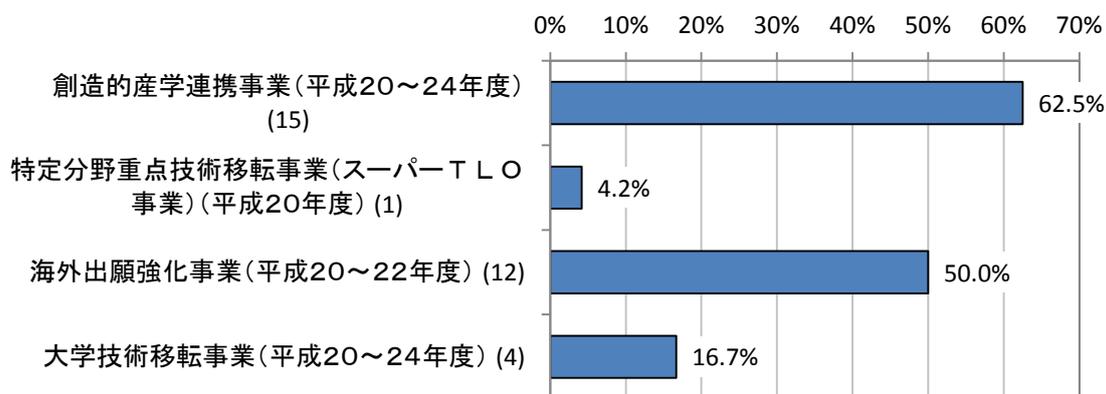
(1) 補助事業者向けアンケート

送付数：44 件

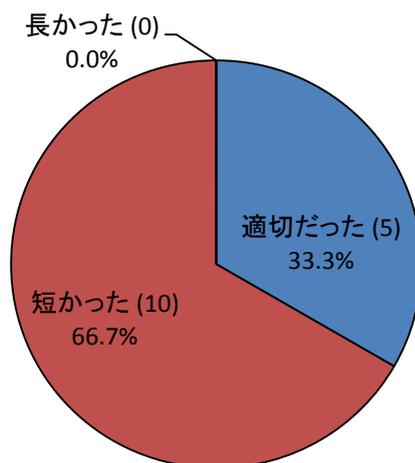
回収数：24 件

(2/14 時点)

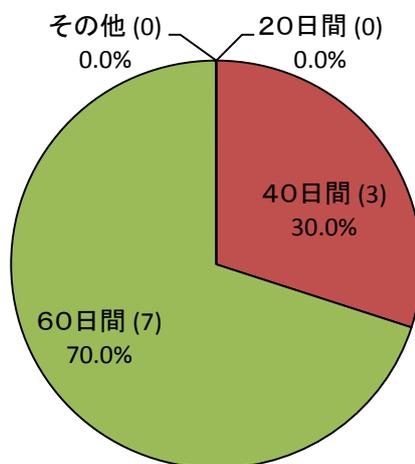
以下のうち採択された経験がある事業をお選びください。(複数回答) (n=24)



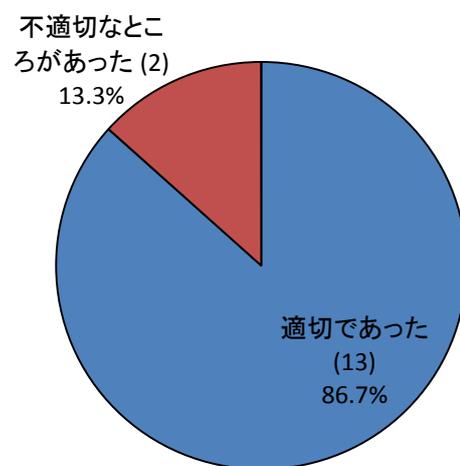
【創造的産学連携事業】本制度の公募期間は適切でしたか。現在の公募期間は約30日です。(n=15)



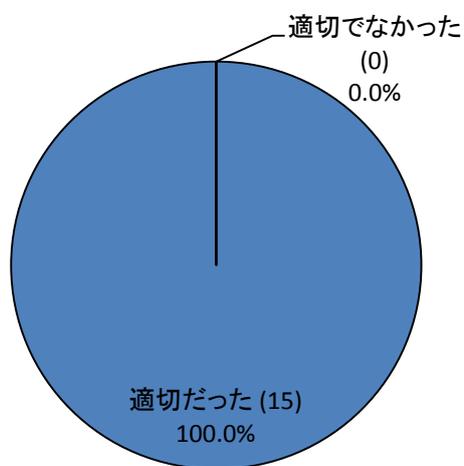
【創造的産学連携事業】「短かった」及び「長かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適当とお考えですか。(n=10)



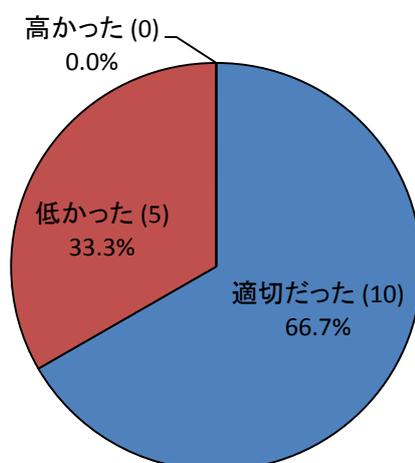
【創造的産学連携事業】補助金の内容（補助対象経費の費目）は適切とお考えですか。(n=15)



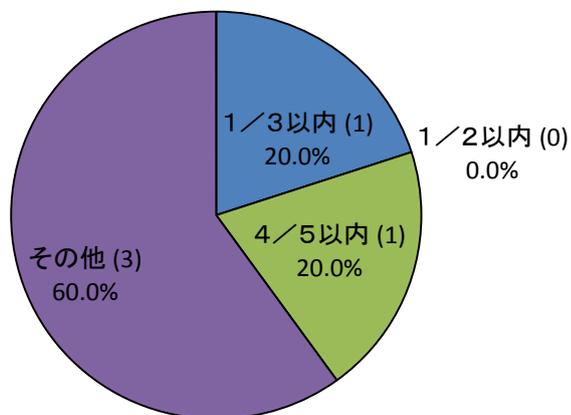
【創造的産学連携事業】補助金額の上限額・下限額は適切でしたか。(n=15)



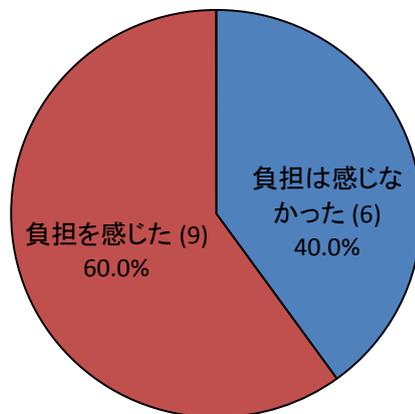
【創造的産学連携事業】本制度の補助率（助成対象経費の3分の2以内）は適切でしたか。(n=15)



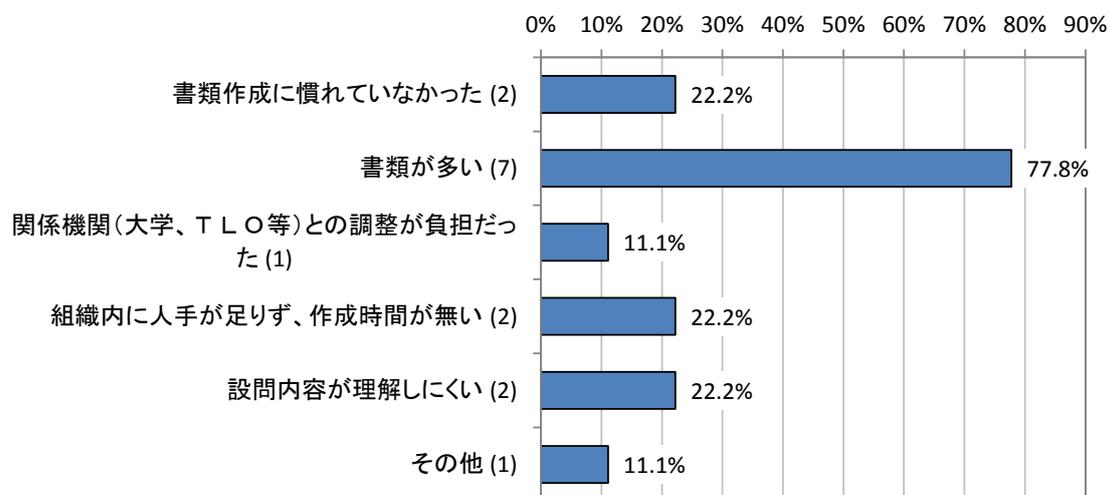
【創造的産学連携事業】「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適当とお考えですか。(n=5)



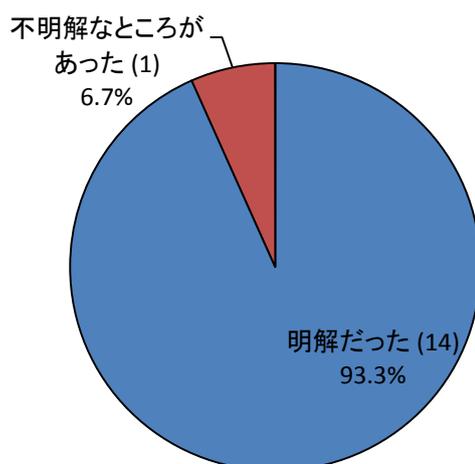
【創造的産学連携事業】応募に必要な申請書類作成時の作業負荷はどの程度でしたか。(n=15)



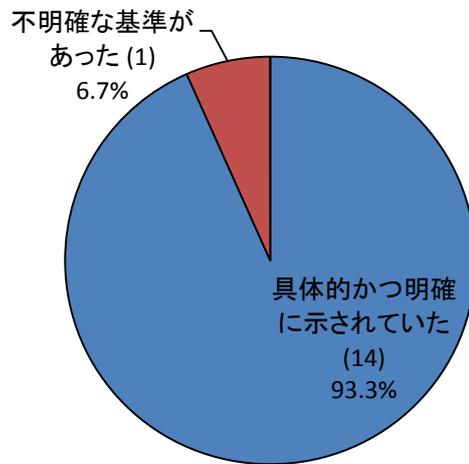
【創造的産学連携事業】「負担を感じた」場合の理由（複数回答）（n=9）



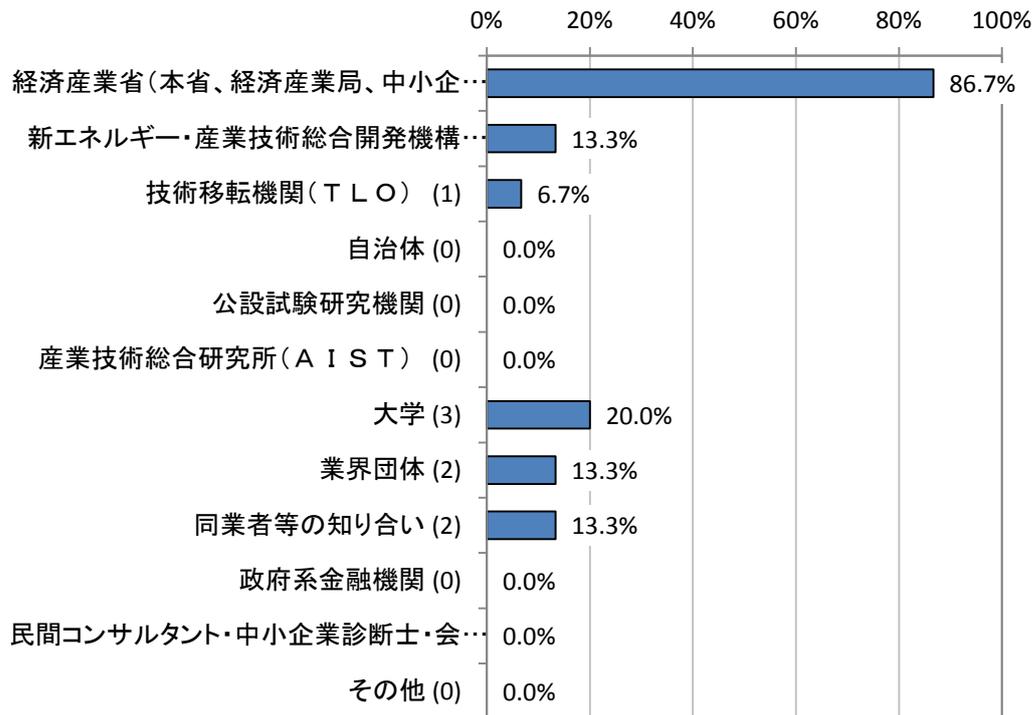
【創造的産学連携事業】審査の手続きは明解でしたか。（n=15）



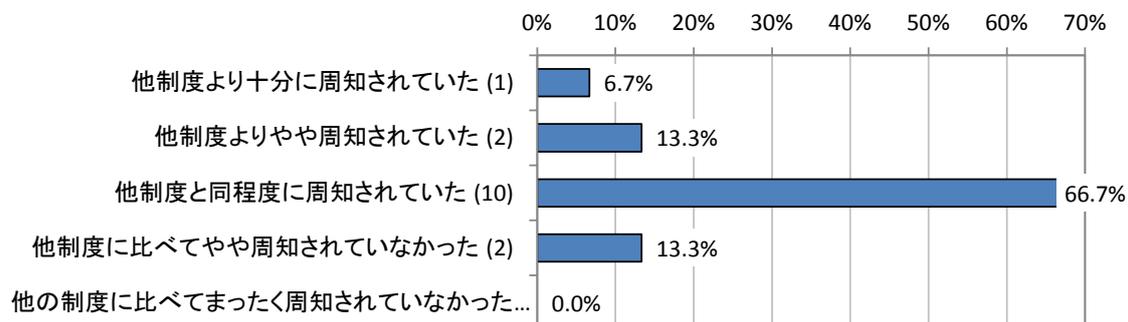
【創造的産学連携事業】具体的かつ明確な審査基準が示されていましたか。(n=15)



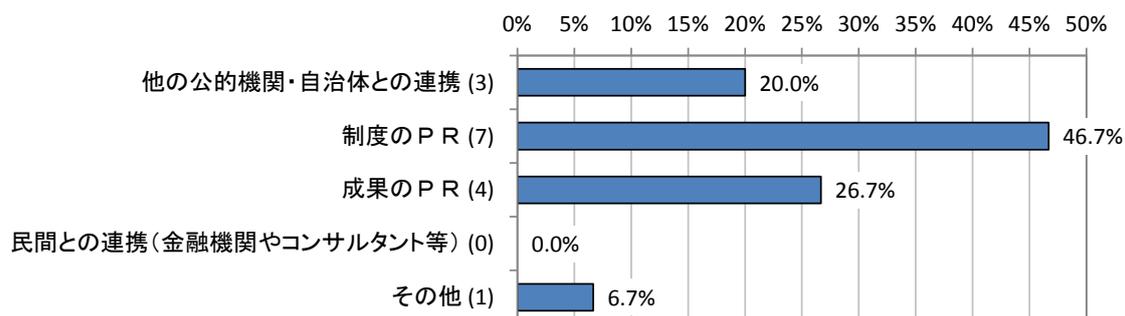
【創造的産学連携事業】本制度の公募が実施されることをどこから知りましたか。(複数回答)(n=15)



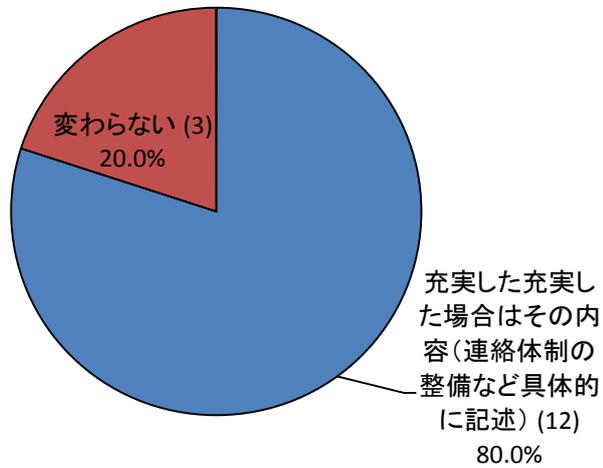
【創造的産学連携事業】本制度は他の制度に比べて周知されていましたか。(n=15)



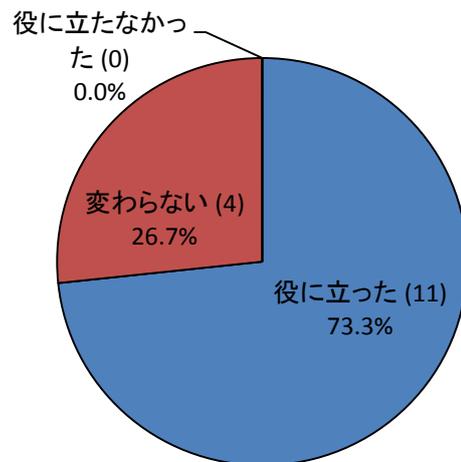
【創造的産学連携事業】本制度のような産学連携に関する国制度を、世の中にさらに知ってもらうために必要なことはどんなこととお考えですか。(n=15)



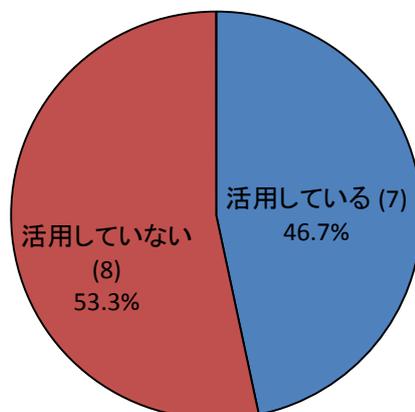
【創造的産学連携事業】地域の大学や企業等との連携体制が充実しましたか。(n=15)



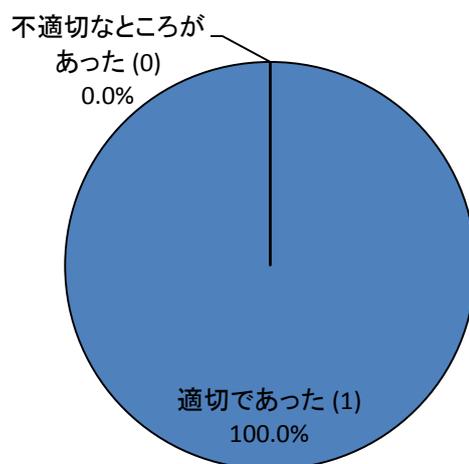
【創造的産学連携事業】他地域（他県）の大学やT L O等との提携による広域化や専門化は技術相談などの産学連携活動に役立ちましたか。(n=15)



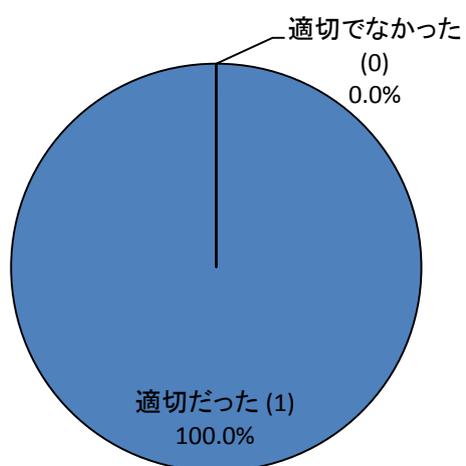
【創造的産学連携事業】「産学連携専門人材活用推進事業」において、活用した専門人材は現在においても活用していますか。(n=15)



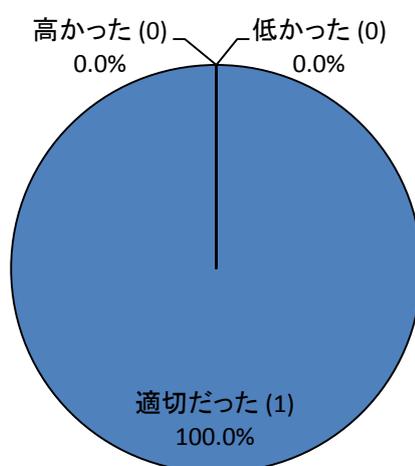
【特定分野重点技術移転事業】補助金の内容（補助対象経費の費目）は適切とお考えですか。(n=1)



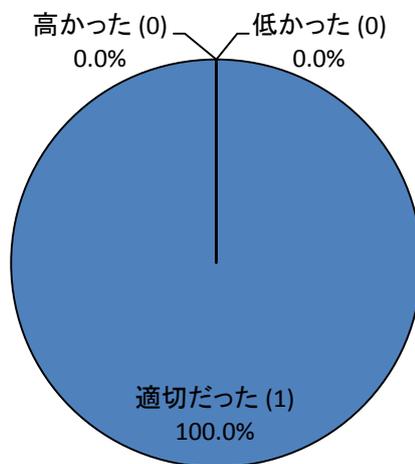
【特定分野重点技術移転事業】補助金額の下限額は適切でしたか。(n=1)



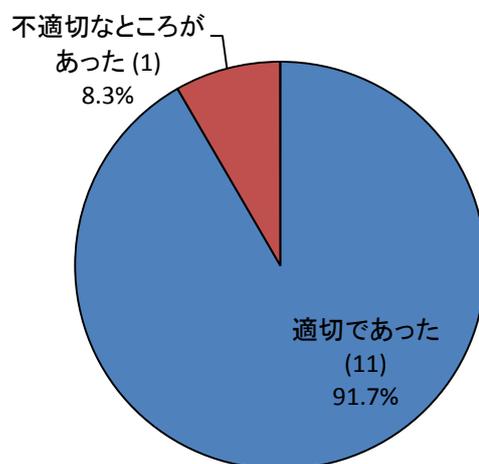
【特定分野重点技術移転事業】補助金額の下限額は適切でしたか。／適切でなかった (数値)



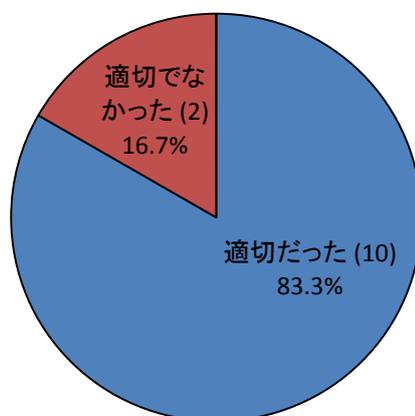
【特定分野重点技術移転事業】本制度の補助率（助成対象経費の3分の2以内）は適切でしたか。（n=1）



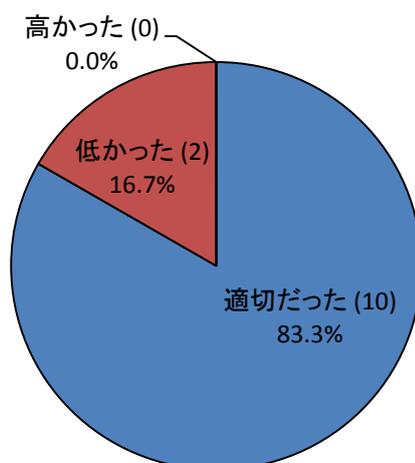
【海外出願強化事業】補助金の内容（補助対象経費の費目）は適切とお考えですか。（n=12）



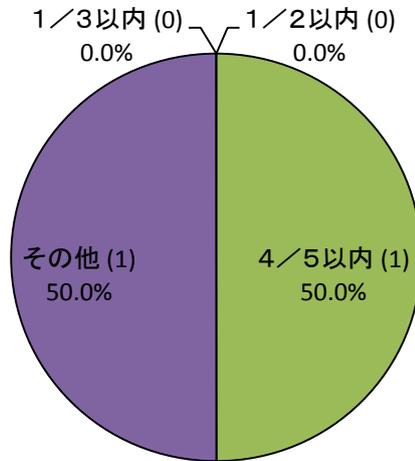
【海外出願強化事業】補助金額の下限額は適切でしたか。(n=12)



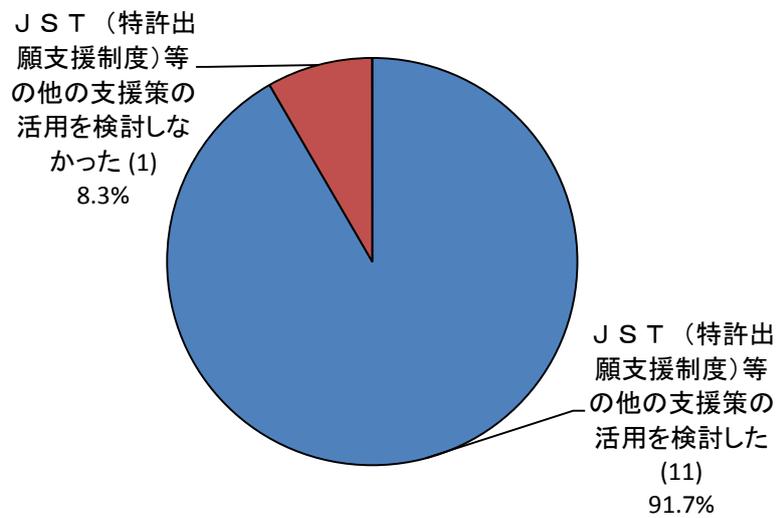
【海外出願強化事業】本制度の補助率（助成対象経費の3分の2以内）は適切でしたか。(n=12)



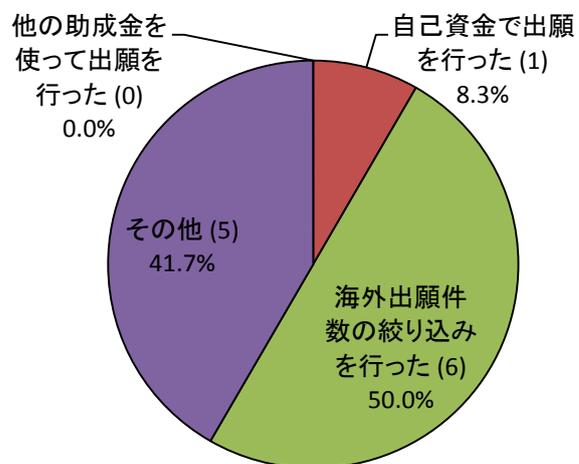
【海外出願強化事業】「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適切とお考えですか。(n=2)



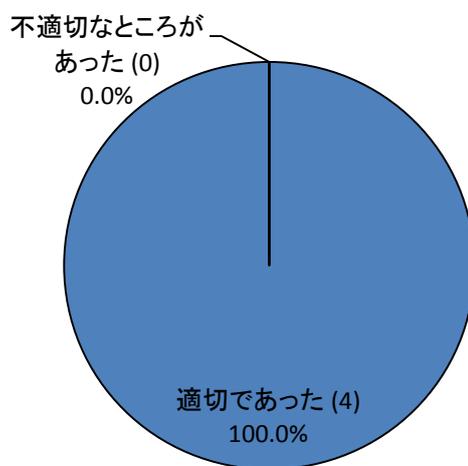
【海外出願強化事業】交付申請時に① J S T（特許出願支援制度）等の他の支援策の活用を検討しましたか。(n=12)



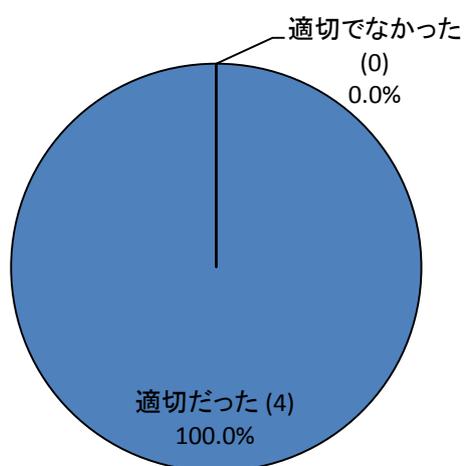
【海外出願強化事業】本補助金がなかった場合、海外出願をどのように行いましたか。
(n=12)



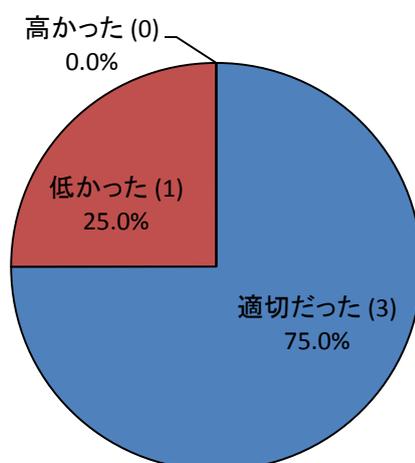
【大学技術移転事業】補助金の内容（補助対象経費の費目）は適切とお考えですか。
(n=4)



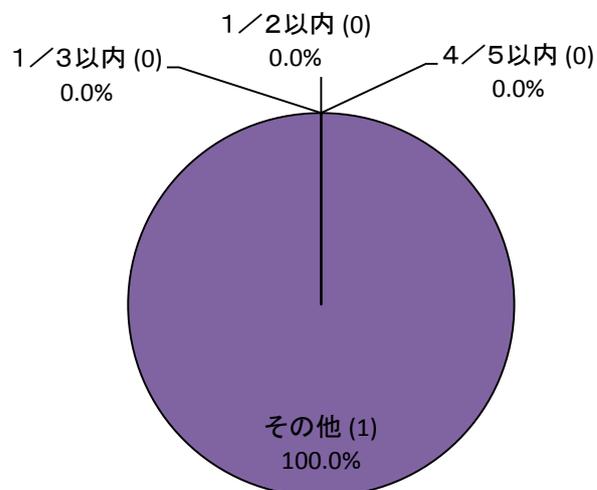
【大学技術移転事業】補助金額の上限額及び下限額は適切でしたか。(n=4)



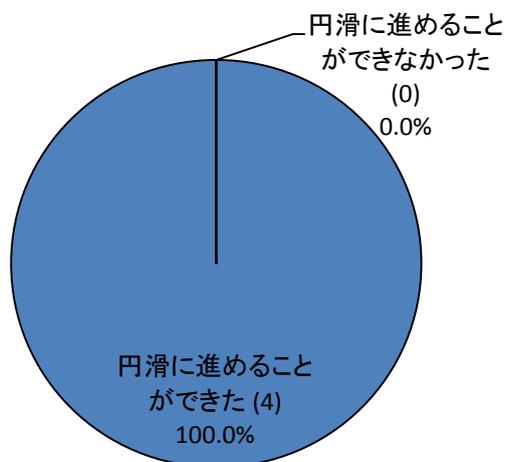
【大学技術移転事業】本制度の補助率（助成対象経費の3分の2以内）は適切でしたか。(n=4)



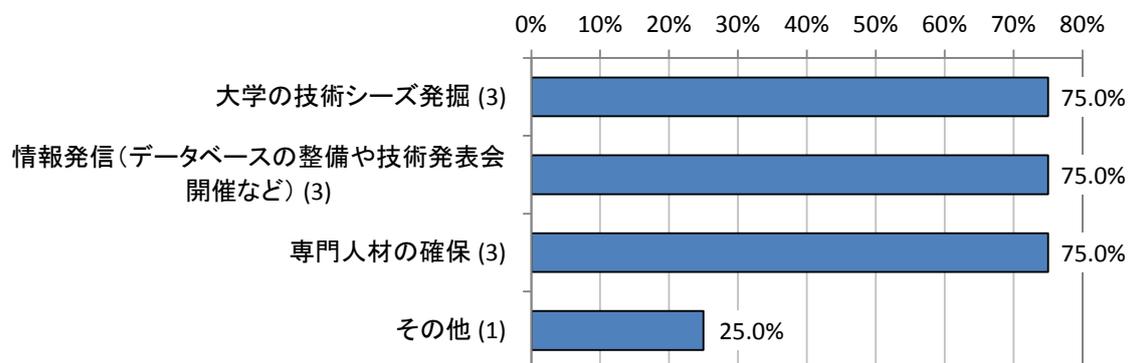
【大学技術移転事業】「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適切とお考えですか。(n=1)



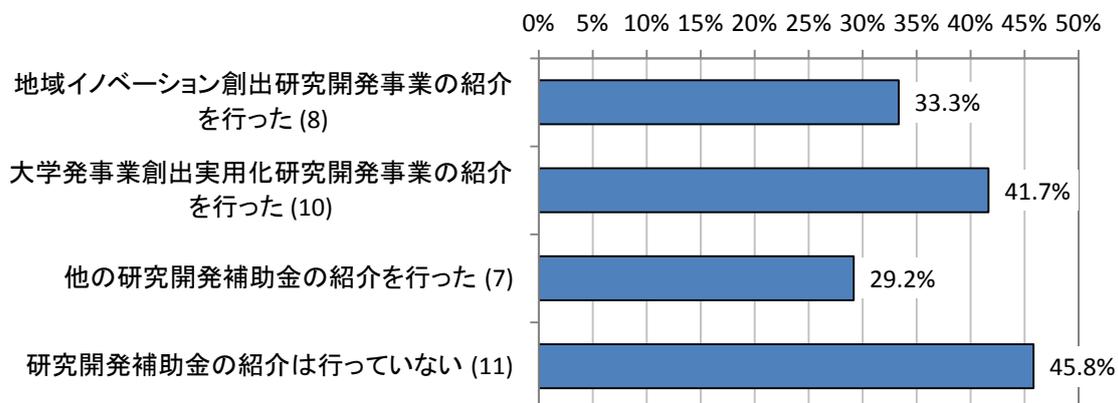
【大学技術移転事業】本事業があったことで、なかった場合と比べて、技術移転事業を円滑に進めることができましたか。(n=4)



【大学技術移転事業】どのような支援が効果的でしたか。(複数回答) (n=4)



企業や大学等に対して、「地域イノベーション協創プログラム」内の研究開発補助金（地域イノベーション創出研究開発事業、大学発事業創出実用化研究開発事業）の紹介を行ったことがありますか。(複数回答) (n=24)



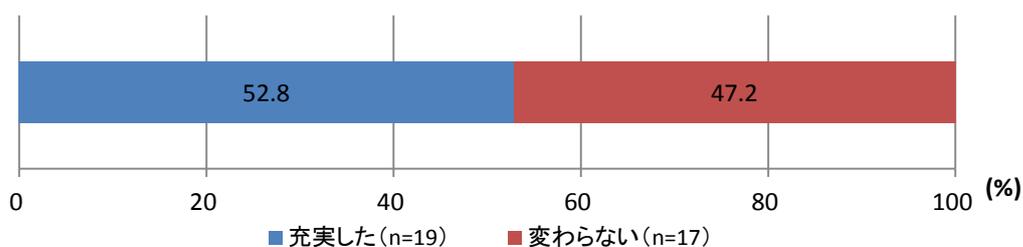
(2) 提携大学向けアンケート

送付数：87 件

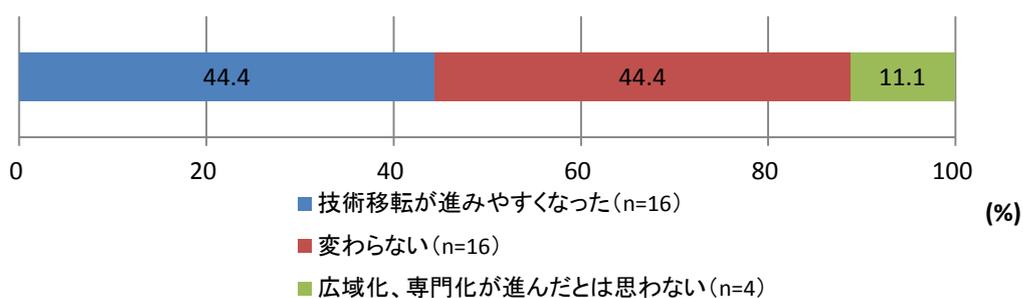
回収数：36 件

(2/14 時点)

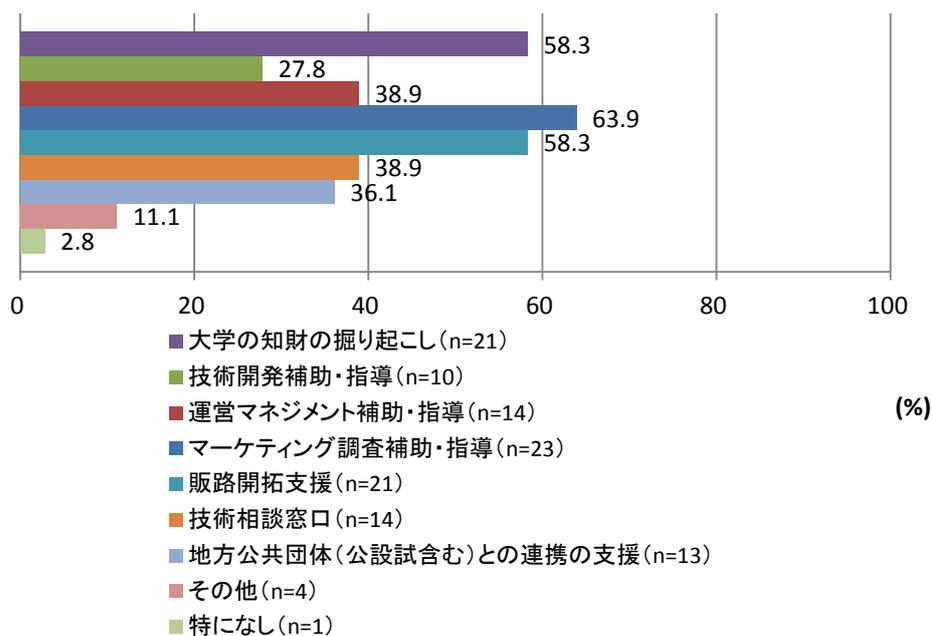
企業との連携体制が充実しましたか。(SA)



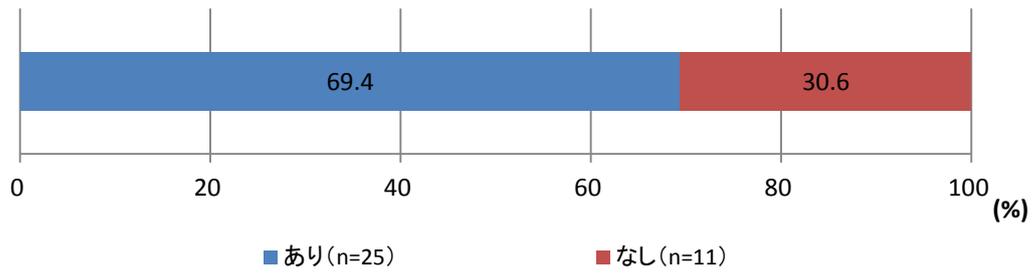
TLOが他地域（他県）の大学等と提携することによる広域化や専門化が進むことによって大学からの技術移転が進みやすくなったと感じますか。(SA)



TLOに期待する役割は何ですか。(MA)



TLOの活動が盛んになったことで、大学にとってメリットがありましたか。(SA)



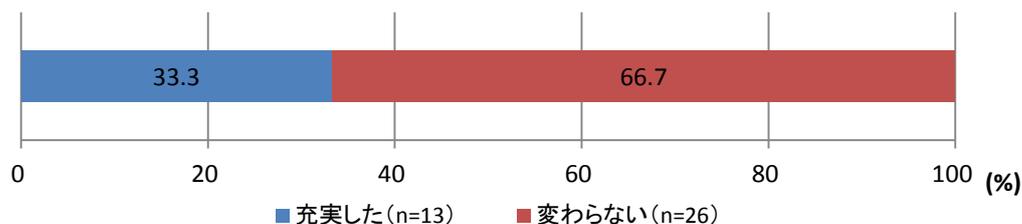
(3) 企業向けアンケート

送付数：176 件

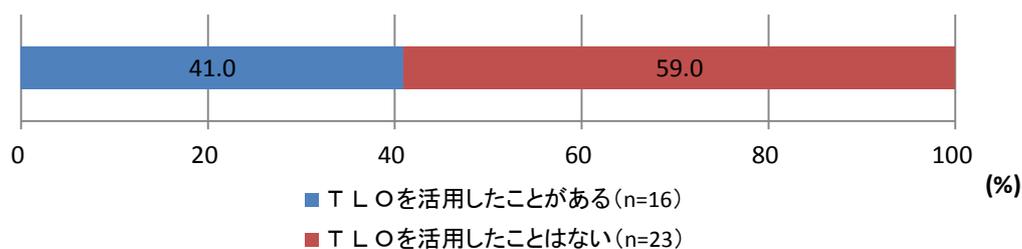
回収数：39 件

(2/14 時点)

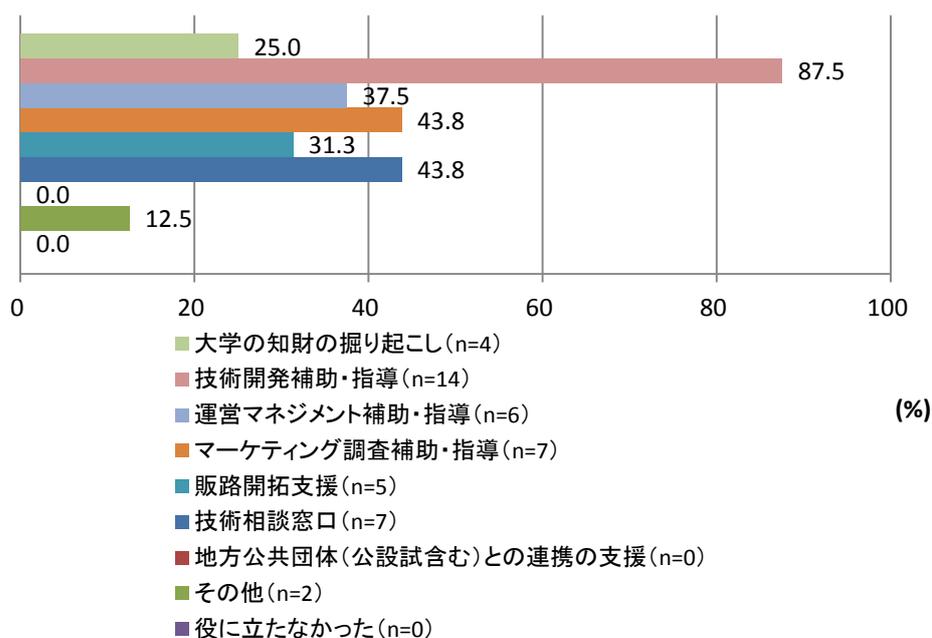
大学との連携体制が充実しましたか。(S A)



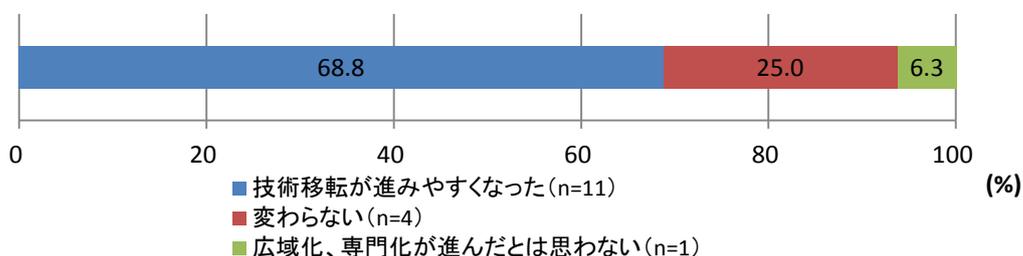
大学等からの技術移転や技術相談等に T L O を活用したことがありますか。(S A)



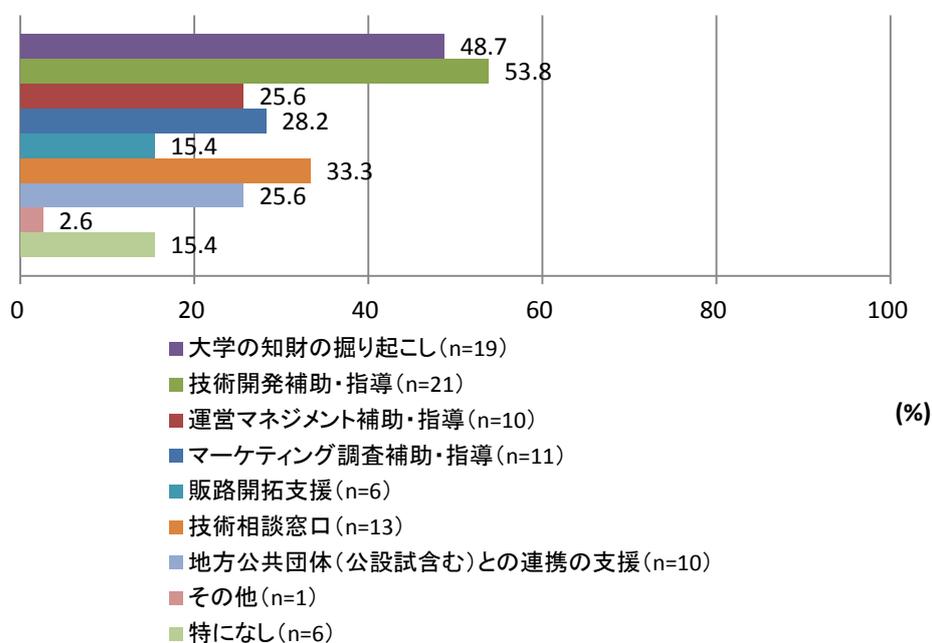
T L O のどのような機能が役に立ちましたか。(M A)



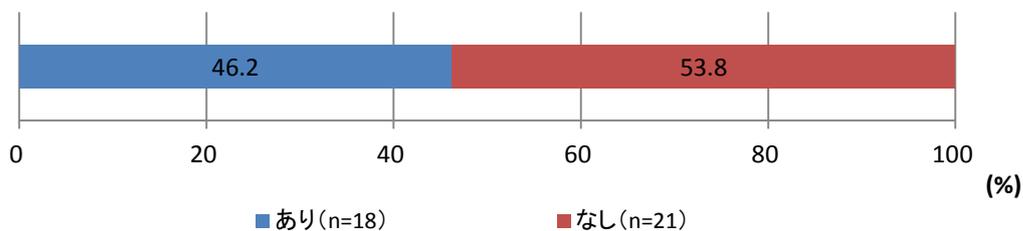
TLOが他地域（他県）の大学等と提携することによる広域化や専門化が進むことによって大学からの技術移転が進みやすくなったと感じますか。（SA）



TLOに期待する役割は何ですか。（MA）



TLOの活動が盛んになったことで、企業にとってメリットがありましたか。（SA）



「地域イノベーション協創プログラム」
施策実施効果に関する調査・分析

地域イノベーション創出研究開発事業

【アンケート調査結果】

「地域イノベーション協創プログラム」 施策実施効果に関する調査・分析

地域イノベーション創出研究開発事業

【アンケート調査結果】

1. アンケート調査結果

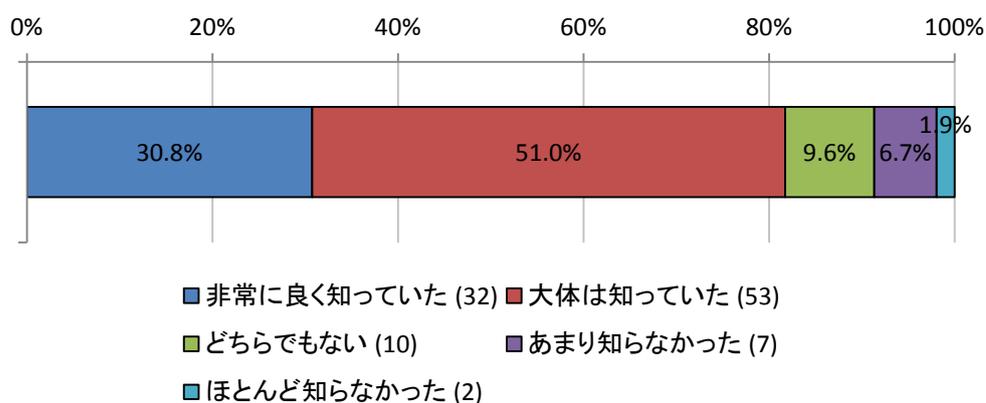
(1) 受託事業者向けアンケート

送付数：253 件

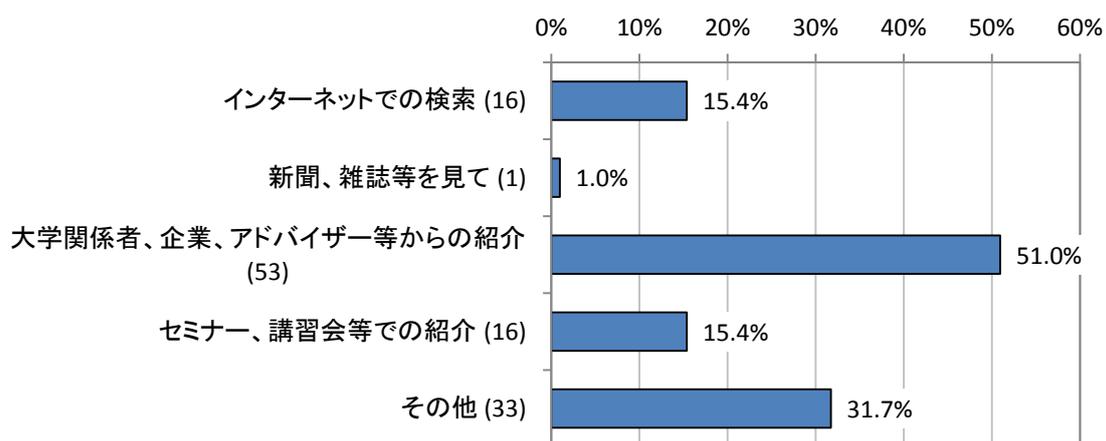
回収数：140 件

(2/14 時点)

本事業をどの程度知っていましたか。(SA)

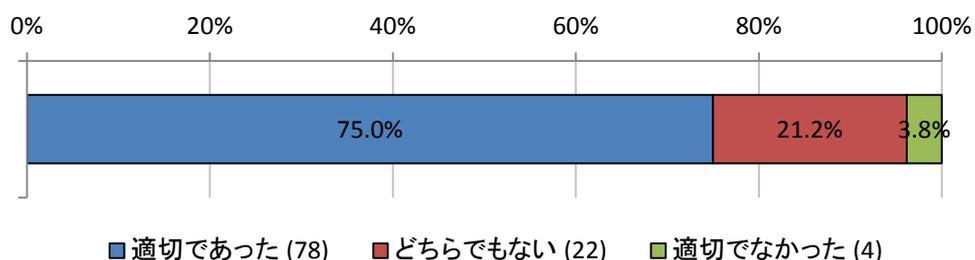


本事業を知ったきっかけについておたずねします。(MA)



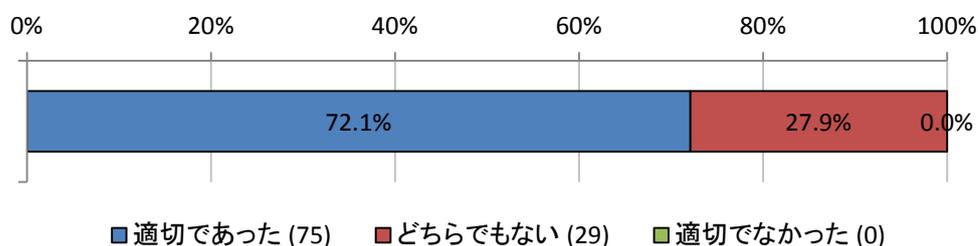
本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／応募期間（SA）



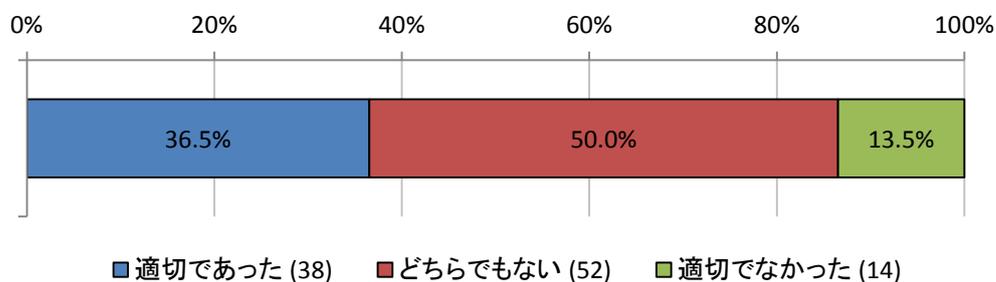
下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／事業採択までの諸手続の説明（SA）



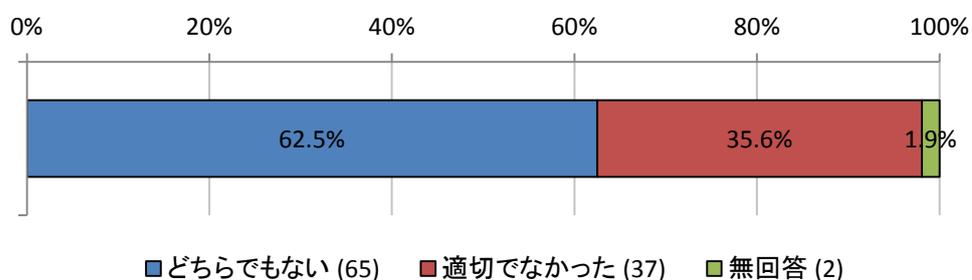
下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／申請書作成にかかる負荷（SA）

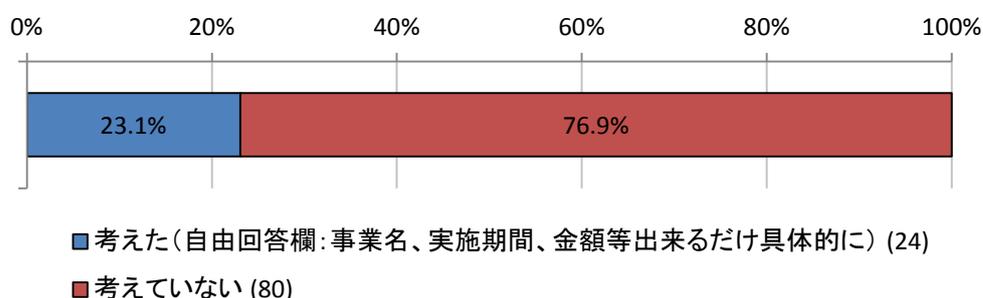


下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

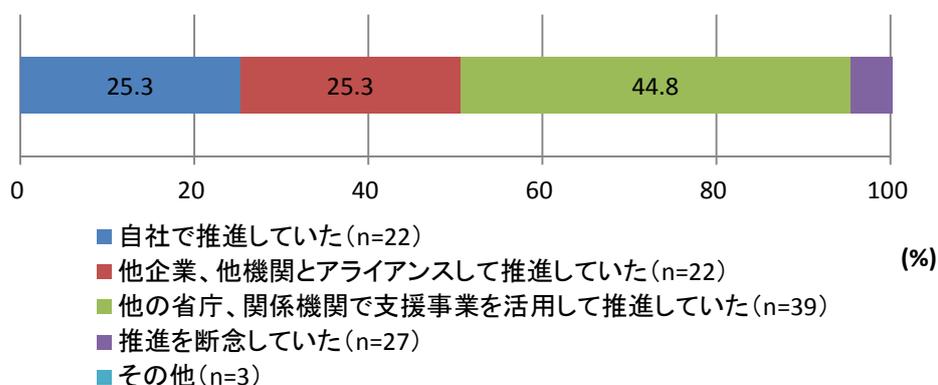
／申請の採択基準（SA）



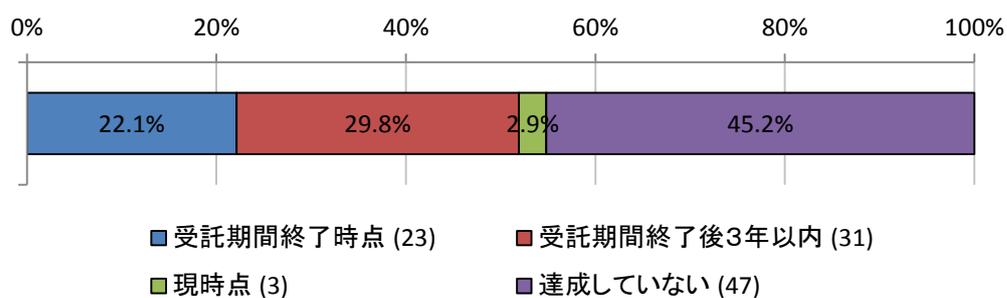
応募の際に、応募テーマに関して他省庁、関係機関の支援事業の活用を考えましたか。(S A)



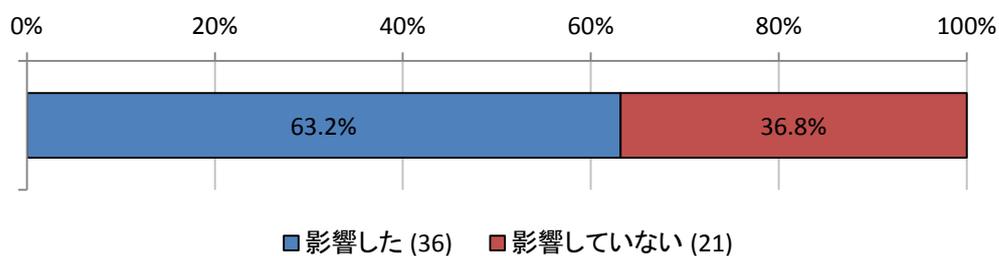
仮に本事業がなかった場合、応募テーマはどのように推進していましたか。(M A)



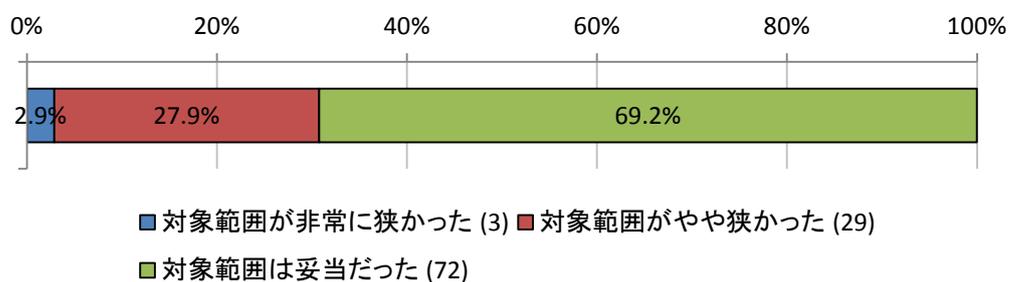
研究開発(実用化)はいつ達成しましたか。(S A)



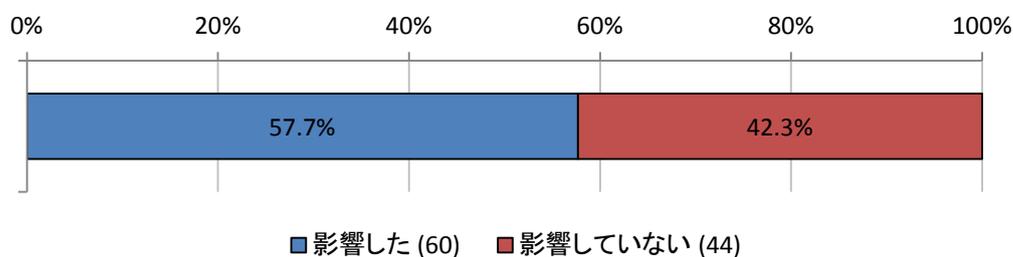
支援対象範囲は達成状況に影響しましたか。(S A)



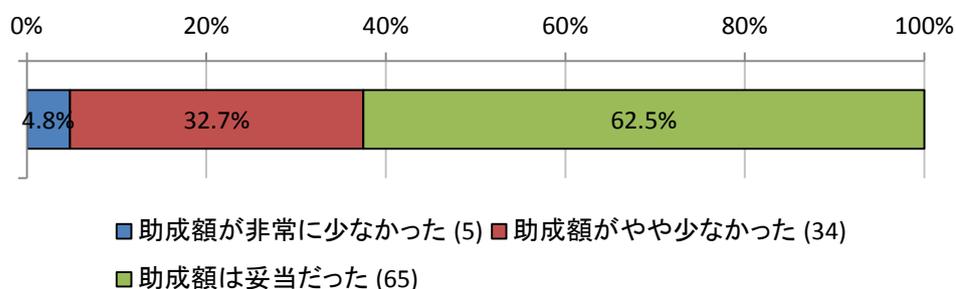
支援対象範囲について、お考えをお聞きます。(S A)



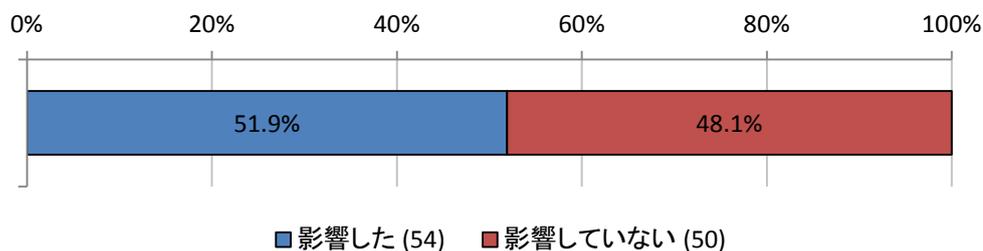
助成額は、達成状況に影響しましたか。(S A)



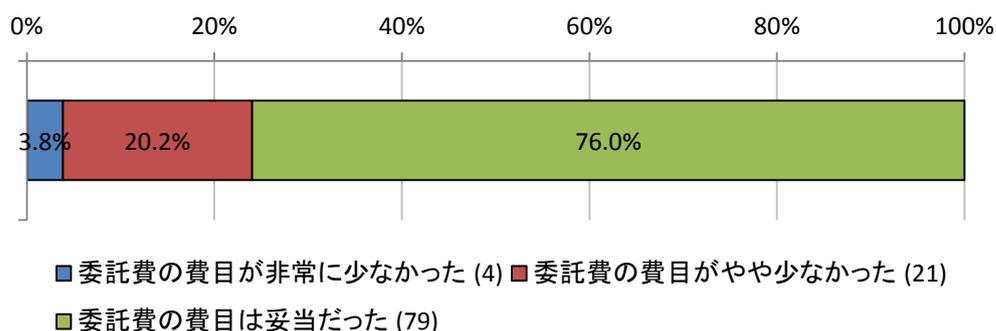
助成額について、お考えをお聞きます。(S A)



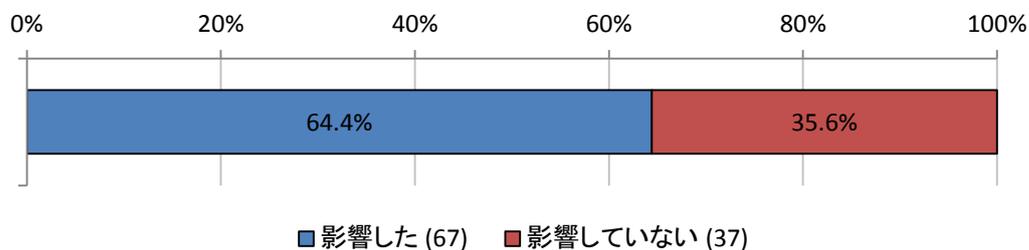
委託費の費目は、達成状況に影響しましたか。(S A)



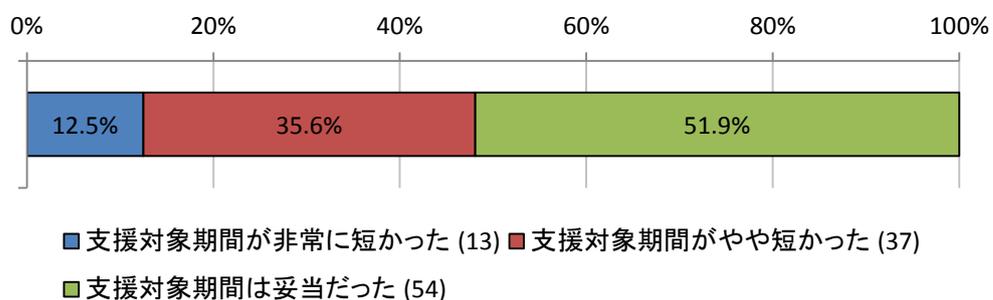
委託費の費目について、お考えをお聞きます。(S A)



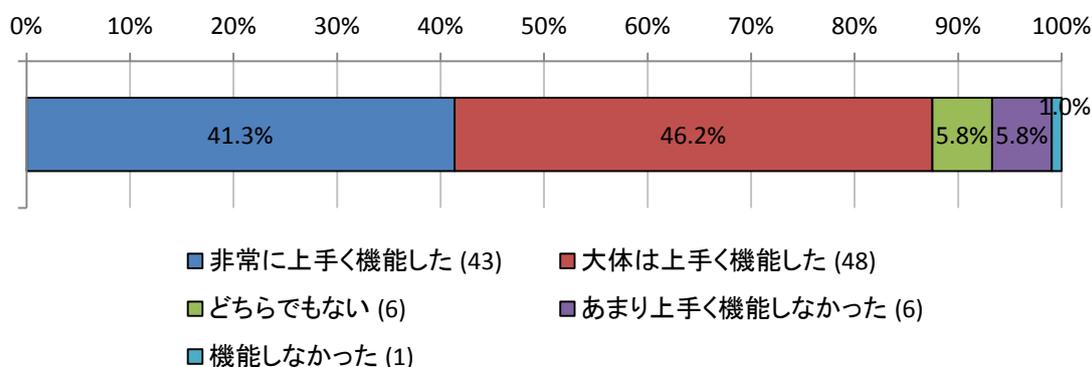
支援対象期間は、達成状況に影響しましたか。(S A)



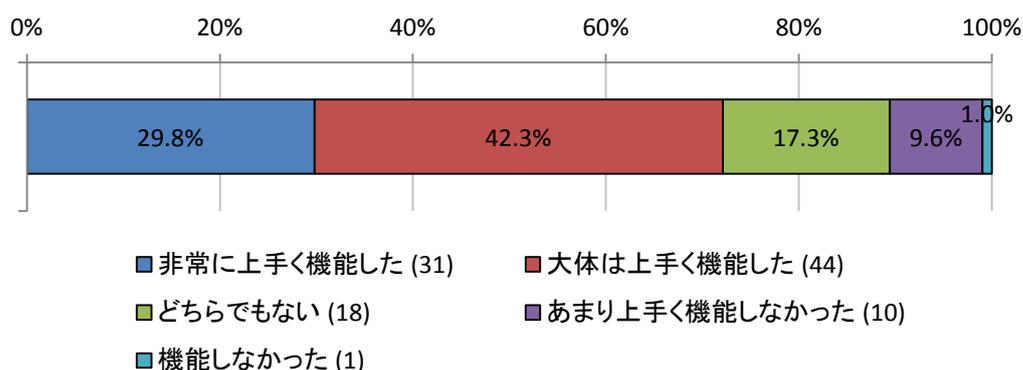
支援対象期間について、お考えをお聞きます。(S A)



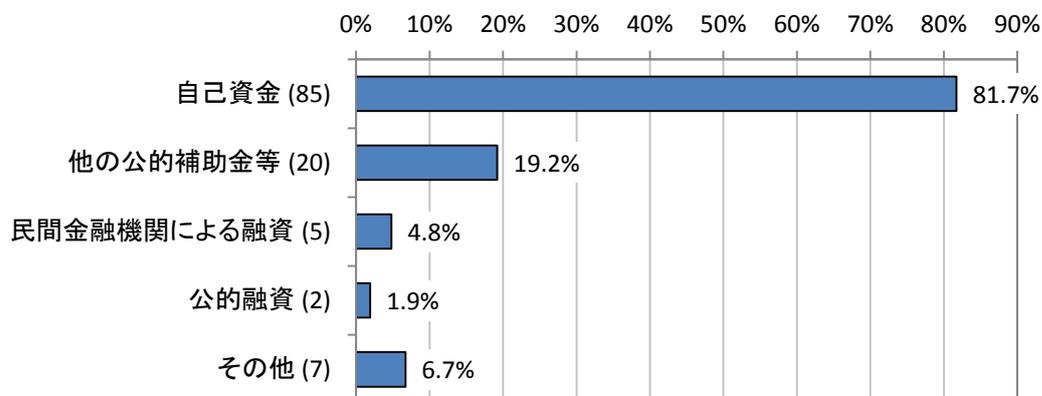
受託期間中、研究開発（実用化）においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。（SA）



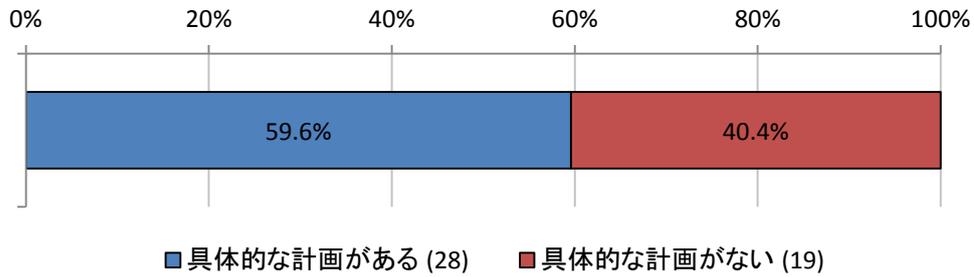
受託期間終了後、研究開発（実用化）においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。（SA）



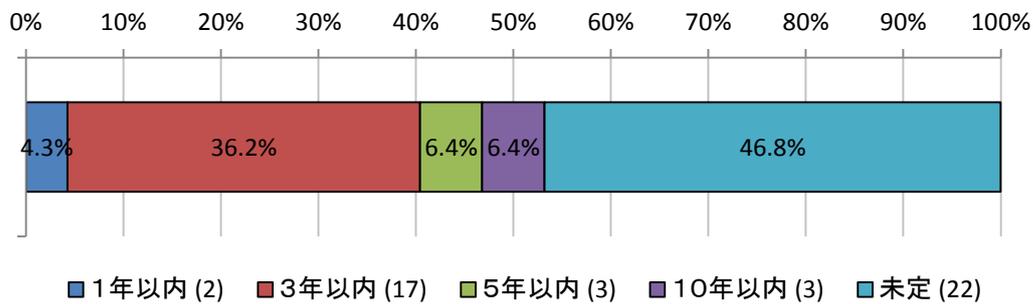
助成期間終了後、補完研究を実施している場合、補完研究のための資金調達方法を教えてください。（MA）



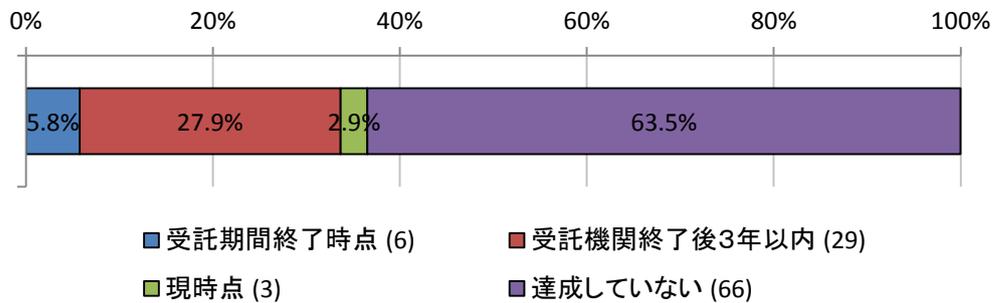
研究開発（実用化）の達成に向けた具体的な計画はありますか。（S A）



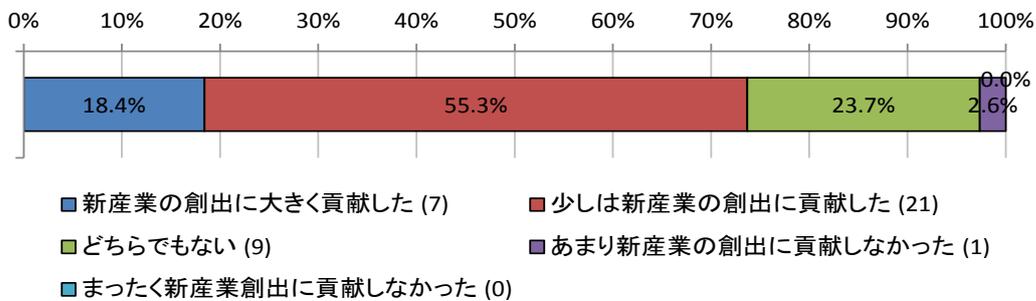
今後、研究開発（実用化）の達成に至る期間はどのくらいですか。（S A）



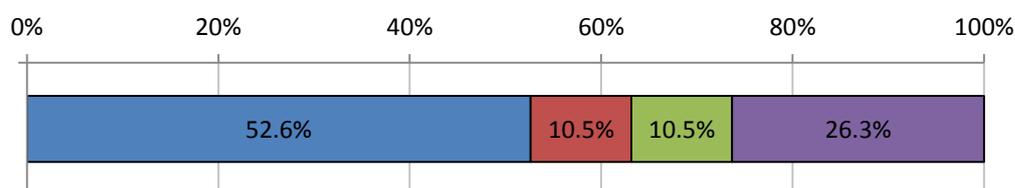
事業化はいつ達成しましたか。（S A）



貴社の事業化成功は、業界として新産業の創出に至りましたか。また、そのように判断した理由を具体的に記述してください。（S A）



具体的な事業化収入（特許料収入、製品売上収入等）はありますか。（S A）



- 過去に事業化収入があり、現時点でもある (20)
- 過去に事業化収入があったが、現時点ではない (4)
- 過去に事業化収入が無かったが、現時点ではある (4)
- 過去、現時点において事業化収入がない (10)

受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数はどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/円程度（単年度）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		725,566,413

受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数はどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/円程度（累計）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		5,539,701,199

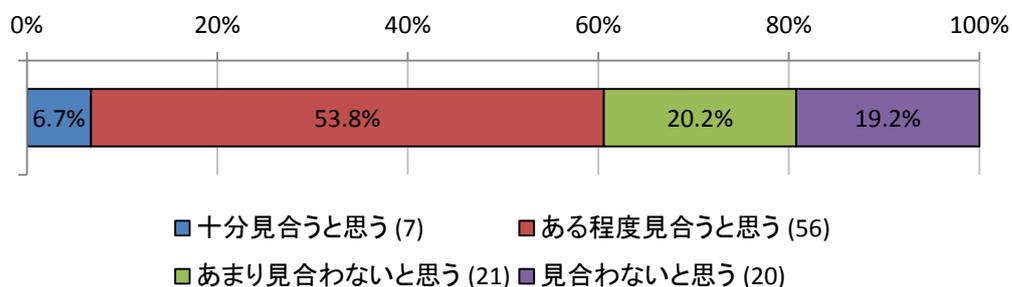
受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数はどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/名程度（単年度）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		4.5

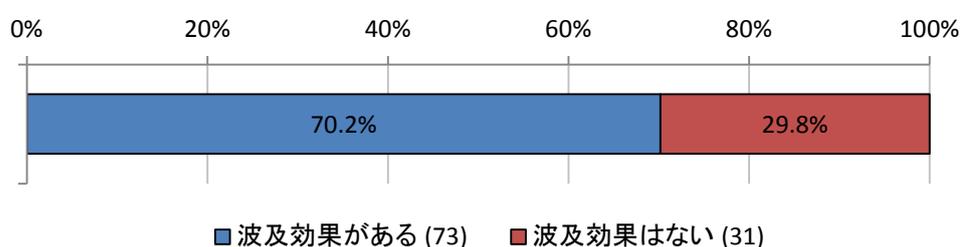
受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数はどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/名程度（累計）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		17.0

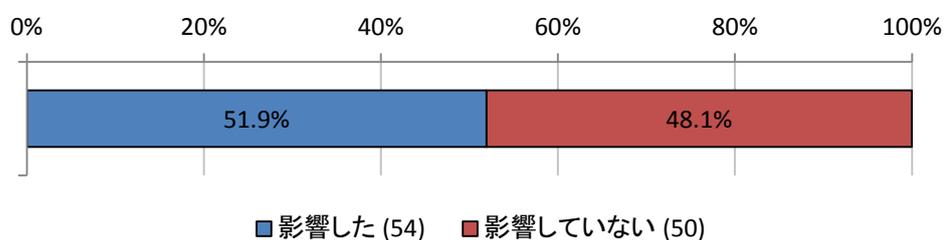
貴社が投入した資源量（資金や労力）は得られた売上高（または見込み）に対して見合うものだと思いますか。（S A）



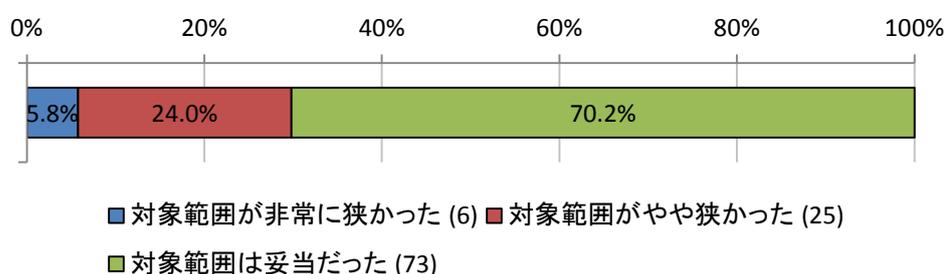
本事業の成果に基づく地域への波及効果はありましたか。（S A）



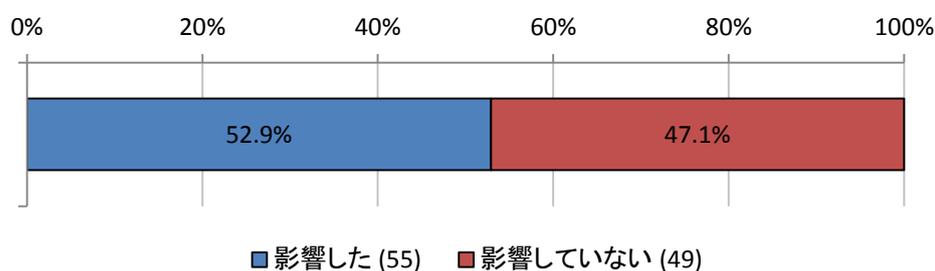
支援対象範囲は、事業化の達成状況に影響しましたか。（S A）



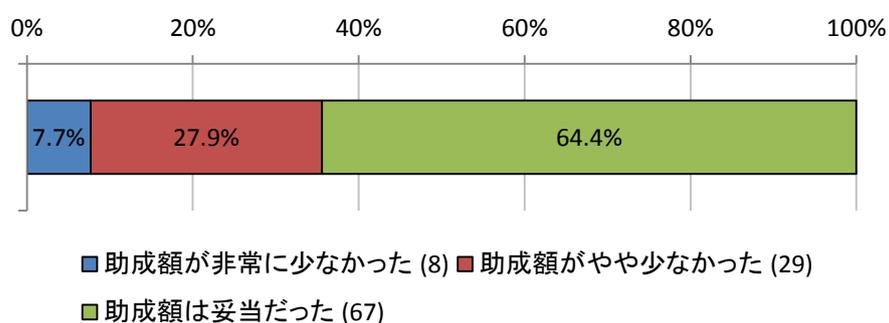
支援対象対象範囲について、お考えをお聞きます。（S A）



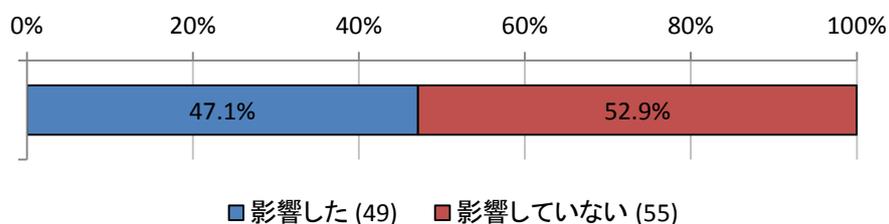
助成額は事業化の達成状況に影響しましたか。(S A)



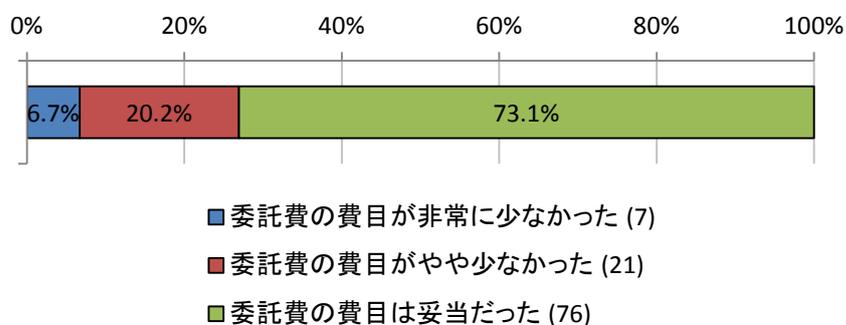
助成額について、お考えをお聞きます。(S A)



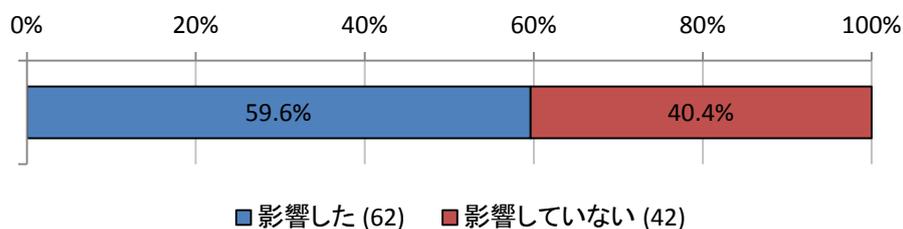
委託費の費目は研究開発の達成状況に影響しましたか。(S A)



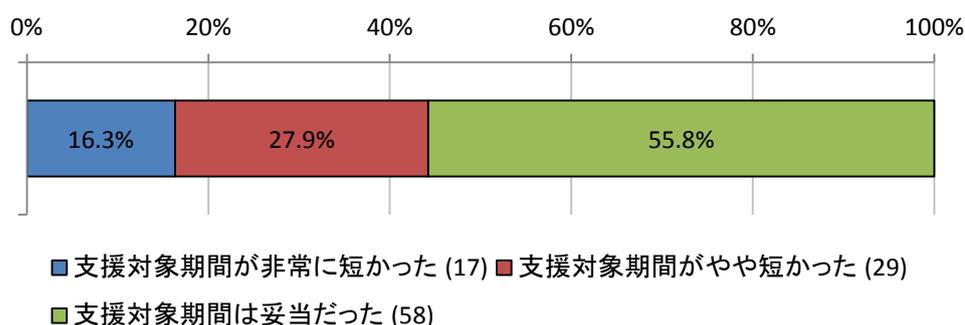
委託費の費目について、お考えをお聞きます。(S A)



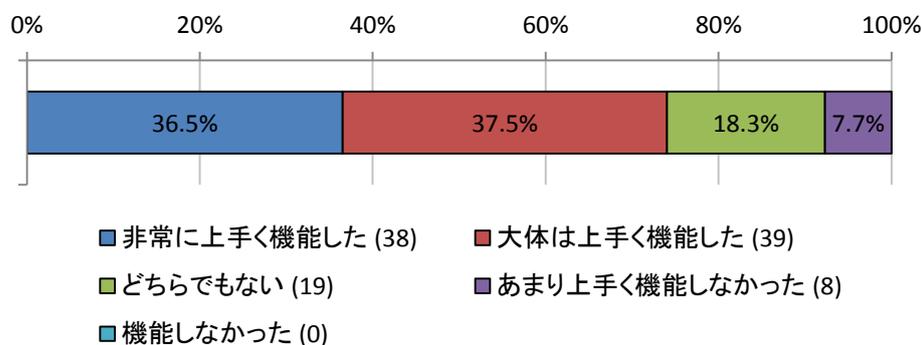
支援対象期間は事業化の達成状況に影響しましたか。(S A)



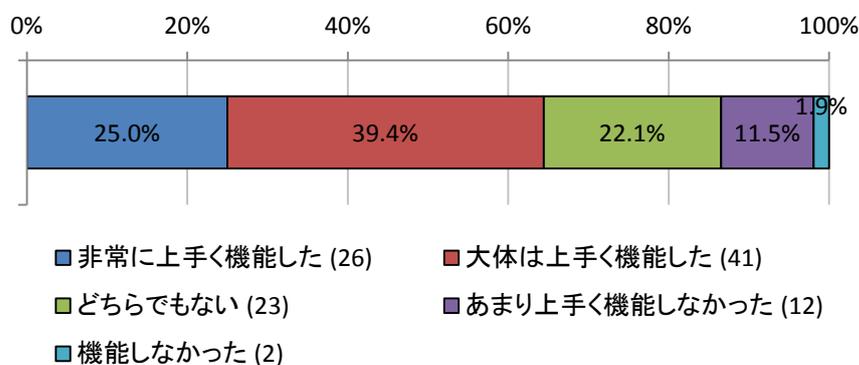
支援対象期間について、お考えをお聞きます。(S A)



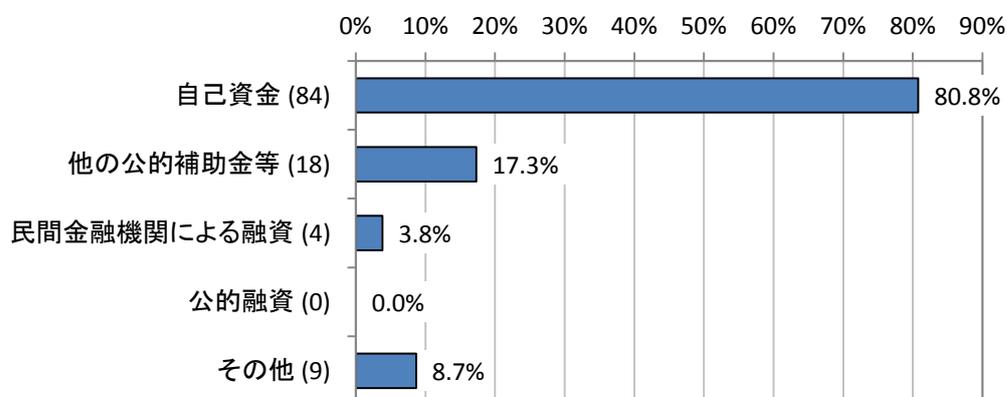
受託期間中、事業化においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。(S A)



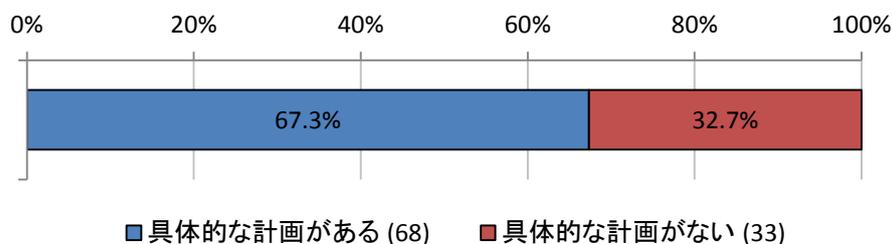
受託期間終了後、事業化においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。(S A)



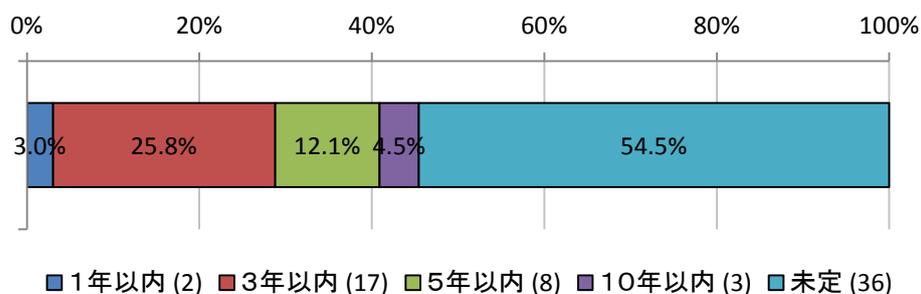
助成期間終了後、事業化に向けた追加研究等を実施している場合、研究等のための資金調達方法を教えてください。(MA)



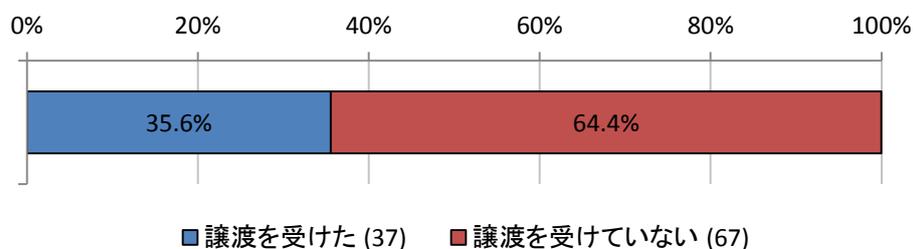
事業化達成に向けた具体的な計画はありますか。(SA)



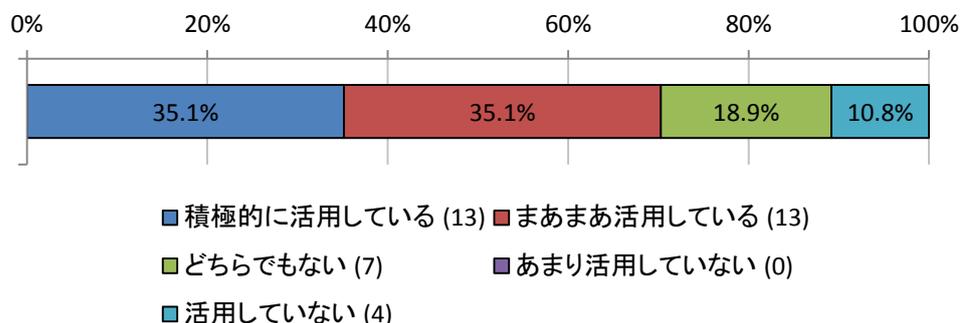
今後、事業化に至る期間はどのくらいですか。(SA)



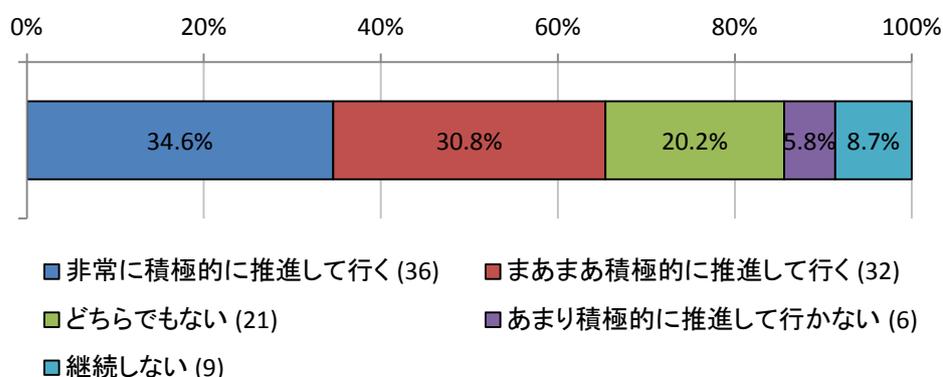
国から受託事業成果物に係る権利の譲渡を受けましたか。(SA)



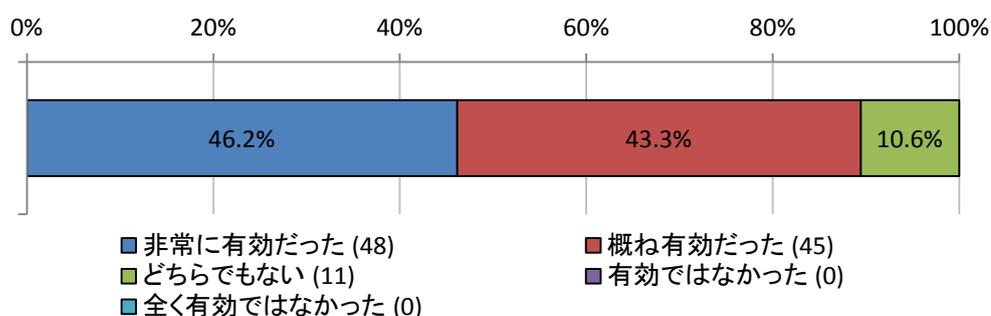
譲渡を受けた後の当該成果物を積極的に活用していますか。(S A)



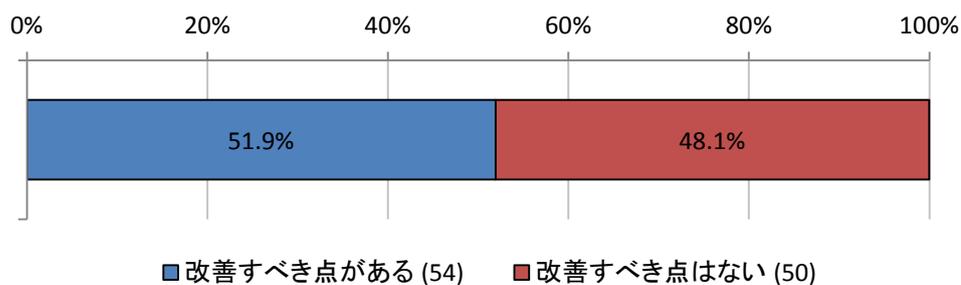
今後、当該成果に係る研究開発等の継続実施の意向についておたずねします。(S A)



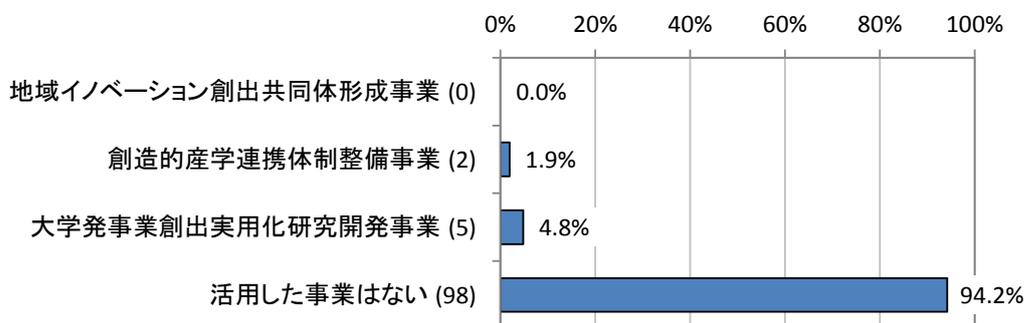
「地域イノベーション創出研究開発事業」は有効でしたか。有効だった点及びその理由を下記に具体的に記述してください。(S A)



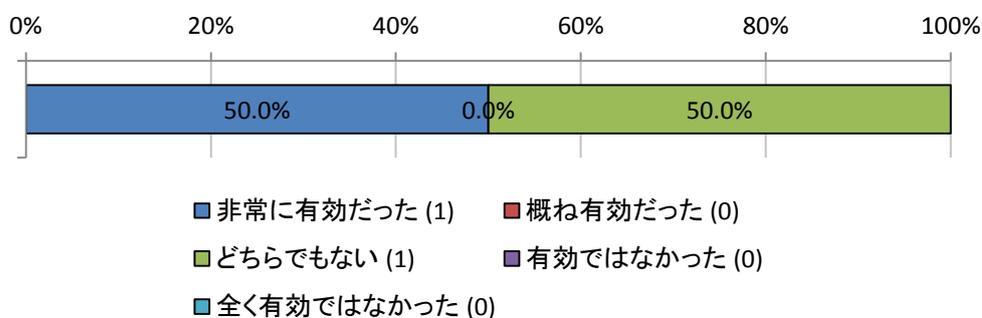
「地域イノベーション創出研究開発事業」に関して改善すべき点がありましたか。(S A)



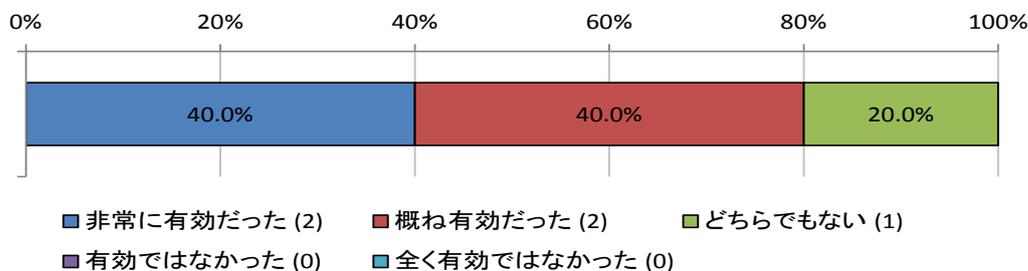
本研究を行う事業に対し「地域イノベーション創出研究開発事業」のほか「地域イノベーション協創プログラム」を構成する下記事業について、活用した事業はありますか。(M A)



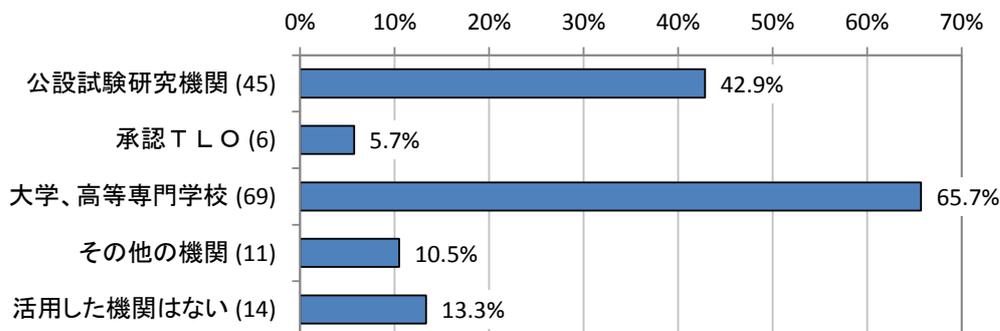
創造的産学連携体制整備事業は有効だったか (S A)



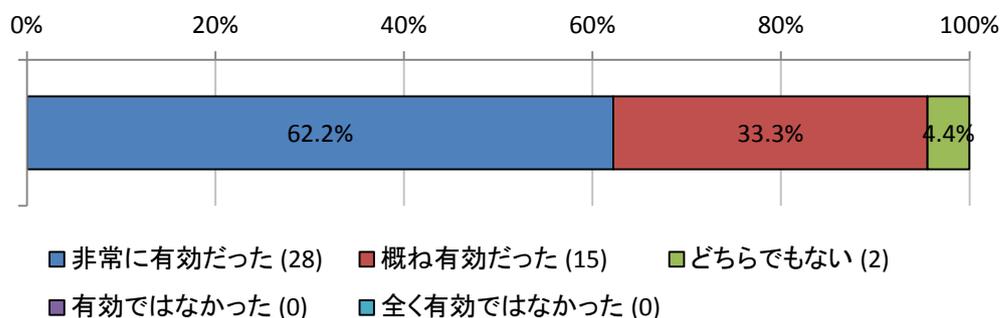
大学発事業創出実用化研究開発事業は有効だったか (S A)



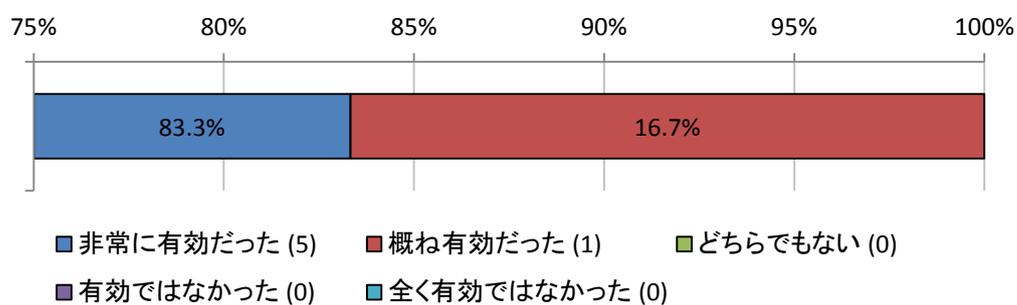
「地域イノベーション創出研究開発事業」を実施するに当たり活用した機関はありますか。(M A)



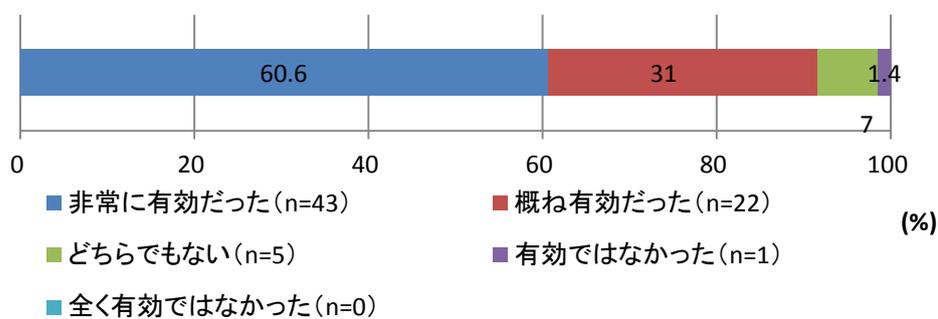
公設試験研究機関は有効だったか（SA）



承認TLOは有効だったか（SA）

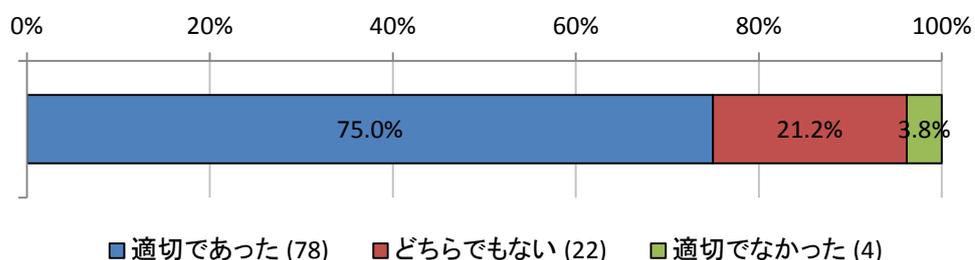


大学、高等専門学校は有効だったか（SA）



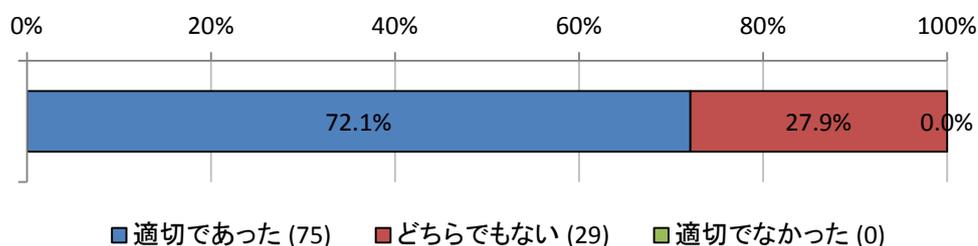
本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／応募期間（SA）



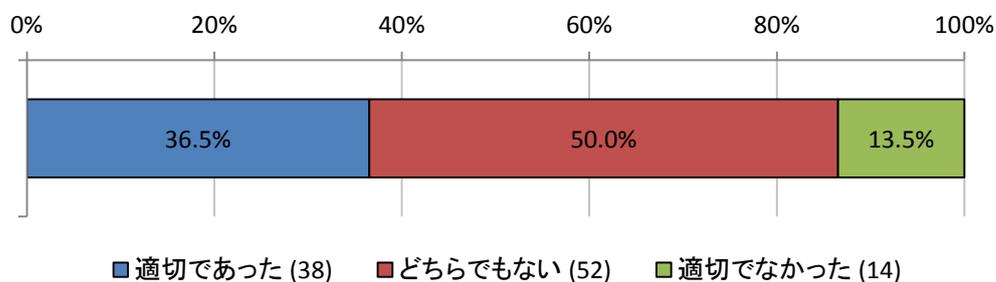
下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／事業採択までの諸手続の説明（SA）



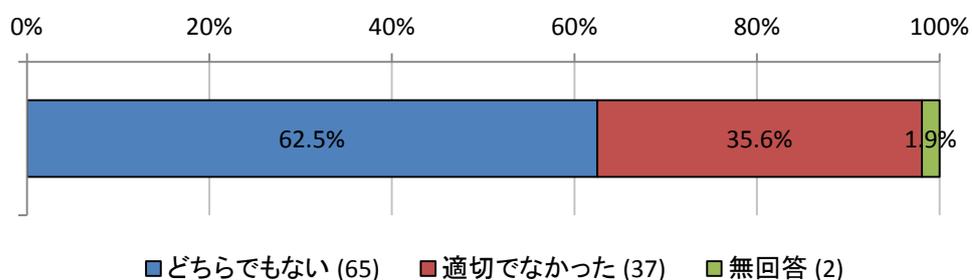
下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

／申請書作成にかかる負荷（SA）

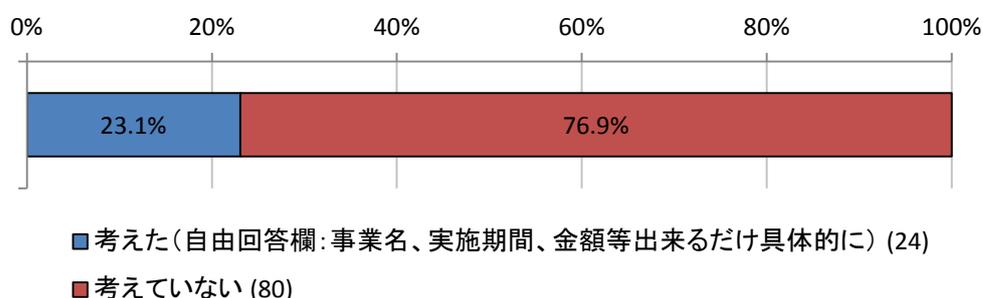


下記の本事業を運用する上での各項目について、お考えに近いものをお答えください。

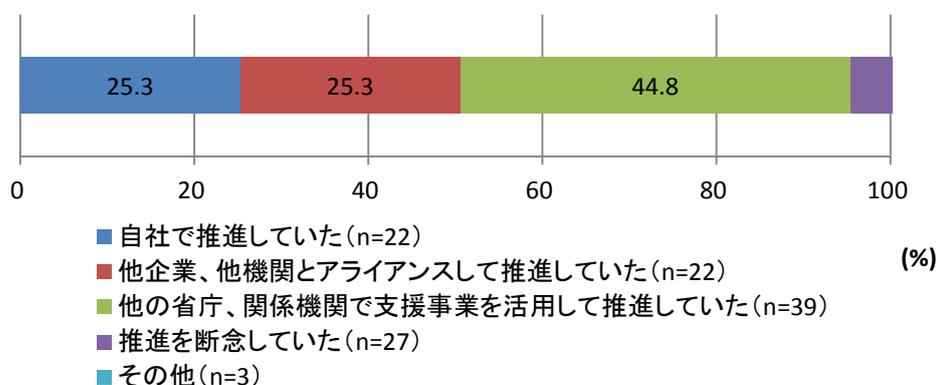
／申請の採択基準（SA）



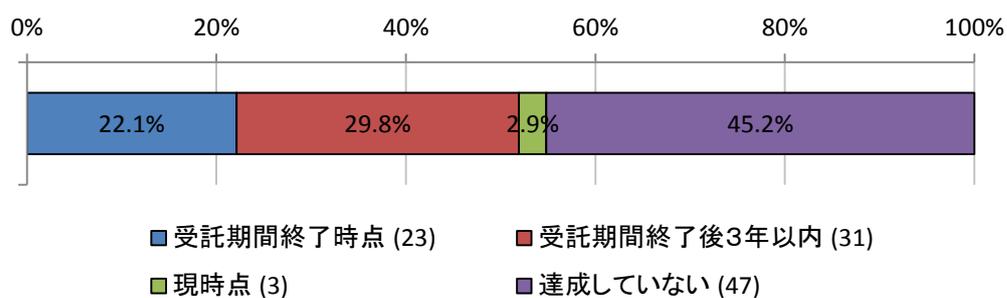
応募の際に、応募テーマに関して他省庁、関係機関の支援事業の活用を考えましたか。(S A)



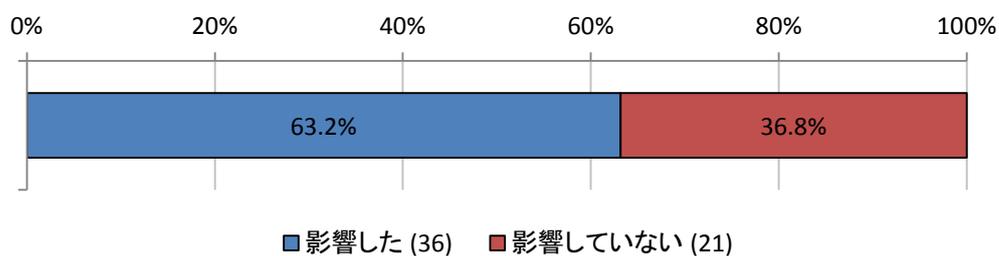
仮に本事業がなかった場合、応募テーマはどのように推進していましたか。(MA)



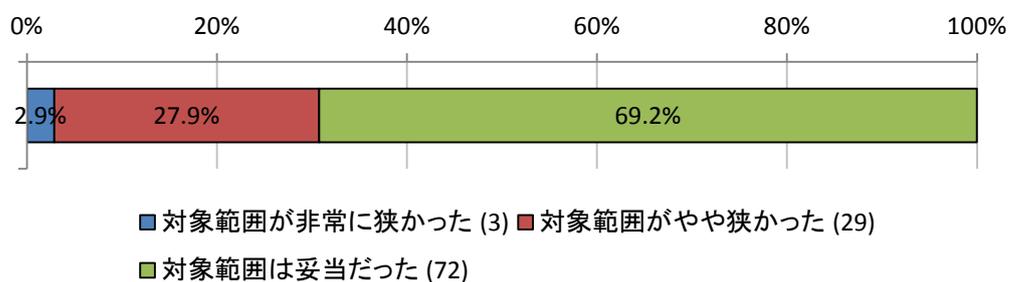
研究開発(実用化)はいつ達成しましたか。(SA)



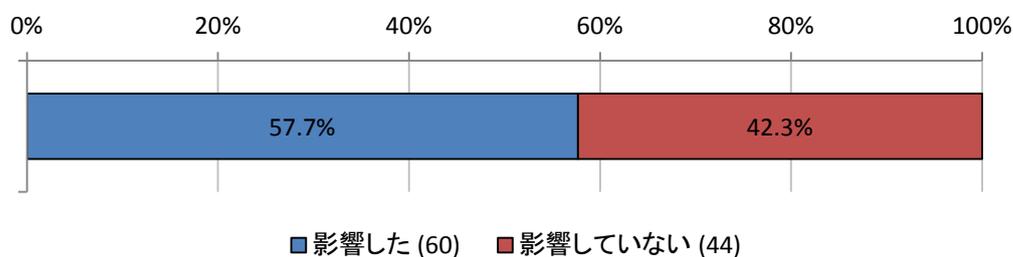
支援対象範囲は達成状況に影響しましたか。(S A)



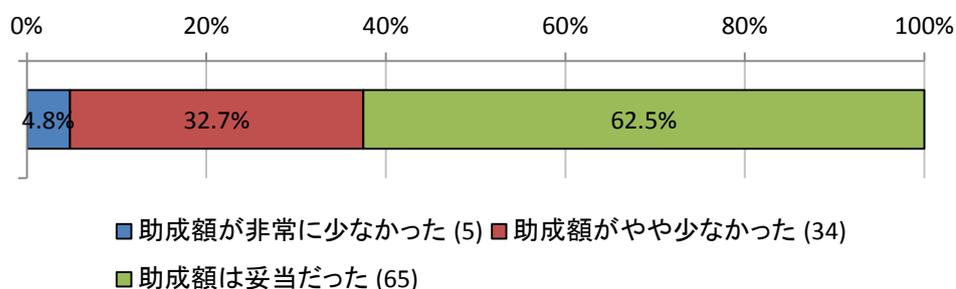
支援対象範囲について、お考えをお聞きます。(S A)



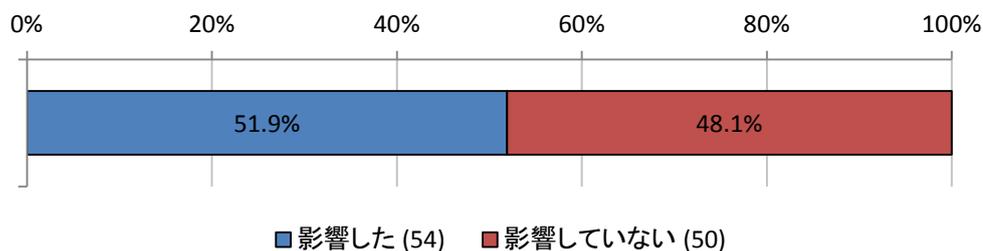
助成額は、達成状況に影響しましたか。(S A)



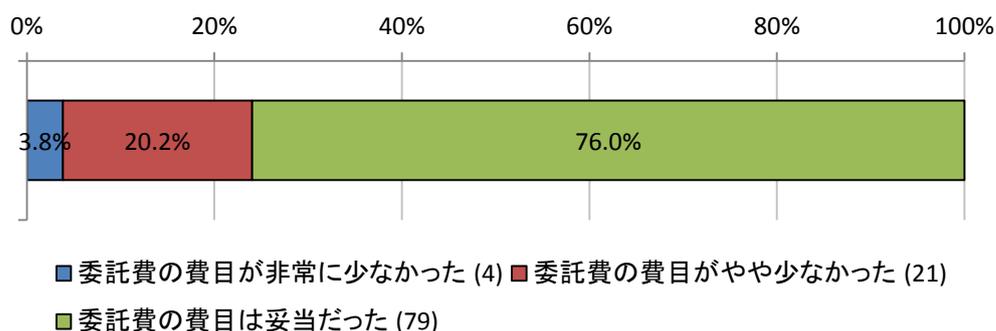
助成額について、お考えをお聞きます。(S A)



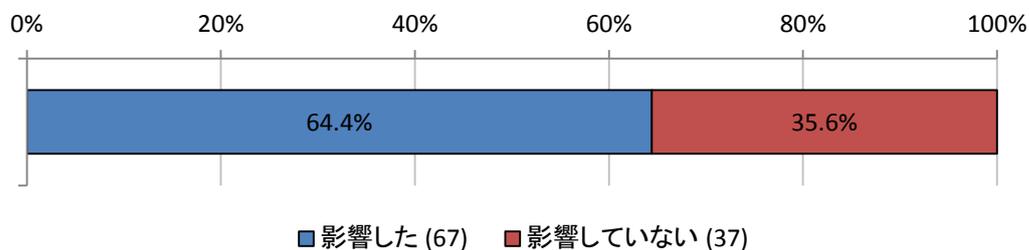
委託費の費目は、達成状況に影響しましたか。(S A)



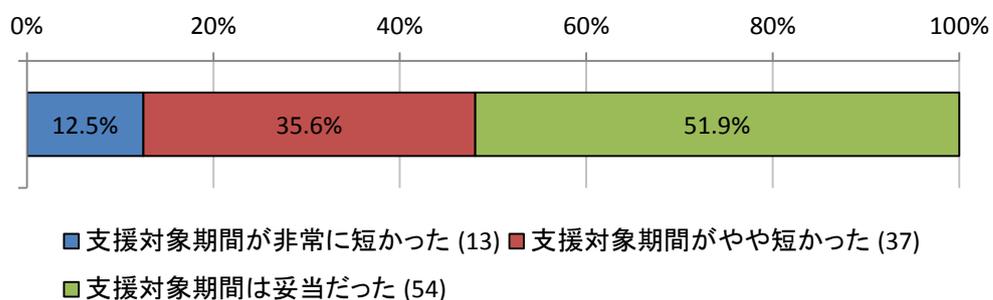
委託費の費目について、お考えをお聞きます。(S A)



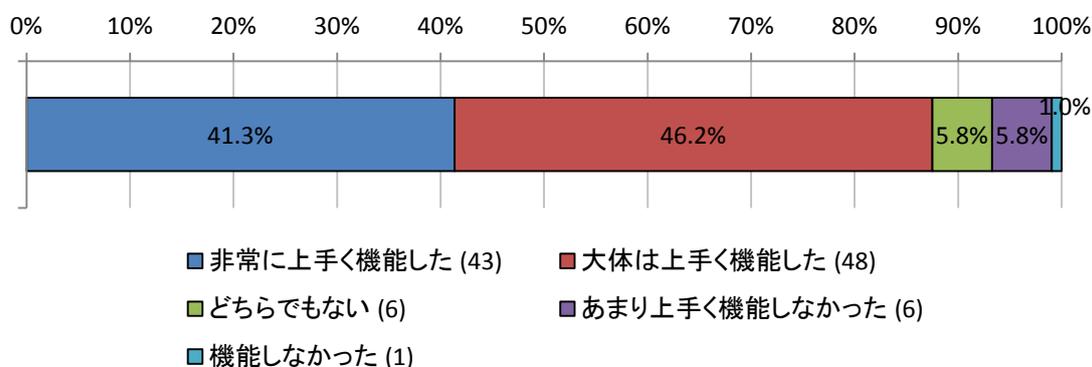
支援対象期間は、達成状況に影響しましたか。(S A)



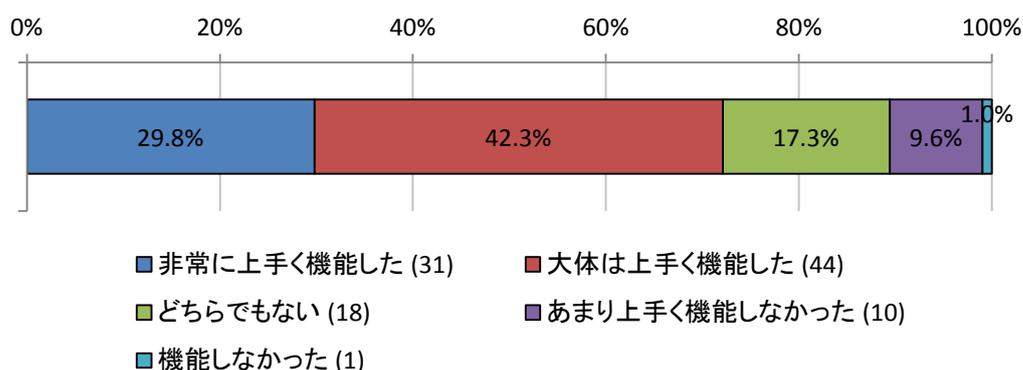
支援対象期間について、お考えをお聞きます。(S A)



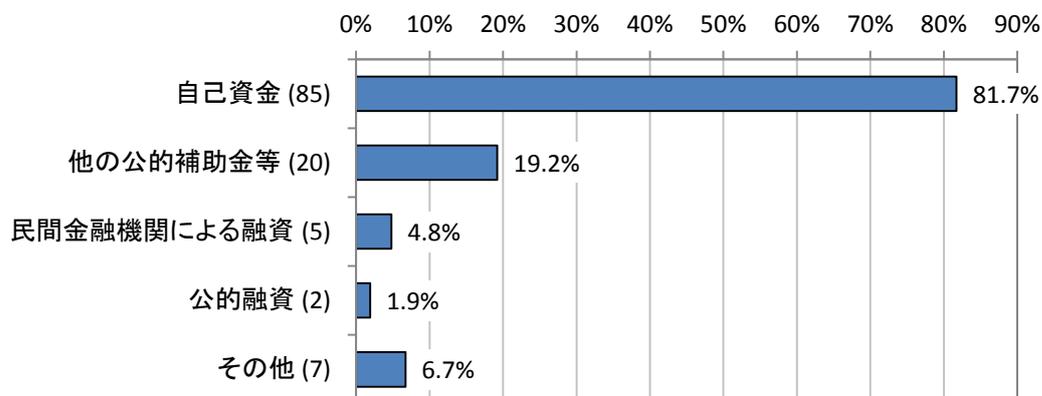
受託期間中、研究開発（実用化）においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。（SA）



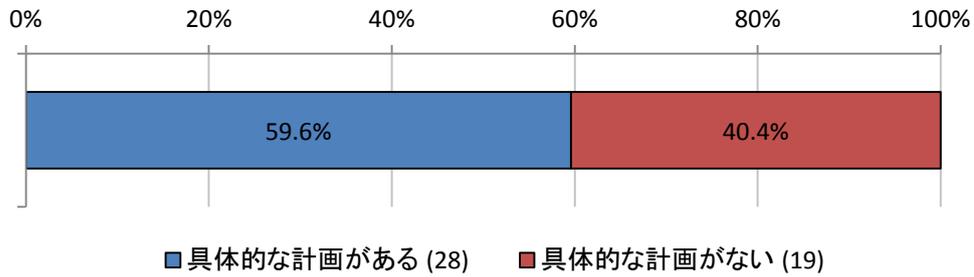
受託期間終了後、研究開発（実用化）においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。（SA）



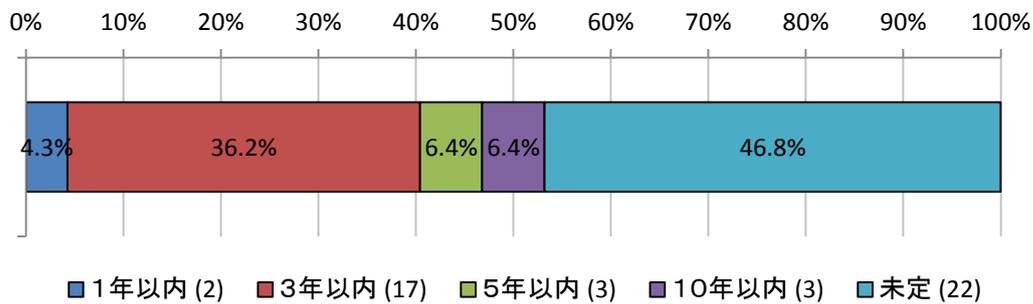
助成期間終了後、補完研究を実施している場合、補完研究のための資金調達方法を教えてください。（MA）



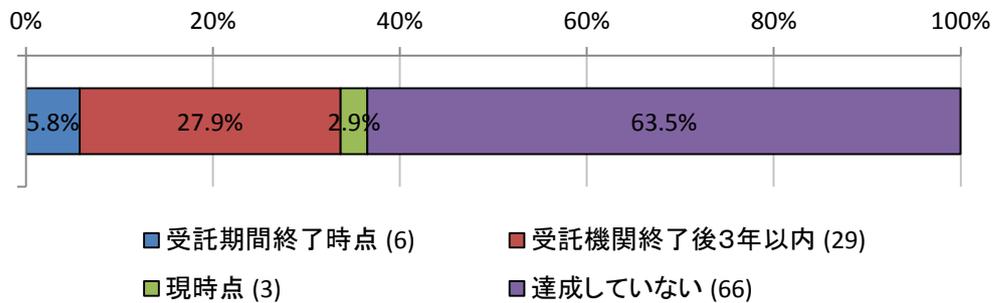
研究開発（実用化）の達成に向けた具体的な計画はありますか。（S A）



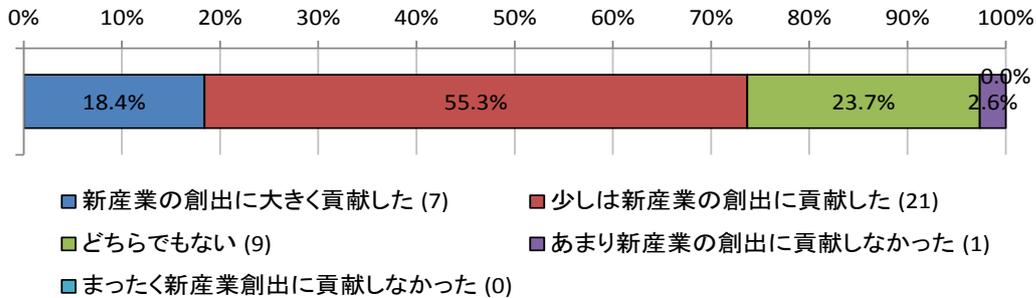
今後、研究開発（実用化）の達成に至る期間はどのくらいですか。（S A）



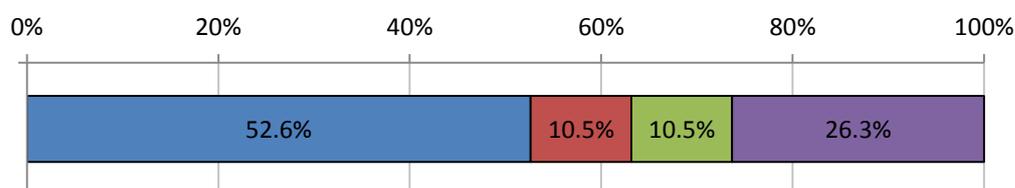
事業化はいつ達成しましたか。（S A）



貴社の事業化成功は、業界として新産業の創出に至りましたか。また、そのように判断した理由を具体的に記述してください。（S A）



具体的な事業化収入（特許料収入、製品売上収入等）はありますか。（S A）



- 過去に事業化収入があり、現時点でもある (20)
- 過去に事業化収入があったが、現時点ではない (4)
- 過去に事業化収入が無かったが、現時点ではある (4)
- 過去、現時点において事業化収入がない (10)

受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数ほどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/円程度（単年度）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		725,566,413

受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数ほどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/円程度（累計）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		5,539,701,199

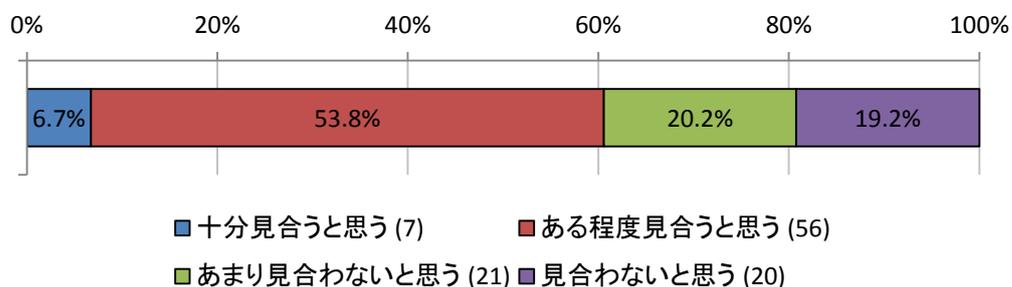
受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数ほどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/名程度（単年度）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		4.5

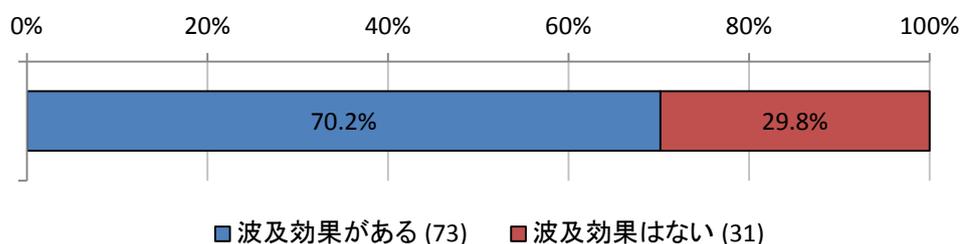
受託期間終了10年後の単年度及び累計の売上見込み額、新規雇用者数ほどの程度を見込んでいますか。大体で結構ですので、下記に具体的に記述してください。/名程度（累計）（NU）

	回答数	%
全体	111	100.0
平均値		17.0

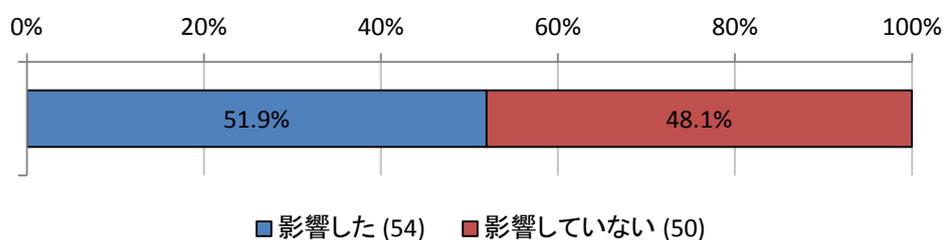
貴社が投入した資源量（資金や労力）は得られた売上高（または見込み）に対して見合うものだと思いますか。（S A）



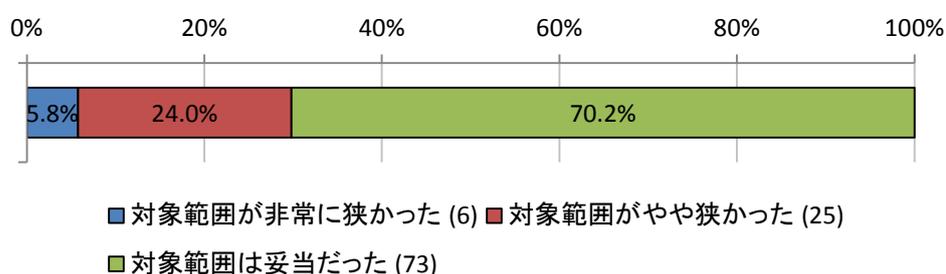
本事業の成果に基づく地域への波及効果はありましたか。（S A）



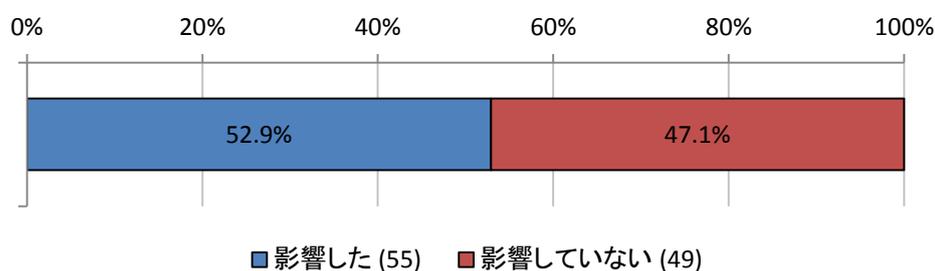
支援対象範囲は、事業化の達成状況に影響しましたか。（S A）



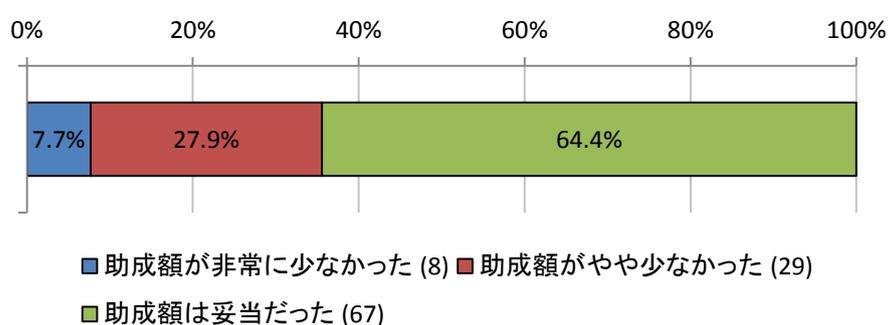
支援対象対象範囲について、お考えをお聞きます。（S A）



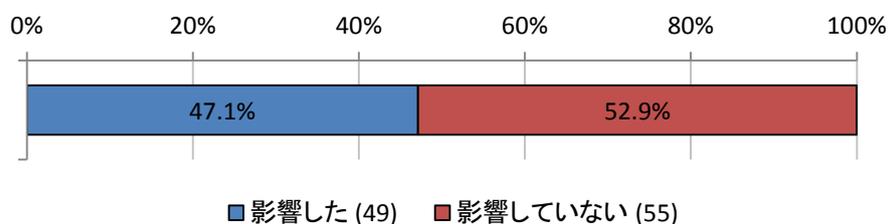
助成額は事業化の達成状況に影響しましたか。(S A)



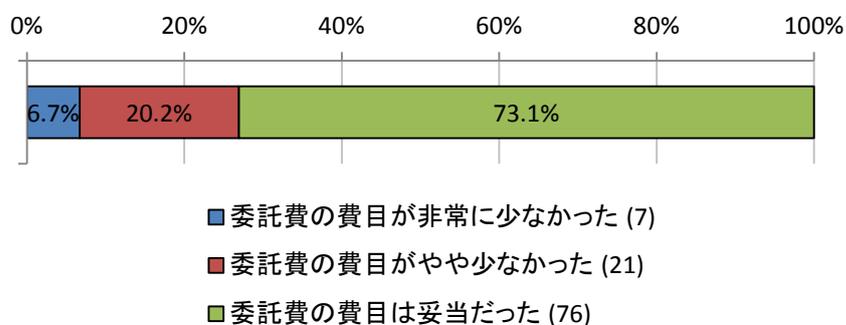
助成額について、お考えをお聞きます。(S A)



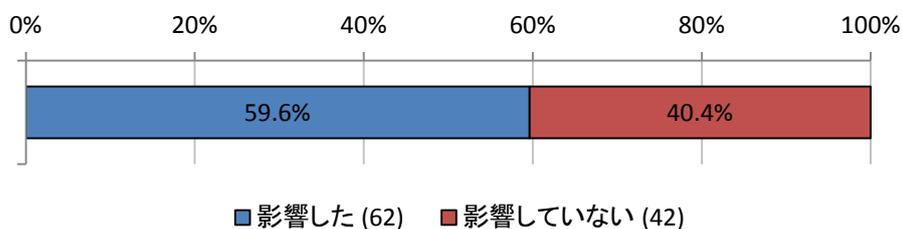
委託費の費目は研究開発の達成状況に影響しましたか。(S A)



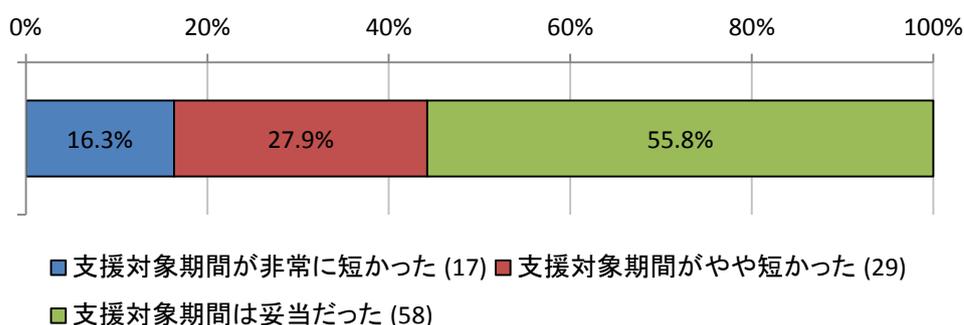
委託費の費目について、お考えをお聞きます。(S A)



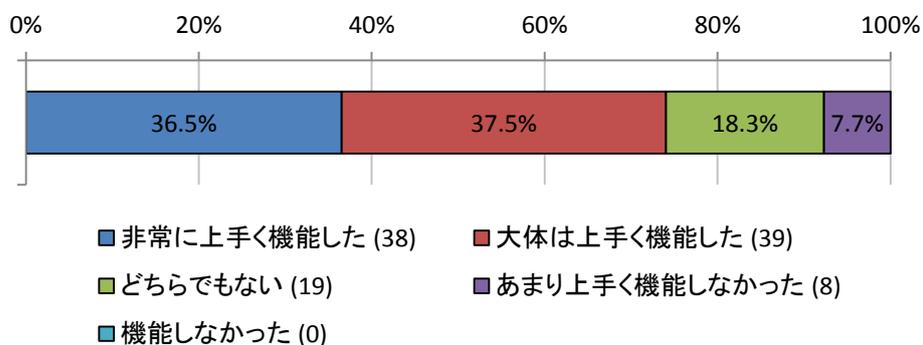
支援対象期間は事業化の達成状況に影響しましたか。(S A)



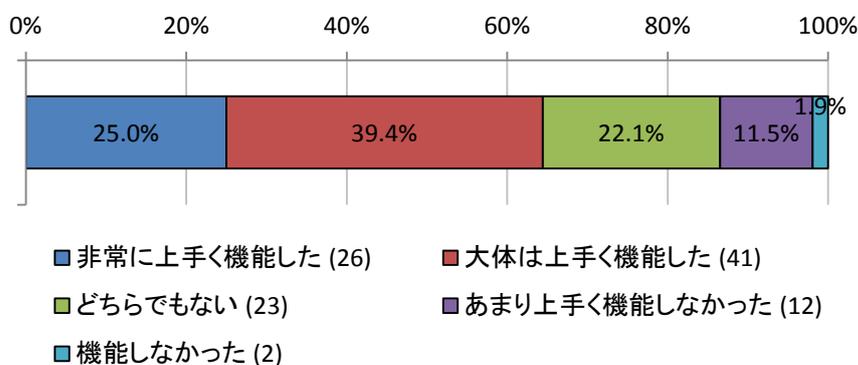
支援対象期間について、お考えをお聞きます。(S A)



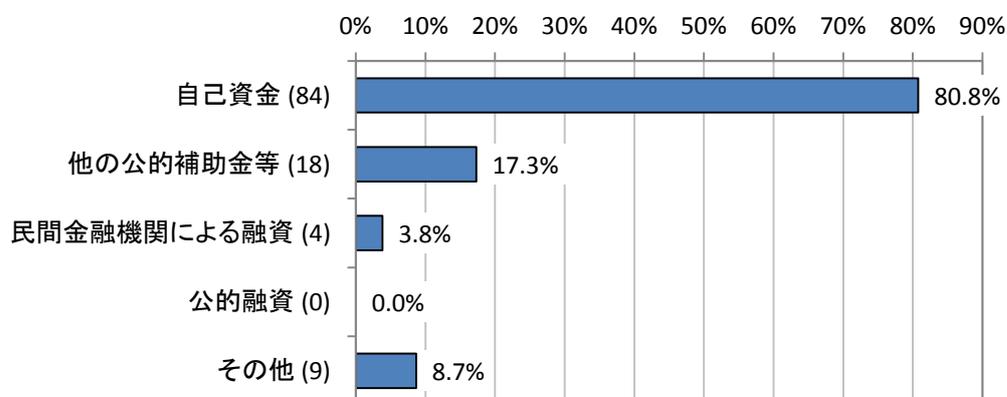
受託期間中、事業化においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。(S A)



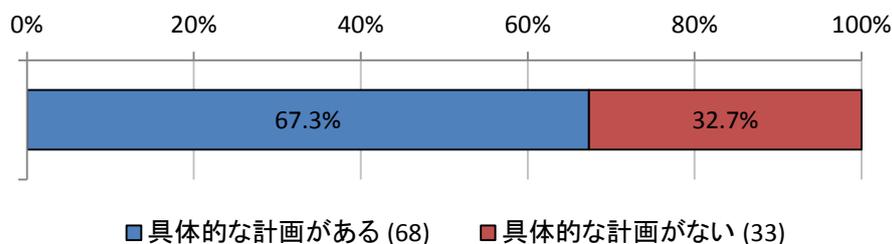
受託期間終了後、事業化においてプロジェクトマネージャー（総括事業代表者）は有効に機能しましたか。(S A)



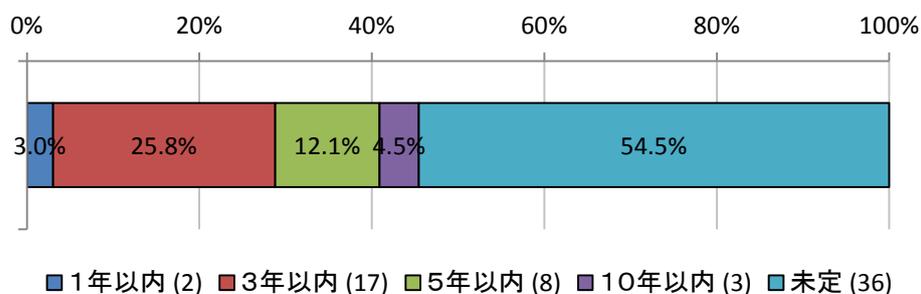
助成期間終了後、事業化に向けた追加研究等を実施している場合、研究等のための資金調達方法を教えてください。(MA)



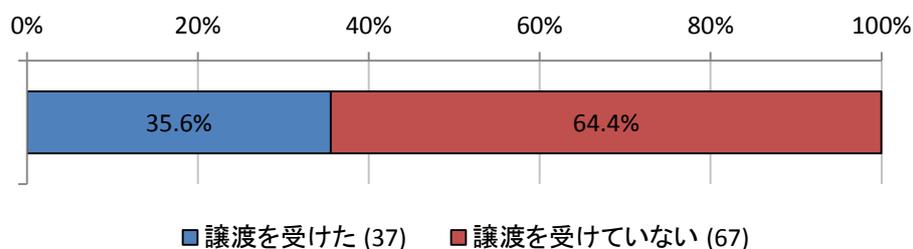
事業化達成に向けた具体的な計画はありますか。(SA)



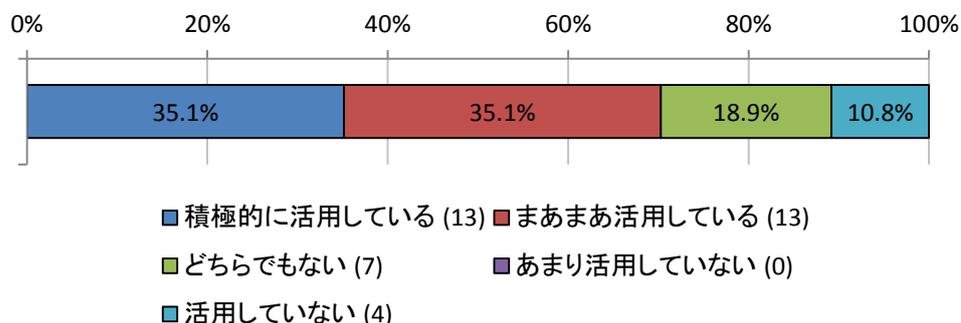
今後、事業化に至る期間はどのくらいですか。(SA)



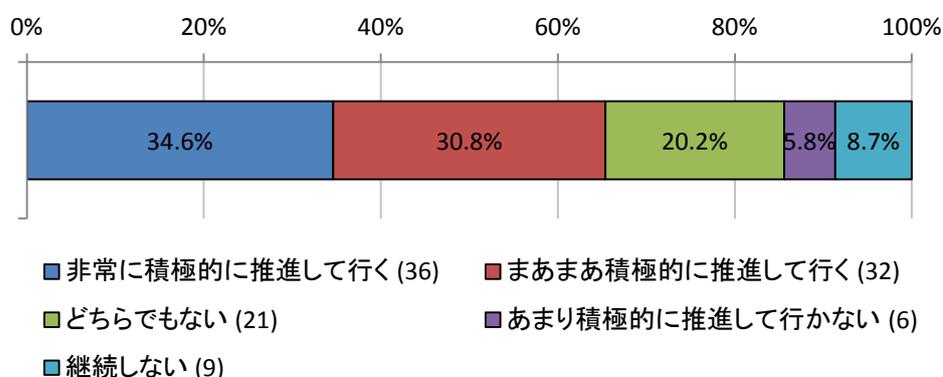
国から受託事業成果物に係る権利の譲渡を受けましたか。(SA)



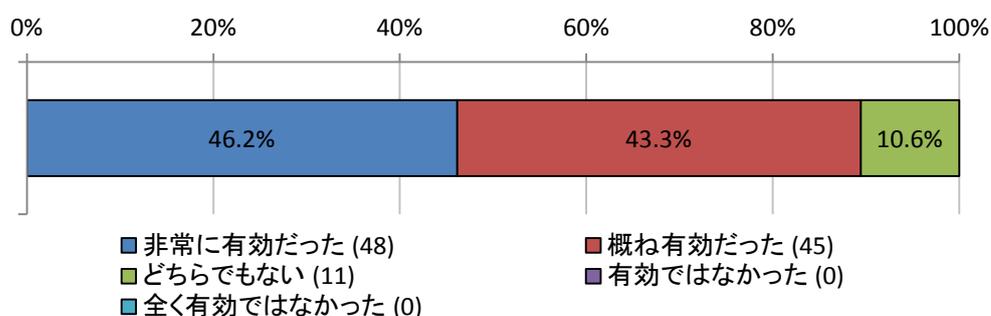
譲渡を受けた後の当該成果物を積極的に活用していますか。(S A)



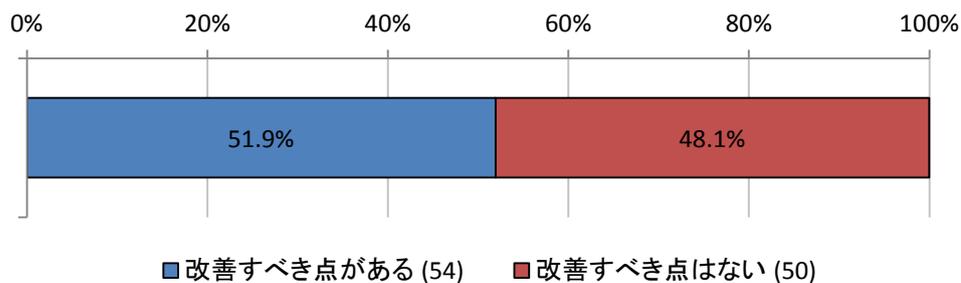
今後、当該成果に係る研究開発等の継続実施の意向についておたずねします。(S A)



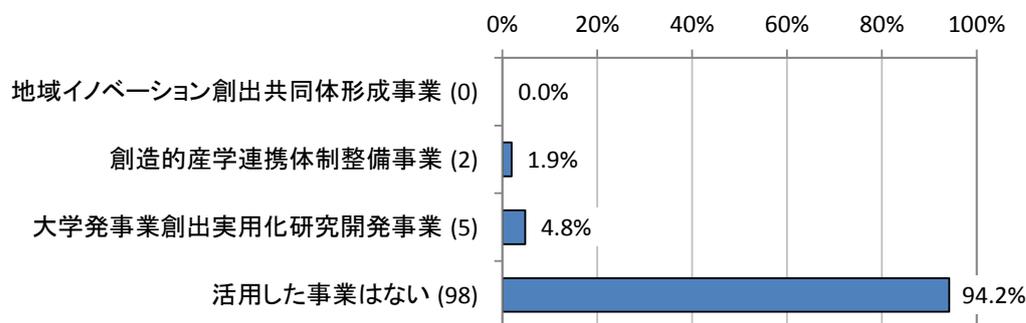
「地域イノベーション創出研究開発事業」は有効でしたか。有効だった点及びその理由を下記に具体的に記述してください。(S A)



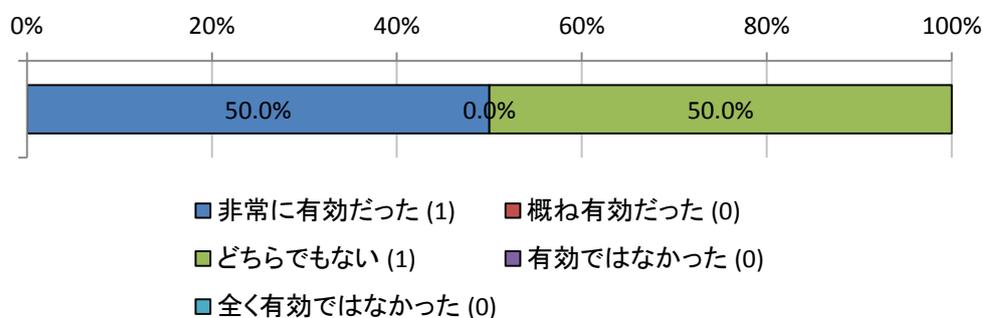
「地域イノベーション創出研究開発事業」に関して改善すべき点がありましたか。(S A)



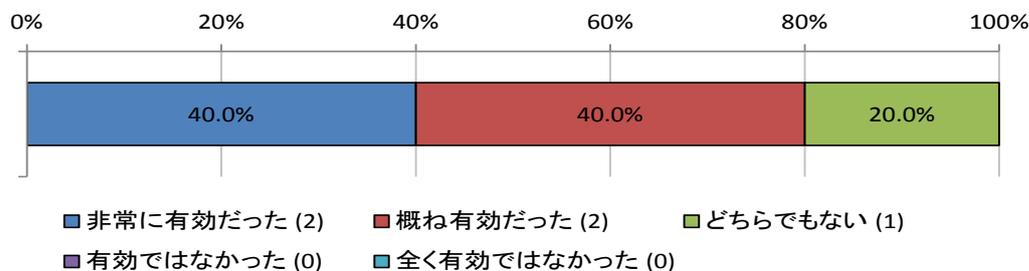
本研究を行う事業に対し「地域イノベーション創出研究開発事業」のほか「地域イノベーション協創プログラム」を構成する下記事業について、活用した事業はありますか。(M A)



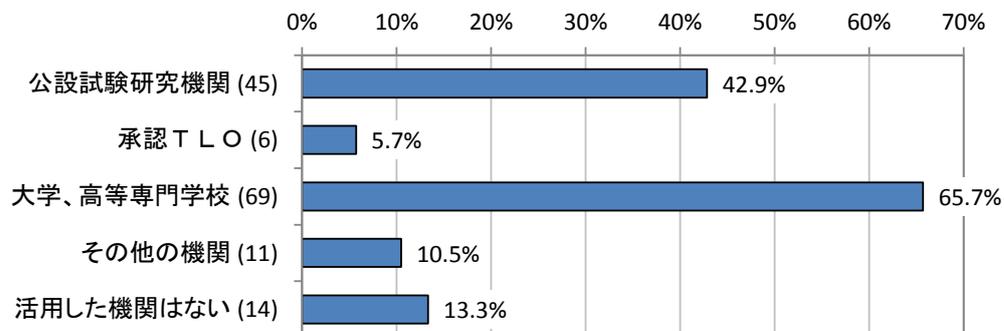
創造的産学連携体制整備事業は有効だったか (S A)



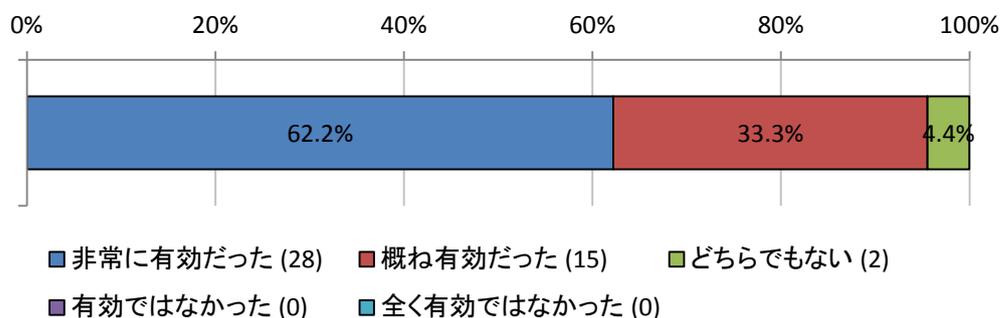
大学発事業創出実用化研究開発事業は有効だったか (S A)



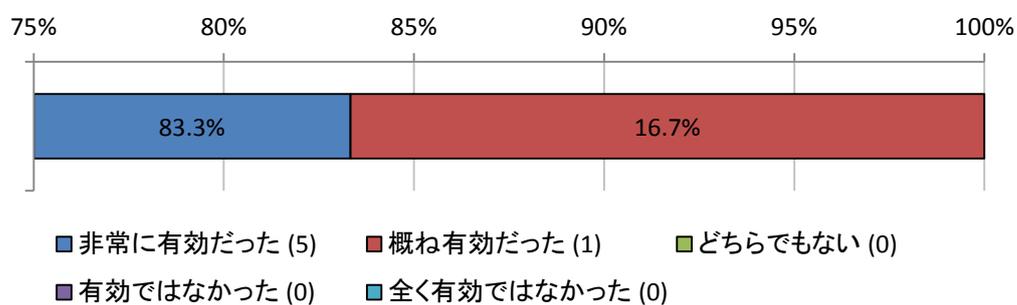
「地域イノベーション創出研究開発事業」を実施するに当たり活用した機関はありますか。(M A)



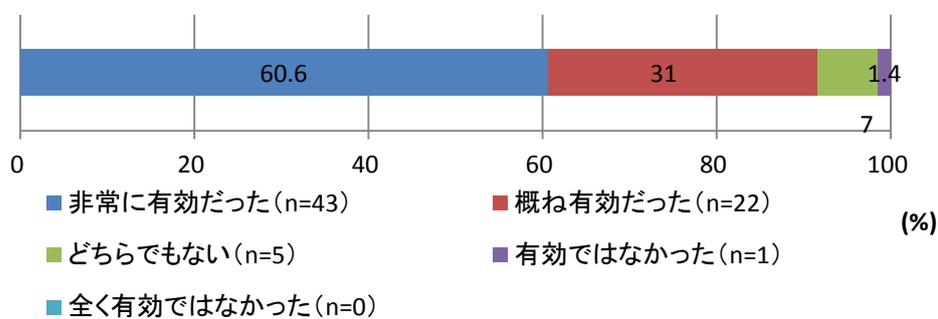
公設試験研究機関は有効だったか（SA）



承認TLOは有効だったか（SA）



大学、高等専門学校は有効だったか（SA）



「地域イノベーション協創プログラム」
施策実施効果に関する調査・分析

大学発事業創出実用化研究開発事業

【アンケート及びヒアリング調査結果】

1. アンケート調査結果

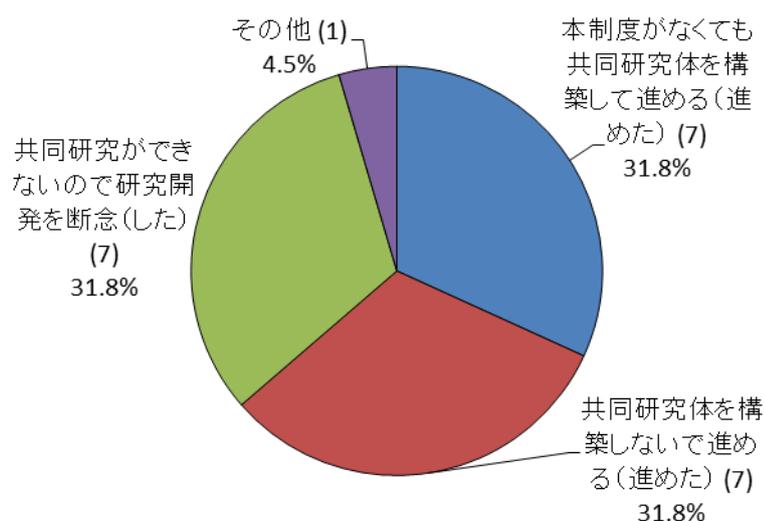
(1) アンケート調査結果【事業者毎の回答】

送付数：83

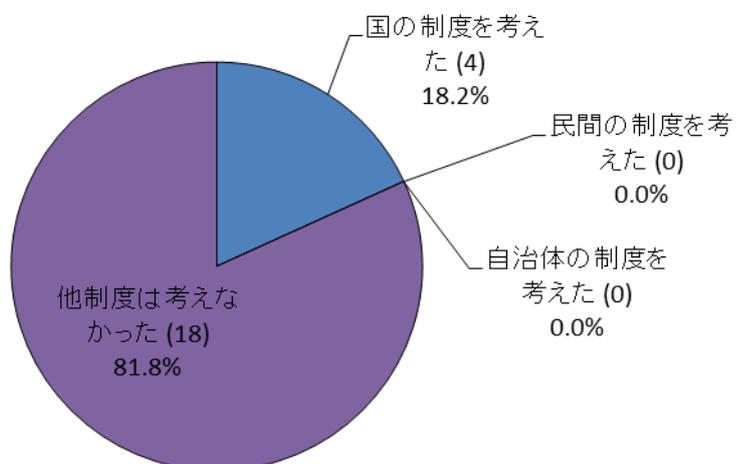
回収数：22

(2/14 時点)

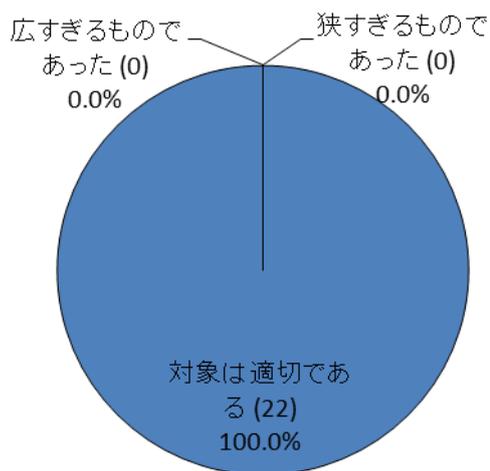
本制度がなかった場合、研究実施者は共同研究に関して、研究開発をどのように進めましたか。



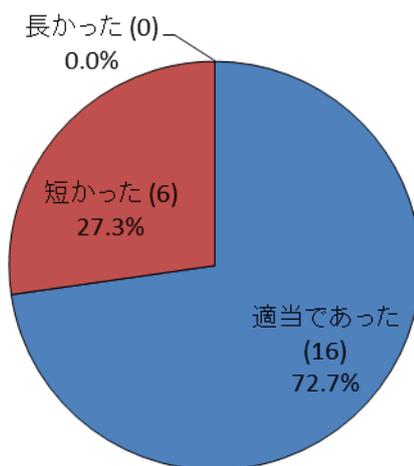
応募の際に、研究開発(技術移転を扱う組織の場合は「研究開発支援」)で申請者は、他制度の活用を考えましたか。



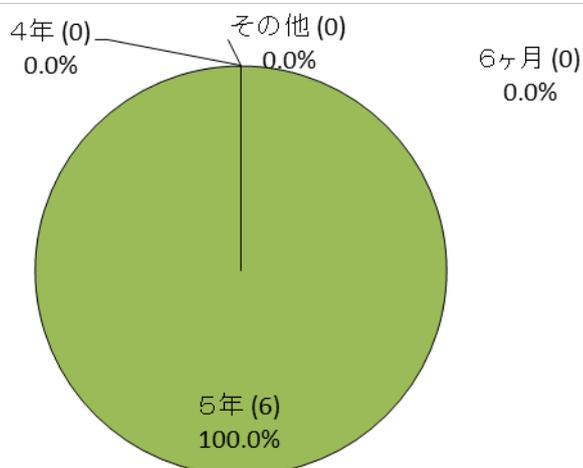
本制度の対象事業は「民間企業と大学等が連携して実施する研究開発事業であり、新たな産業・雇用創出に資する技術課題であって、8分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造(ものづくり)技術、社会基盤、フロンティア)のもの」です。この対象範囲は適切とお考えですか。



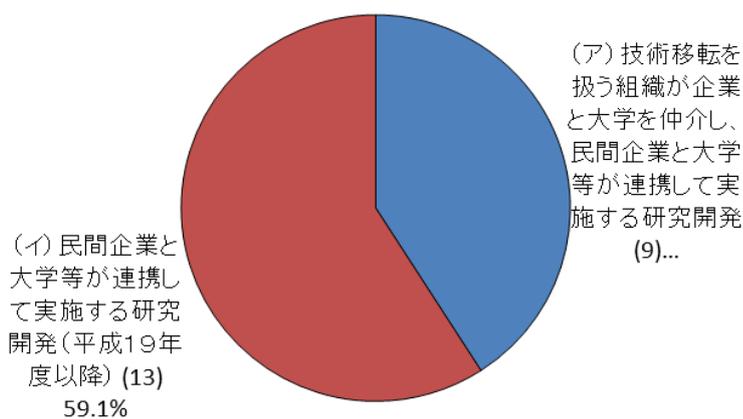
本制度の研究開発期間は「3年以内」です。この期間は目的達成のための事業実施期間として適切とお考えですか。



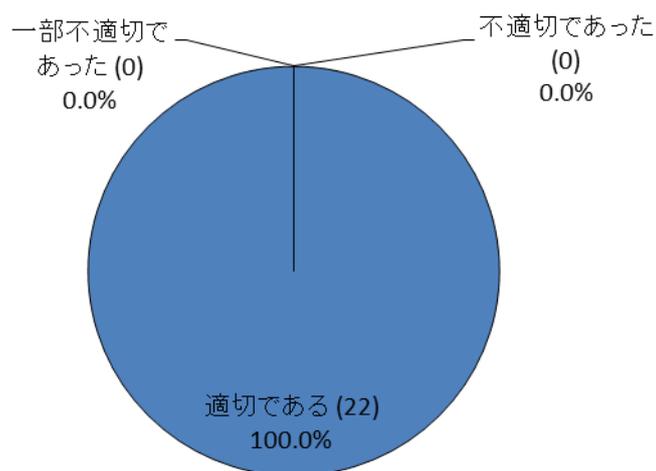
Q8_1で「短かった」及び「長かった」と回答した方にご質問します。適切と考える研究開発期間はどれくらいですか。



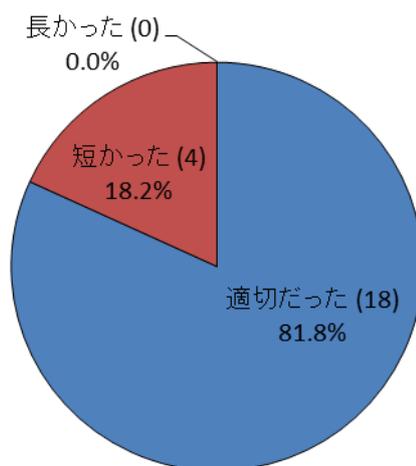
本制度は「(ア)技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発」及び「(イ)民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(平成19年度以降)」の2つのスキームがあります。貴機関の活用したスキームを選択してください。また、活用したスキームは適切とお考えですか。「2 一部不適切」「3 不適切」を選択された場合は具体的に記載をお願いします／活用したスキームを選択してください。



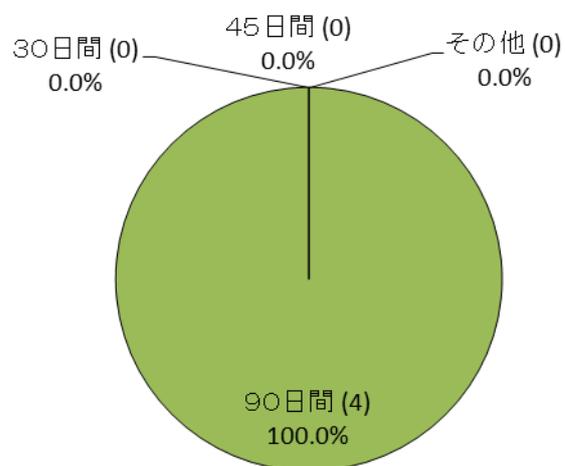
本制度は「(ア)技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発」及び「(イ)民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(平成19年度以降)」の2つのスキームがあります。貴機関の活用したスキームを選択してください。また、活用したスキームは適切とお考えですか。「2 一部不適切」「3 不適切」を選択された場合は具体的に記載をお願いします／活用したスキームは適切か



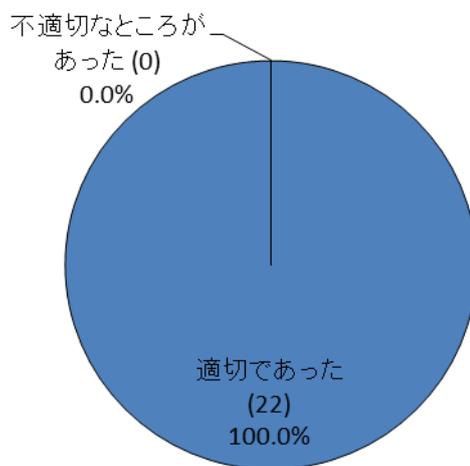
本制度の公募期間は適切でしたか。現在の公募期間は約60日です。



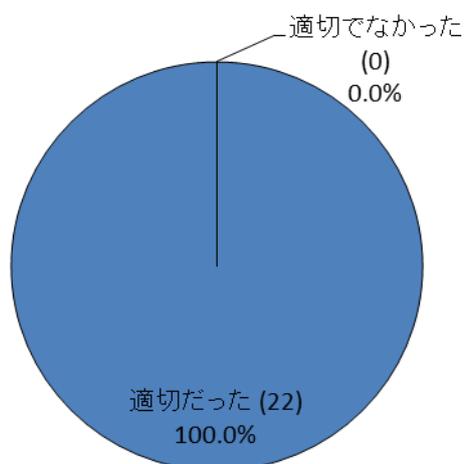
「短かった」及び「長かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適切とお考えですか。



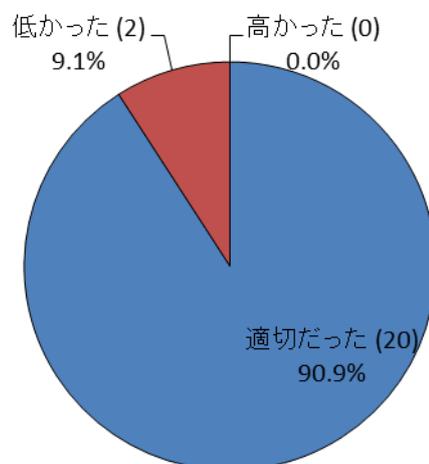
補助金の内容(補助対象経費の費目)は適切とお考えですか。



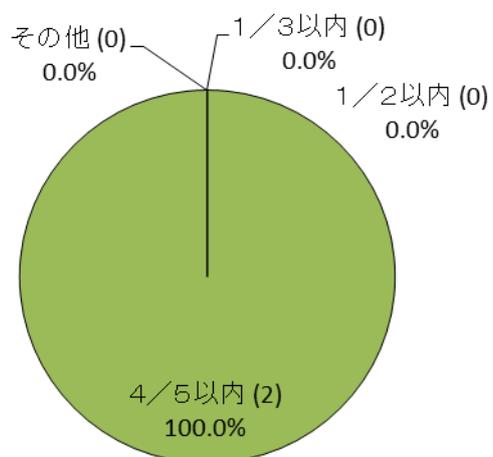
補助金の額(1年間1億円程度まで、新規提案時の下限は1年度1千万円)は適切でしたか。



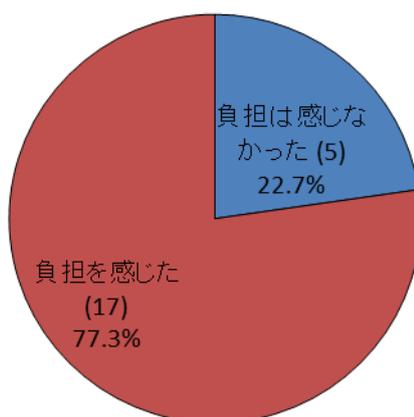
本制度の補助率(助成対象経費の3分の2以内)は適切でしたか。



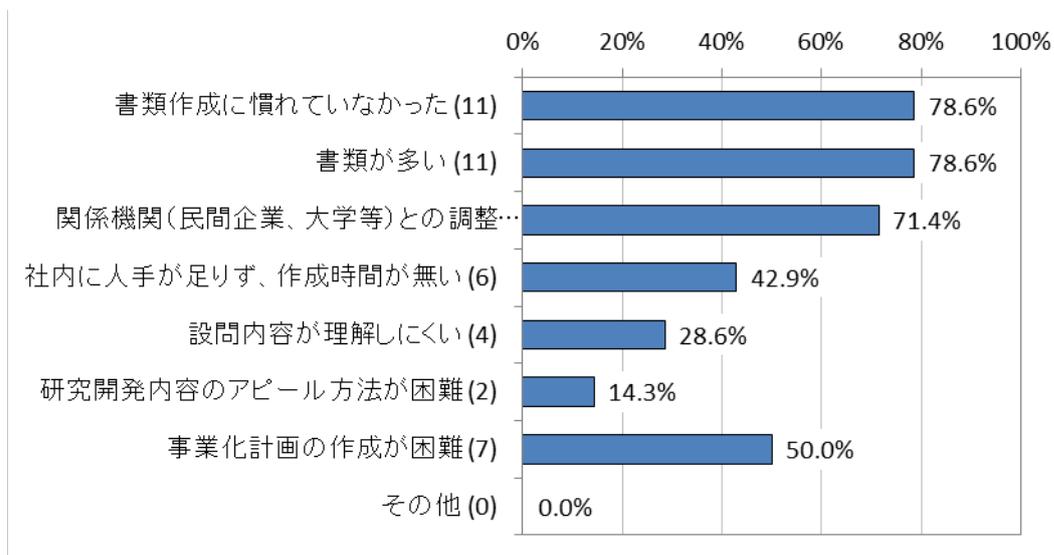
「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適当とお考えですか。



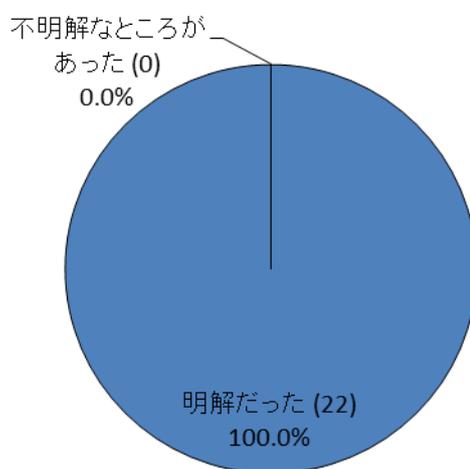
応募に必要な申請書類作成時の作業負荷はどの程度でしたか。



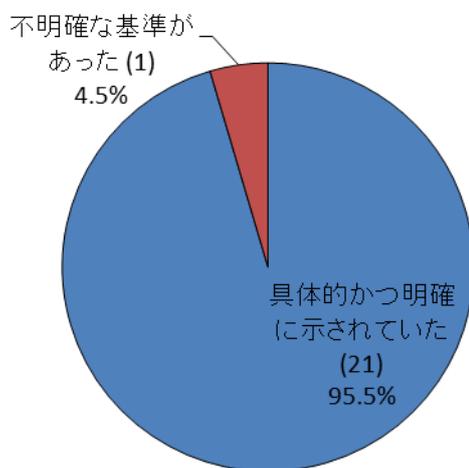
「負担を感じた」場合の理由（複数回答）



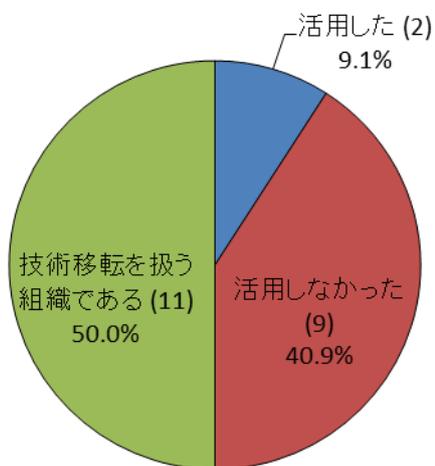
審査の手続きは明解でしたか。



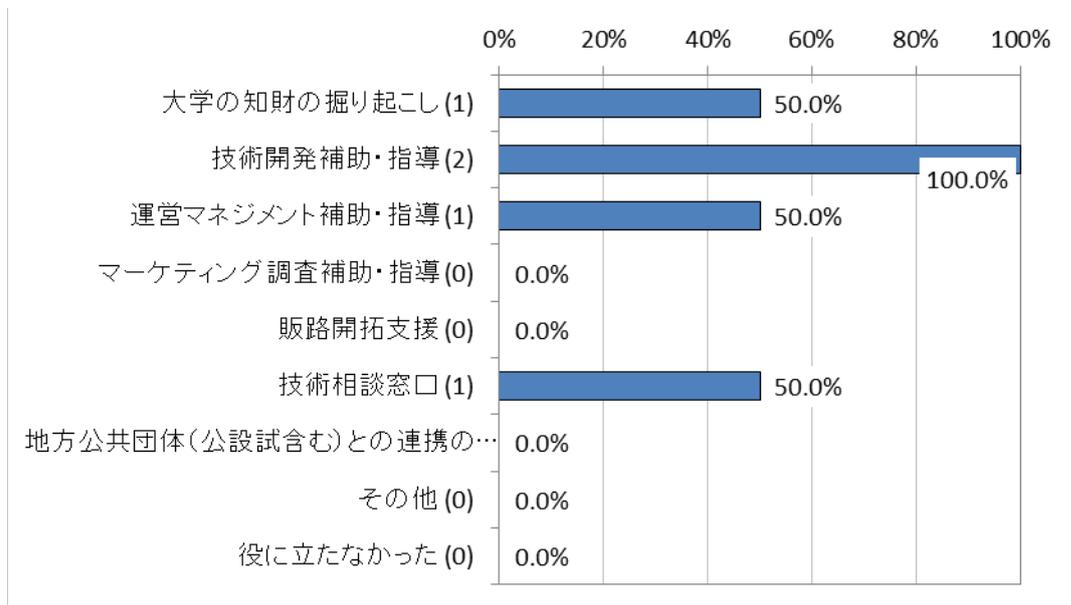
具体的かつ明確な審査基準が示されていましたが。



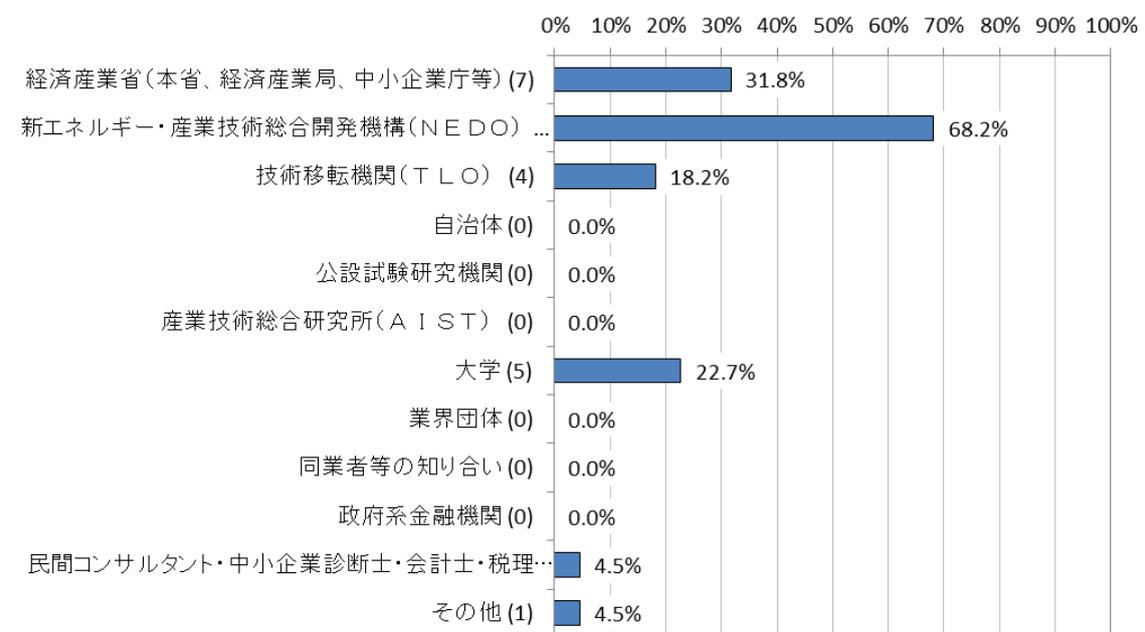
技術移転を扱う組織を活用しましたか。技術移転を扱う組織の方は「技術移転を扱う組織である」を選択してください。



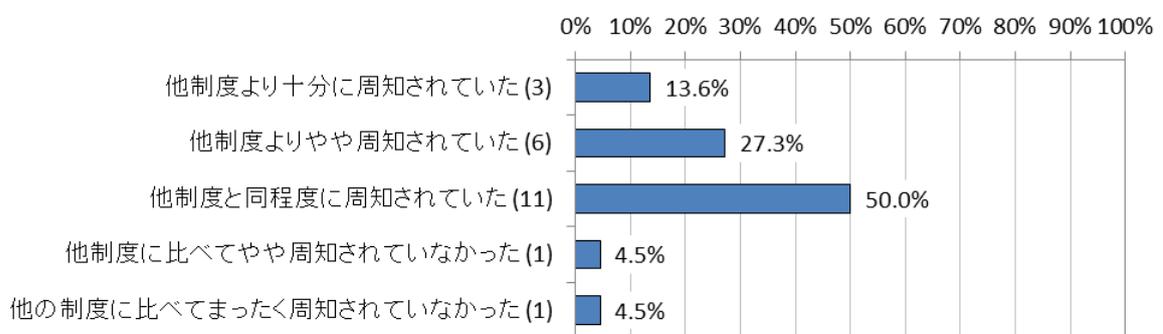
技術移転を扱う組織(TLO等)や公設試験研究機関のどのような機能が役に立ちましたか。(複数回答)



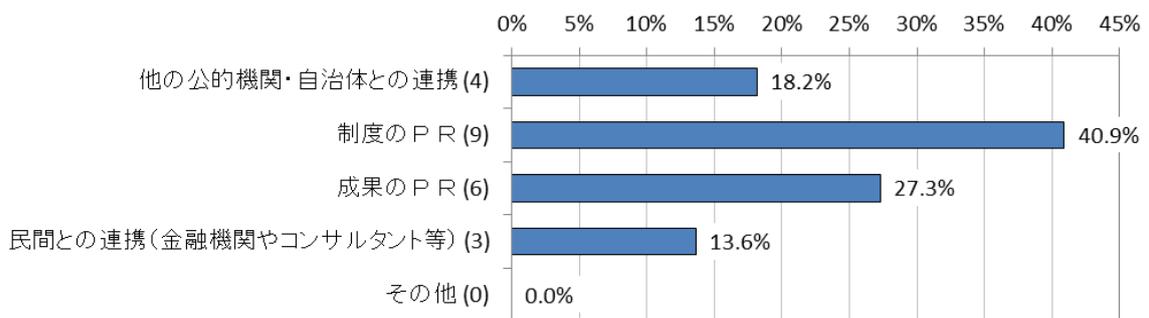
本制度の公募が実施されることをどこから知りましたか。(複数回答)



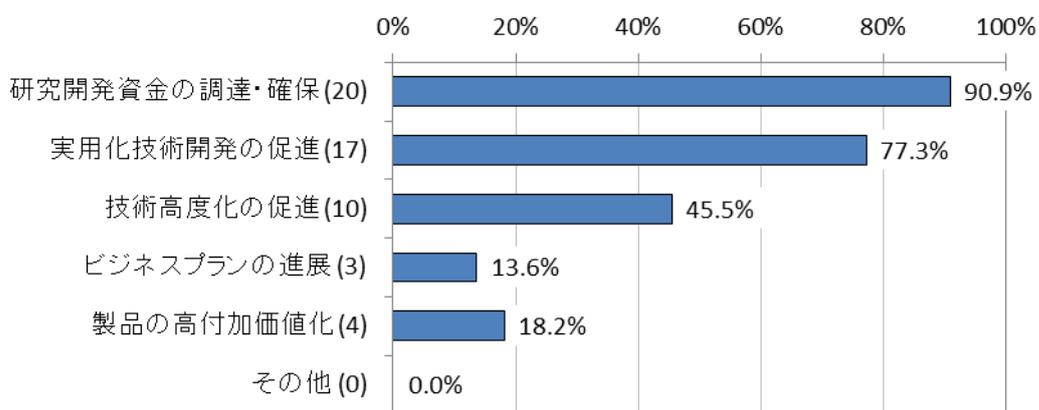
本制度は他の制度に比べて周知されていましたか。



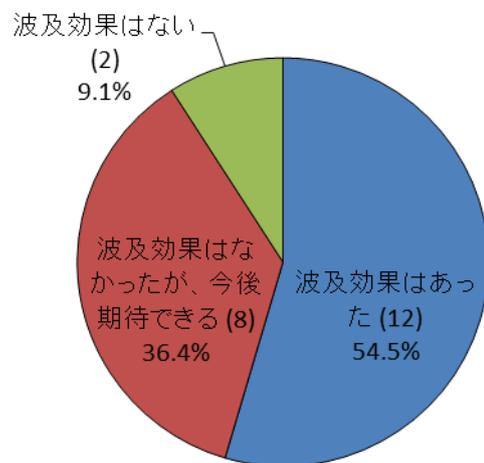
制度のような産学連携に関する国制度を、世の中にさらに知ってもらうために必要なことはどんなこととお考えですか。



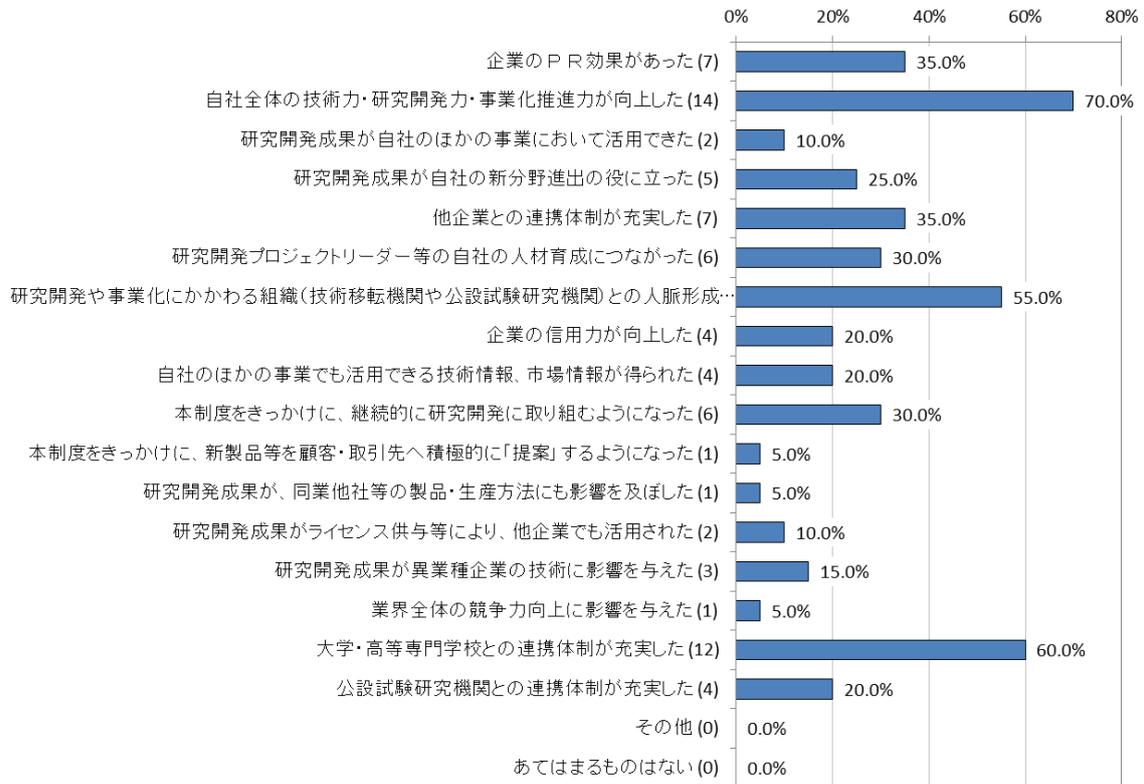
本制度はどのような点で有効であったと思いますか。(複数回答)



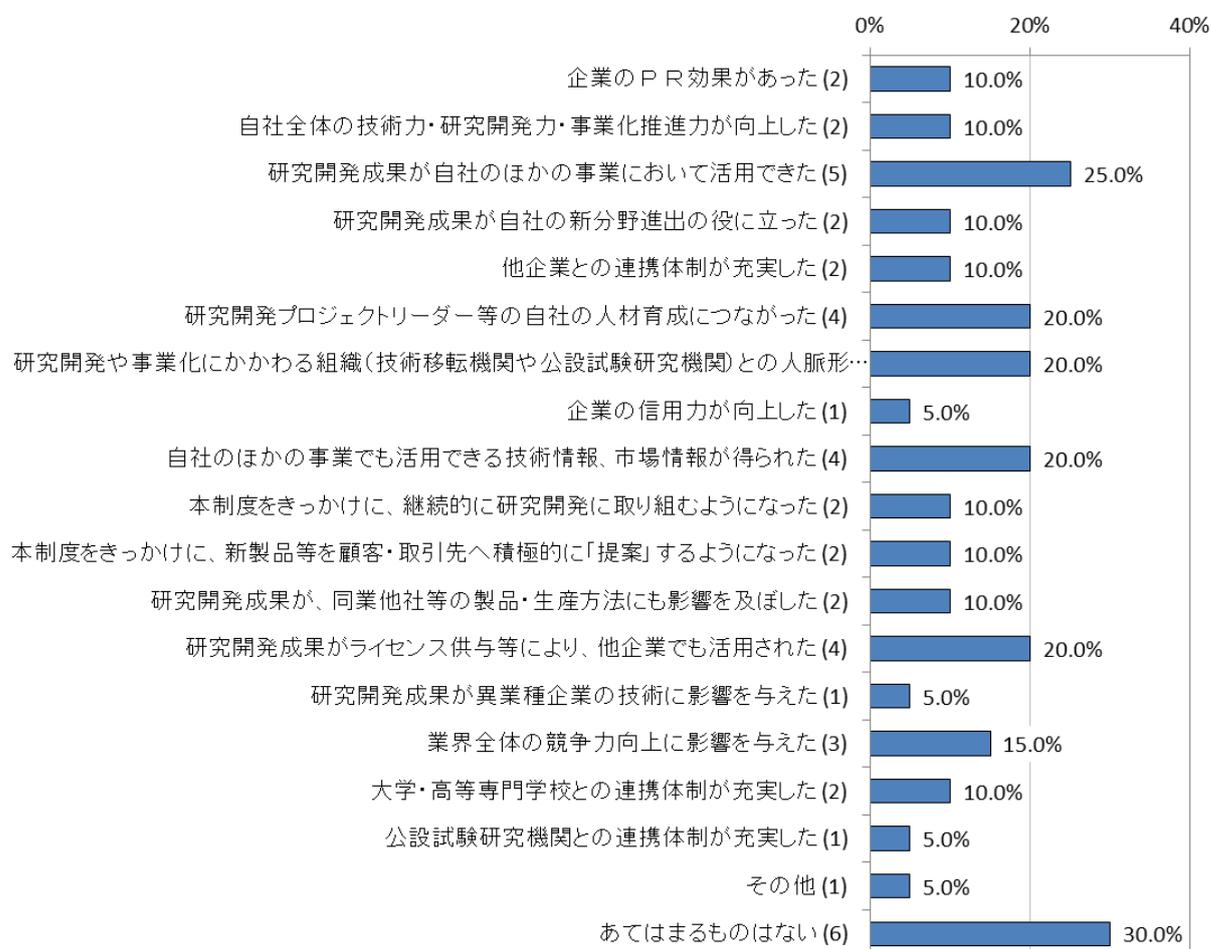
本制度について、事業実施の成果による波及効果はありましたか。



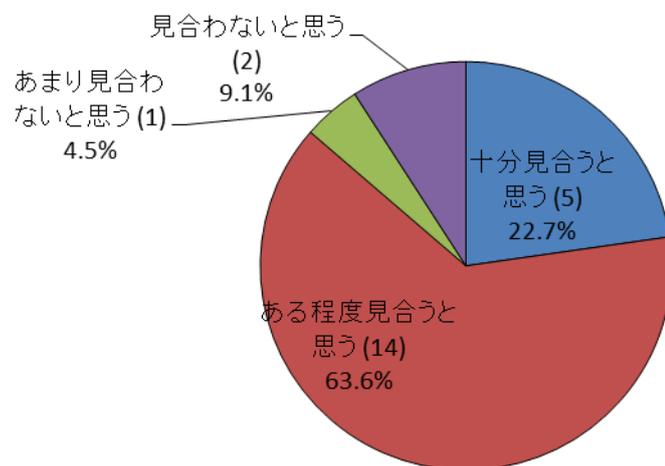
波及効果はあった」「波及効果はなかったが、今後期待できる」と回答した方に伺います。波及効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。なお、当初想定していたものと、当初想定していなかったものに分けてご回答ください。／当初想定していたもの（複数回答）



「波及効果はあった」「波及効果はなかったが、今後期待できる」と回答した方に伺います。波及効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。なお、当初想定していたものと、当初想定していなかったものに分けてご回答ください。／当初想定していなかったもの（複数回答）



本制度において、貴社が投入した資源量(資金や労力)は、得られた売上高・収益(または今後見込める売上高・収益)に対して見合うものだと思いますか。あてはまるものをお選びください。



(2) アンケート調査結果【事業毎の回答-年度別】

送付数：185 件

回収数：23 件

(2/14 時点)

分野1

	全体	ライフサイエンス分野	情報通信分野	環境分野	ナノテクノロジー・材料分野	エネルギー分野	製造(ものづくり)技術分野	社会基盤分野	フロンティア分野
全体	23 (100.0%)	7 (30.4%)	1 (4.3%)	4 (17.4%)	5 (21.7%)	1 (4.3%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17~19	16 (100.0%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20~21	7 (100.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

分野2

	全体	ライフサイエンス分野	情報通信分野	環境分野	ナノテクノロジー・材料分野	エネルギー分野	製造(ものづくり)技術分野	社会基盤分野	フロンティア分野
全体	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17~19	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20~21	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

分野3

	全体	ライフサイエンス分野	情報通信分野	環境分野	ナノテクノロジー・材料分野	エネルギー分野	製造(ものづくり)技術分野	社会基盤分野	フロンティア分野
全体	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17~19	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20~21	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

応募時の計画書に書かれた研究開発の内容に対して本事業終了時点の目標達成度はどの程度ですか。

	全体	0~10%程度(達成していない)	11~30%程度(ほとんど達成していない)	31~50%程度(どちらともいえない)	51~70%程度(ほぼ達成)	71~100%程度(達成)
全体	23 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	4 (17.4%)	9 (39.1%)	9 (39.1%)
H17~19	16 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	8 (50.0%)	5 (31.3%)
H20~21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)

本制度における補助事業実施期間中に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。

／1位

	全体	研究開発の 目標設定が 社会経済の 実態・ニーズ との乖離	研究開発マ ネジメント	資金の調達・ 確保	人材の確保	技術連携・交 流等	研究開発設 備の整備	その他
全体	23 (100.0%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)	6 (26.1%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)	5 (21.7%)	2 (8.7%)
H17～19	16 (100.0%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	6 (37.5%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)

本制度における補助事業実施期間中に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。

／2位

	全体	研究開発の 目標設定が 社会経済の 実態・ニーズ との乖離	研究開発マ ネジメント	資金の調達・ 確保	人材の確保	技術連携・交 流等	研究開発設 備の整備	その他
全体	21 (100.0%)	0 (0.0%)	6 (28.6%)	2 (9.5%)	8 (38.1%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)
H17～19	15 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (26.7%)	2 (13.3%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)
H20～21	6 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)

本制度における補助事業実施期間中に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。

／3位

	全体	研究開発の 目標設定が 社会経済の 実態・ニーズ との乖離	研究開発マ ネジメント	資金の調達・ 確保	人材の確保	技術連携・交 流等	研究開発設 備の整備	その他
全体	18 (100.0%)	0 (0.0%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	3 (16.7%)
H17～19	14 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (35.7%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)
H20～21	4 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)

補助事業終了後、応募テーマについて追加的な研究を実施しましたか。

	全体	追加的な研究開発に取り組んだ(でいる)	追加的な研究開発を予定している	追加的な研究開発の予定はない
全体	23 (100.0%)	21 (91.3%)	0 (0.0%)	2 (8.7%)
H17～19	16 (100.0%)	14 (87.5%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)
H20～21	7 (100.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「追加的な研究開発に取り組んだ(でいる)」「追加的な研究開発を予定している」とご回答した方に伺います。追加的な研究開発のための資金調達方法として、あてはまるものの選択肢番号を記載ください。また、「他の公的補助金等」および「公的融資」については具体的名称も記載ください。(複数回答)

	全体	自己資金	他の公的補助金等	民間金融機関による融資	公的融資	その他
全体	21 (1.38)	15 (71.4%)	8 (38.1%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)
H17～19	14 (1.57)	11 (78.6%)	6 (42.9%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)
H20～21	7 (1.00)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)

現時点の新製品・新技術の開発状況について、状況はどの程度ですか。

	全体	新製品・新技術は開発できていない(見通しも立たず)	新製品・新技術は開発できていない(ただし、見通しは立った)	新製品・新技術開発はできている(ただし、当初計画通りの製品・技術はできていない)	新製品・新技術開発はできている(当初計画通りの製品・技術ができた)	新製品・新技術開発はできている(当初計画以上の製品・技術ができた)
全体	23 (100.0%)	3 (13.0%)	10 (43.5%)	2 (8.7%)	8 (34.8%)	0 (0.0%)
H17～19	16 (100.0%)	3 (18.8%)	5 (31.3%)	2 (12.5%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)

新製品・新技術開発はできているとお答えの方へお伺いします。いつ新製品・新技術はできましたか。

	全体	補助事業終了時点	補助事業終了後
全体	10 (100.0%)	4 (40.0%)	6 (60.0%)
H17～19	8 (100.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)
H20～21	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)

新製品・新技術開発はできているとお答えの方へお伺いします。いつ新製品・新技術はできましたか。／補助事業終了後（数値）

	全体	平均
全体	6	3
H17～19	5	3.2
H20～21	1	2

「新製品・新技術は開発できていない」「当初計画通りの製品・技術はできていない」とご回答をした方にお伺いします。今後、新製品／新技術を開発するための計画はありますか。

	全体	明確な計画がある	大まかな計画がある	計画はない	その他
全体	15 (100.0%)	5 (33.3%)	5 (33.3%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)
H17～19	10 (100.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)
H20～21	5 (100.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「明確な計画がある」「大まかな計画がある」とご回答をした方にお伺いします。今後、新製品／新技術を開発するには、後どの程度の期間が必要だと考えていますか。また、計画実行の際に想定される具体的な課題についてお答えください。

	全体	半年以内	1年程度	2年程度	3年程度	4年程度	5年程度	6年以上
全体	10 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)
H17～19	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)
H20～21	5 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)

補助事業終了時点での新製品・新技術の開発達成・未達の要因は何と考えられますか。あてはまるものをお選びください。／1位

	全体	技術力	研究開発マネジメント力	資金力	技術に関する情報収集力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	その他
全体	23 (100.0%)	7 (30.4%)	0 (0.0%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	4 (17.4%)	3 (13.0%)
H17~19	16 (100.0%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	5 (31.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)
H20~21	7 (100.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

補助事業終了時点での新製品・新技術の開発達成・未達の要因は何と考えられますか。あてはまるものをお選びください。／2位

	全体	技術力	研究開発マネジメント力	資金力	技術に関する情報収集力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	その他
全体	17 (100.0%)	1 (5.9%)	9 (52.9%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)
H17~19	11 (100.0%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
H20~21	6 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

補助事業終了時点での新製品・新技術の開発達成・未達の要因は何と考えられますか。あてはまるものをお選びください。／3位

	全体	技術力	研究開発マネジメント力	資金力	技術に関する情報収集力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	その他
全体	16 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	2 (12.5%)	3 (18.8%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)
H17~19	11 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)
H20~21	5 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)

本事業終了時点の目標達成度、現時点の新製品・新技術の開発状況についての回答について、研究開発達成や新製品・新技術開発の達成に対する、本制度全体の貢献度はどの程度とお考えですか。また、その理由についても記載ください。

	全体	大いに役立った	役立った	あまり役立たなかった	役立たなかった
全体	18 (100.0%)	13 (72.2%)	5 (27.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17~19	11 (100.0%)	8 (72.7%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20~21	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

採択された応募テーマについて、本制度利用中または利用後に技術論文の発表はありましたか。また、予定はありますか。

	全体	利用中	利用後	予定	ない
全体	18 (100.0%)	6 (33.3%)	3 (16.7%)	3 (16.7%)	6 (33.3%)
H17～19	11 (100.0%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)
H20～21	7 (100.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)

「利用中」「利用後」を選択した方は発表した論文の本数を記載してください。／本（数値）

	全体	平均
全体	9	4.3
H17～19	6	4.5
H20～21	3	4

採択された応募テーマについて、本制度利用中または利用後に特許、実用新案・意匠等の出願はありましたか。また、予定はありますか。

	全体	利用中	利用後	予定	ない
全体	18 (100.0%)	11 (61.1%)	3 (16.7%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)
H17～19	11 (100.0%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)
H20～21	7 (100.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)

「利用中」「利用後」を選択した方は、出願済み特許権等の件数を記載してください。／特許（数値）

	全体	平均
全体	14	5
H17～19	8	6
H20～21	6	3

「利用中」「利用後」を選択した方は、出願済み特許権等の件数を記載してください。／実用新案（数値）

	全体	平均
全体	14	0
H17～19	8	0
H20～21	6	0

「利用中」「利用後」を選択した方は、出願済み特許権等の件数を記載してください。／意匠（数値）

	全体	平均
全体	14	0
H17～19	8	0
H20～21	6	0

採択された応募テーマについて、本制度利用中または利用後にライセンス供与・技術供与はありましたか。また、予定はありますか。

	全体	利用中	利用後	予定	ない
全体	18 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	13 (72.2%)
H17～19	11 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	9 (81.8%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)

「利用中」「利用後」を選択した方は、その件数を記載してください。／ライセンス供与（数値）

	全体	平均
全体	3	1.7
H17～19	2	2
H20～21	1	1

「利用中」「利用後」を選択した方は、その件数を記載してください。／技術供与（数値）

	全体	平均
全体	3	0
H17～19	2	0
H20～21	1	0

採択された応募テーマについて、本制度利用中または利用後に業界標準（製法や製造コストの業界標準、いわゆる、デファクトスタンダード）等への寄与はありましたか。また、予定はありますか。

	全体	利用中	利用後	予定	ない
全体	18 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (27.8%)	13 (72.2%)
H17～19	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	8 (72.7%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)

「利用中」「利用後」を選択した方は件数を記載してください。／件（数値）

※回答なし

採択された応募テーマについて、本制度利用中または利用後にプロトタイプの実験はありましたか。また、予定はありますか。

	全体	利用中	利用後	予定	ない
全体	18 (100.0%)	5 (27.8%)	2 (11.1%)	5 (27.8%)	6 (33.3%)
H17～19	11 (100.0%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	4 (36.4%)
H20～21	7 (100.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)

「利用中」「利用後」を選択した方は件数を記載してください。／件（数値）

	全体	平均
全体	7	1.7
H17～19	5	1.6
H20～21	2	2

本研究開発において、成果管理責任者の研究開発管理は適切なものと感じましたか。

	全体	おおむね適切だった	適切でない部分もあった	不適切だった
全体	18 (100.0%)	18 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17～19	11 (100.0%)	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (100.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

本制度における補助事業終了後、3年経過時点における実用化の状況をご回答ください。

現時点での実用化状況をご回答ください。

	全体	継続的な売上実績があり、利益も上がっている	継続的に売上実績があるが、利益は上げていない	製品の売上実績があるが、継続的なものではない	注文(契約)が取れた段階であり、まだ売上実績はない	製品販売に関する宣伝等を行っている(売上実績はない)	研究開発実施中	研究開発後、事業化を試みたが、現在は中止	研究開発段階で中止	補助事業終了後、3年経過していない
全体	18 (100.0%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)
H17～19	11 (100.0%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。実用化の達成／未達の要因について、あてはまるものをお選びください。／1位

	全体	ニーズ把握・マーケット情報収集力	販売力・広報力	資金力	技術力	経営戦略・事業マネジメント力	技術に関する情報収集力	製造能力・サービスノウハウ	研究開発マネジメント力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	知的財産、各種手続等対応力	その他
全体	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)
H17～19	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
H20～21	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。実用化の達成／未達の要因について、あてはまるものをお選びください。／2位

	全体	ニーズ把握・マーケット情報収集力	販売力・広報力	資金力	技術力	経営戦略・事業マネジメント力	技術に関する情報収集力	製造能力・サービスノウハウ	研究開発マネジメント力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	知的財産、各種手続等対応力	その他
全体	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)
H17～19	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
H20～21	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。実用化の達成／未達の要因について、あてはまるものをお選びください。／3位

	全体	ニーズ把握・マーケット情報収集力	販売力・広報力	資金力	技術力	経営戦略・事業マネジメント力	技術に関する情報収集力	製造能力・サービスノウハウ	研究開発マネジメント力	ネットワーク力(技術連携・交流等)	設備・機器水準	知的財産、各種手続等対応力	その他
全体	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)
H17～19	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)
H20～21	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。補助事業の研究開発成果の実用化を試みていた際に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。／1位

	全体	販路開拓	マーケティング戦略の策定	技術の高度化(製品性能向上)	資金の調達・確保	情報収集(市場情報等)	人材の確保	生産・販売体制の整備	広告・宣伝	生産設備の整備	ビジネスモデルの策定	その他
全体	7 (100.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)
H17～19	6 (100.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)
H20～21	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。補助事業の研究開発成果の実用化を試みていた際に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。／2位

	全体	販路開拓	マーケティング戦略の策定	技術の高度化(製品性能向上)	資金の調達・確保	情報収集(市場情報等)	人材の確保	生産・販売体制の整備	広告・宣伝	生産設備の整備	ビジネスモデルの策定	その他
全体	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)
H17～19	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
H20～21	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「研究開発実施中」「研究開発段階で中止」以外を回答した方にお伺いします。補助事業の研究開発成果の実用化を試みていた際に、どのような課題がありましたか。あてはまるものをお選びください。／3位

	全体	販路開拓	マーケティング戦略の策定	技術の高度化(製品性能向上)	資金の調達・確保	情報収集(市場情報等)	人材の確保	生産・販売体制の整備	広告・宣伝	生産設備の整備	ビジネスモデルの策定	その他
全体	7 (100.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)
H17～19	6 (100.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
H20～21	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)

応募時計画書の売上高（万円）／3年目（数値）

	全体	平均
全体	17	9115.3
H17～19	10	8096.0
H20～21	7	10571.4

応募時計画書の売上高（万円）／4年目（数値）

	全体	平均
全体	17	14738.1
H17～19	10	10504.7
H20～21	7	20785.7

応募時計画書の売上高（万円）／5年目（数値）

	全体	平均
全体	17	24218.2
H17～19	10	23781.0
H20～21	7	24842.9

応募時計画書の売上高（万円）／10年目（数値）

	全体	平均
全体	17	22020.5
H17～19	10	18795.0
H20～21	7	26628.4

実績又は現時点での売上見込み（万円）／3年目（数値）

	全体	平均
全体	17	3337.5
H17～19	10	5613.8
H20～21	7	85.7

実績又は現時点での売上見込み（万円）／4年目（数値）

	全体	平均
全体	17	1336.6
H17～19	10	1992.2
H20～21	7	400.0

実績又は現時点での売上見込み（万円）／5年目（数値）

	全体	平均
全体	17	2177.1
H17～19	10	2151.1
H20～21	7	2214.3

実績又は現時点での売上見込み（万円）／10年目（数値）

	全体	平均
全体	17	8848.2
H17～19	10	9022.0
H20～21	7	8600.0

実績又は現時点での要員見込み(人)／3年目(数値)

	全体	平均
全体	17	3.6
H17～19	10	2.4
H20～21	7	5.3

実績又は現時点での要員見込み(人)／4年目(数値)

	全体	平均
全体	17	3.4
H17～19	10	2.1
H20～21	7	5.1

実績又は現時点での要員見込み(人)／5年目(数値)

	全体	平均
全体	17	4.4
H17～19	10	2.2
H20～21	7	7.4

実績又は現時点での要員見込み(人)／10年目(数値)

	全体	平均
全体	17	6.1
H17～19	10	4.9
H20～21	7	7.7

実用化を達成された方にお伺いします。今後の当該事業の実施方針について、どのようにお考えですか。

	全体	投入する経営資源を増加し、さらなる売り上げを	経費等を削減し、利益率向上を目指す	現状維持	事業規模の縮小	その他
全体	5 (100.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17～19	5 (100.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20～21	0	0	0	0	0	0

今後、実用化に向けた計画はありますか。

	全体	明確な計画がある	大まかな計画がある	計画はない	その他
全体	10 (100.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)
H17～19	3 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (100.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

「明確な計画がある」「大まかな計画がある」とご回答をした方にお伺いします。今後、実用化するには、後どの程度の期間が必要だと考えていますか。また、計画実行の際に想定される具体的な課題についてお答えください。

	全体	半年以内	1年程度	2年程度	3年程度	4年程度	5年程度	6年以上
全体	9 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)
H17～19	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)

本制度への応募テーマについて、補助事業終了後、公的実用化支援策を活用しましたか。活用した場合は、活用した支援策の具体的な名称、および役立ったかどうかを記載ください。

	全体	活用した	活用しなかった
全体	18 (100.0%)	7 (38.9%)	11 (61.1%)
H17～19	11 (100.0%)	5 (45.5%)	6 (54.5%)
H20～21	7 (100.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)

「活用した」と回答した場合、活用した支援策は実用化へ役立ちましたか。

	全体	大いに役立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
全体	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H17～19	5 (100.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H20～21	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

本制度の補助事業終了後に、実用化に向けた追加支援として必要な事項として期待したいことはありますか。(複数回答)

	全体	マネジメント	継続研究	実用化手前での試作やテスト実施	マーケティング・販路開拓(展示会・出展)	追加設備投資のための補助	その他	マネジメント	継続研究	実用化手前での試作やテスト実施	マーケティング・販路開拓(展示会・出展)	その他
全体	18 (3.11)	2 (11.1%)	10 (55.6%)	7 (38.9%)	7 (38.9%)	6 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	6 (33.3%)	4 (22.2%)	11 (61.1%)	0 (0.0%)
H17～19	11 (3.45)	2 (18.2%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)
H20～21	7 (2.57)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)

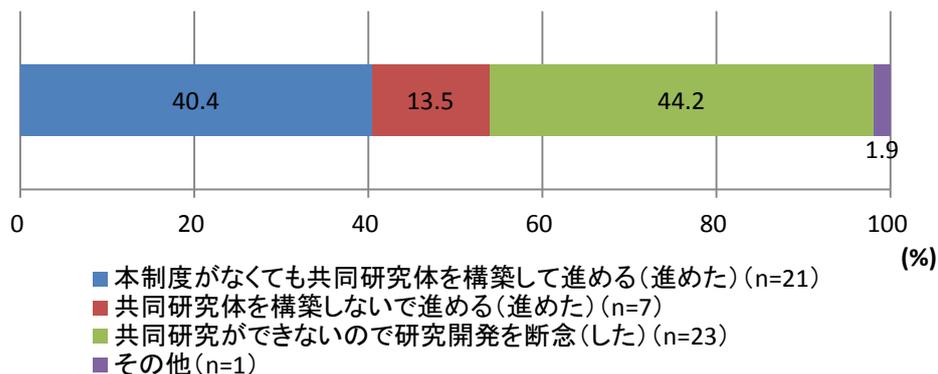
(3) 実用化事業者（助成事業者を通じて送付）

送付数 159 件

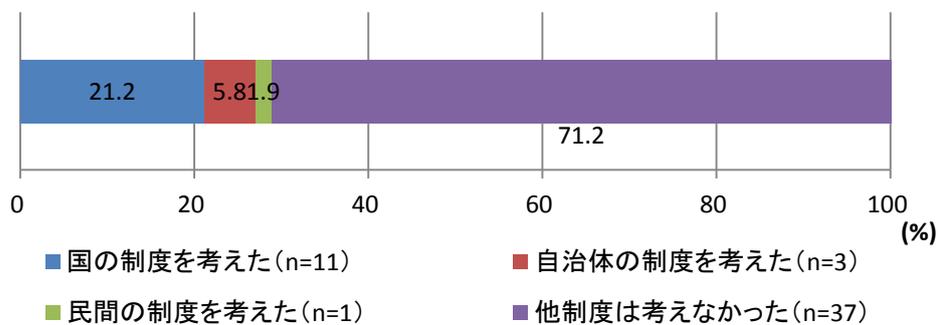
回収数 52 件

(2/14 時点)

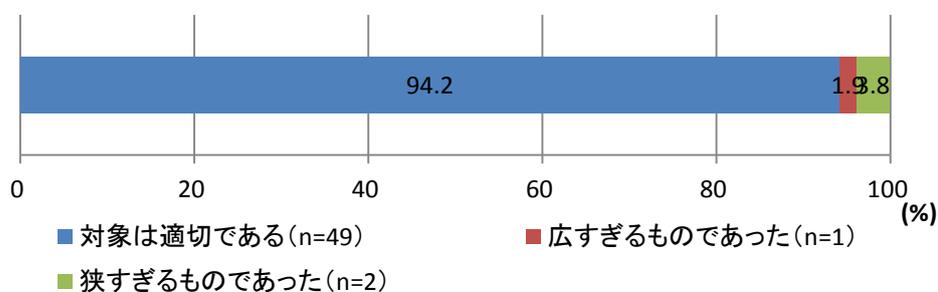
本制度がなかった場合、研究実施者は共同研究に関して、研究開発をどのように進めましたか。(SA)



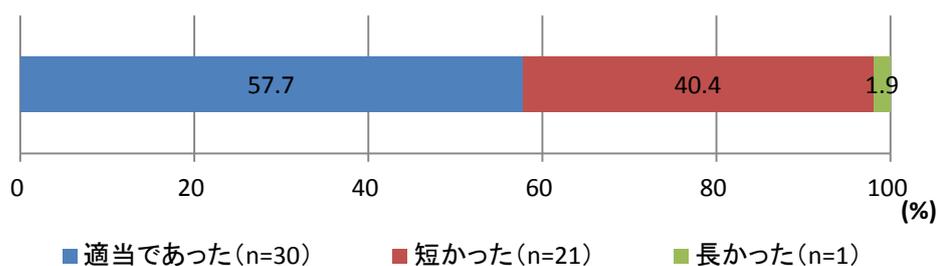
応募の際に、研究開発(技術移転を扱う組織の場合は「研究開発支援」)で申請者は、他制度の活用を考えましたか。(SA)



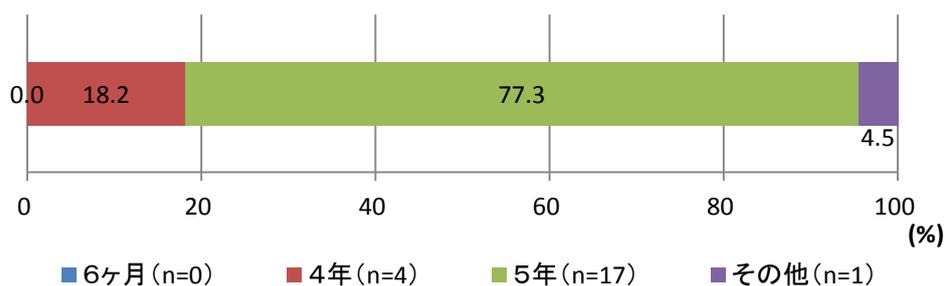
本制度の対象事業は「民間企業と大学等が連携して実施する研究開発事業であり、新たな産業・雇用創出に資する技術課題であって、8分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造(ものづくり)技術、社会基盤、フロンティア)のもの」です。この対象範囲は適切とお考えですか。(SA)



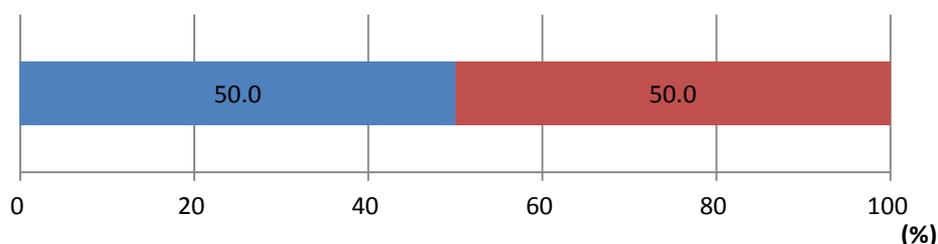
本制度の研究開発期間は「3年以内」です。この期間は目的達成のための事業実施期間として適切とお考えですか。(SA)



「短かった」及び「長かった」と回答した方にご質問します。適切と考える研究開発期間はどれくらいですか。(SA)

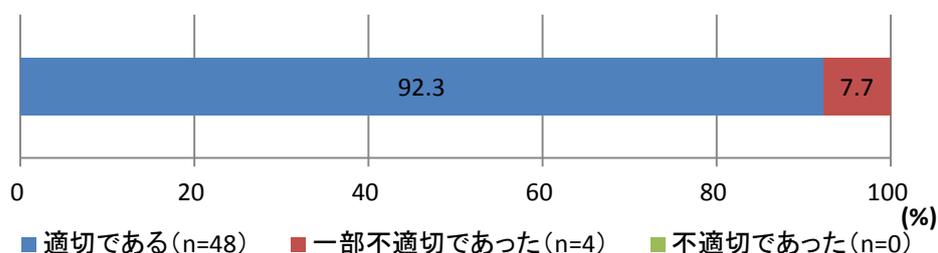


本制度は「(ア)技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発」及び「(イ)民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(平成19年度以降)」の2つのスキームがあります。貴機関の活用したスキームを選択してください。また、活用したスキームは適切とお考えですか。「一部不適切」「不適切」を選択された場合は具体的に記載をお願いします。／活用したスキームを選択してください。(SA)



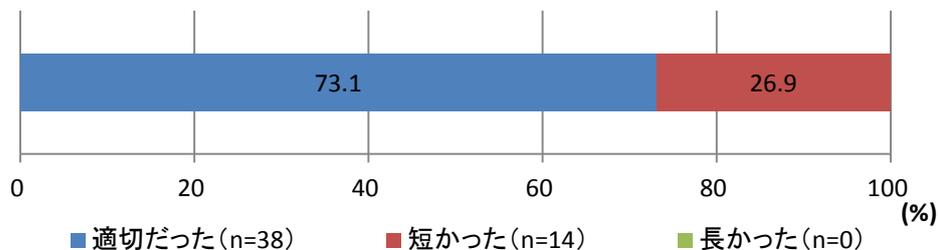
■ (ア) 技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(n=26)

本制度は「(ア)技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発」及び「(イ)民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(平成19年度以降)」の2つのスキームがあります。貴機関の活用したスキームを選択してください。また、活用したスキームは適切とお考えですか。「一部不適切」「不適切」を選択された場合は具体的に記載をお願いします。／活用したスキームは適切でしたか。(SA)



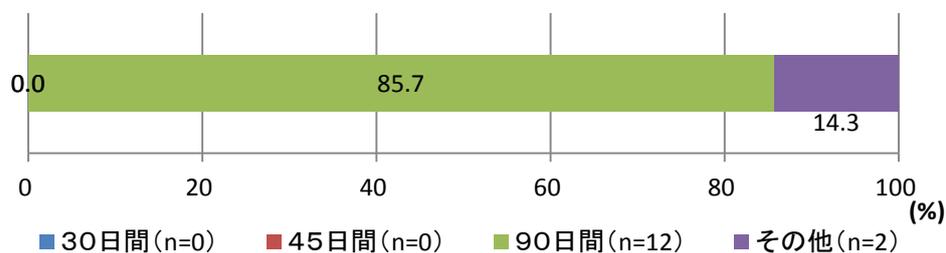
■ 適切である(n=48) ■ 一部不適切であった(n=4) ■ 不適切であった(n=0)

本制度の公募期間は適切でしたか。現在の公募期間は約60日です。(SA)

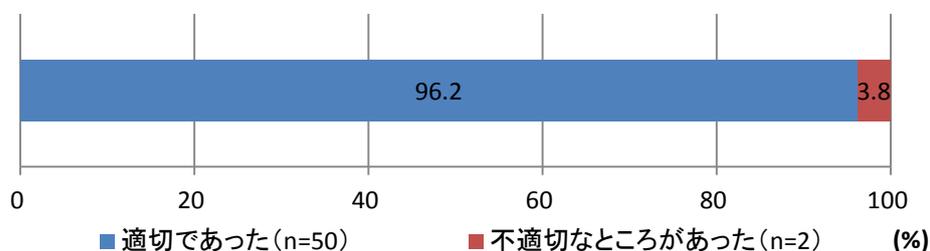


■ 適切だった(n=38) ■ 短かった(n=14) ■ 長かった(n=0)

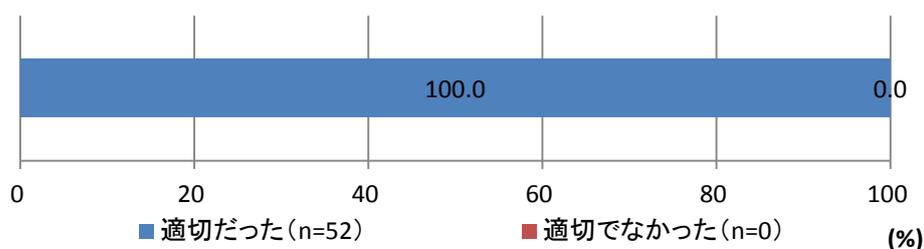
「短かった」及び「長かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適切とお考えですか。(SA)



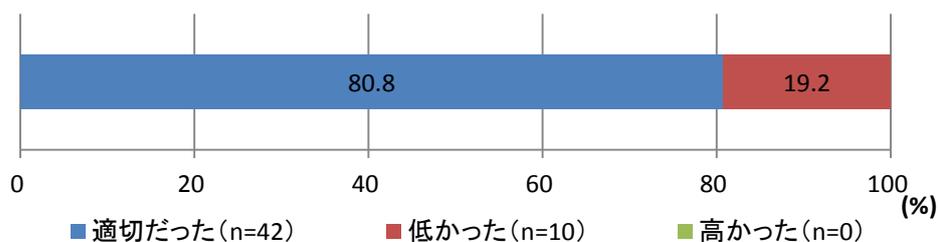
補助金の内容(補助対象経費の費目)は適切とお考えですか。(SA)



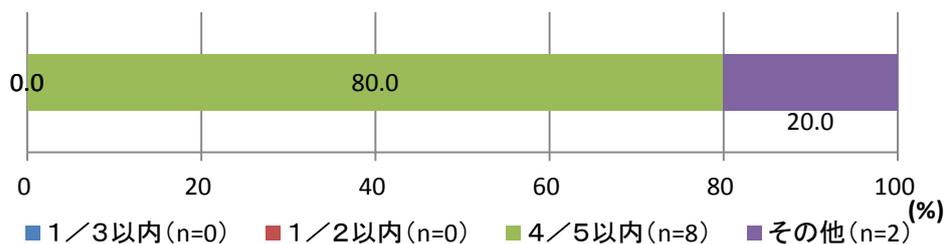
補助金額の額(1年間1億円程度まで、新規提案時の下限は1年度1千万円)は適切でしたか。(SA)



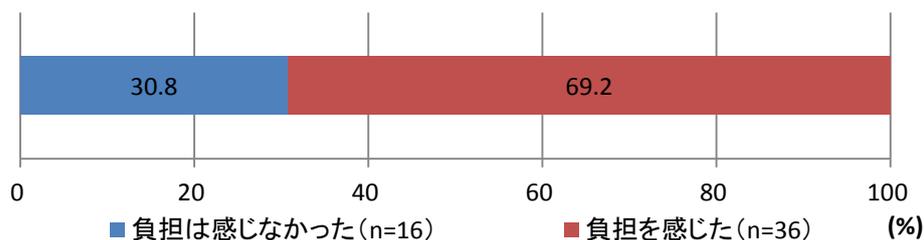
本制度の補助率(助成対象経費の3分の2以内)は適切でしたか。(SA)



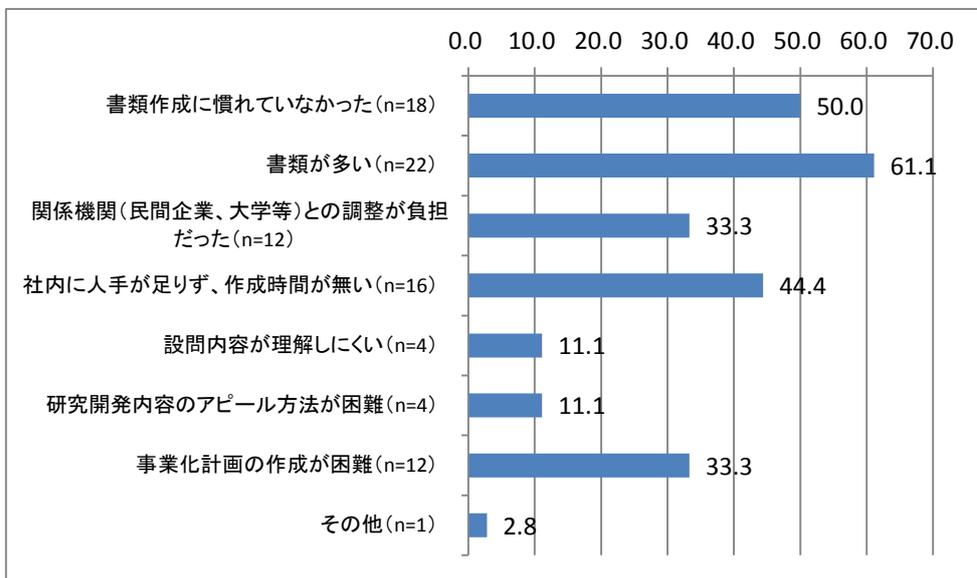
「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適当とお考えですか。(SA)



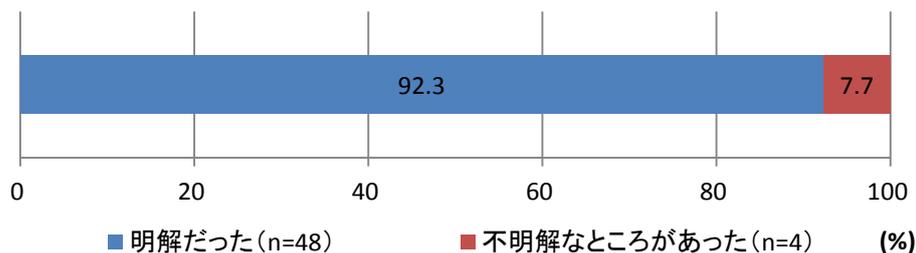
応募に必要な申請書類作成時の作業負荷はどの程度でしたか。(SA)



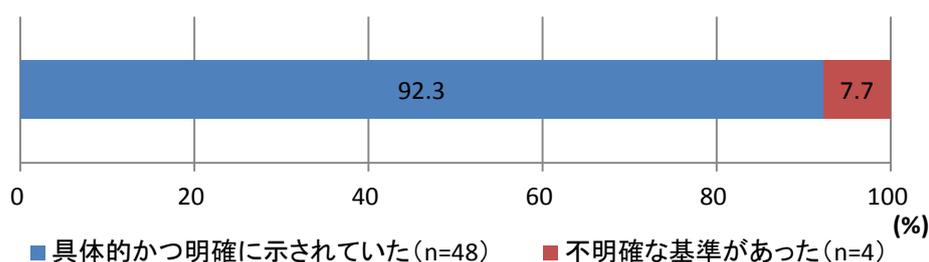
「負担を感じた」とご回答になった理由をお答えください。(MA)



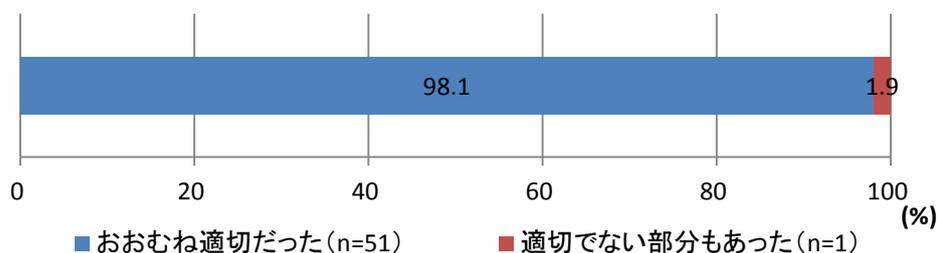
審査の手続きは明解でしたか。(SA)



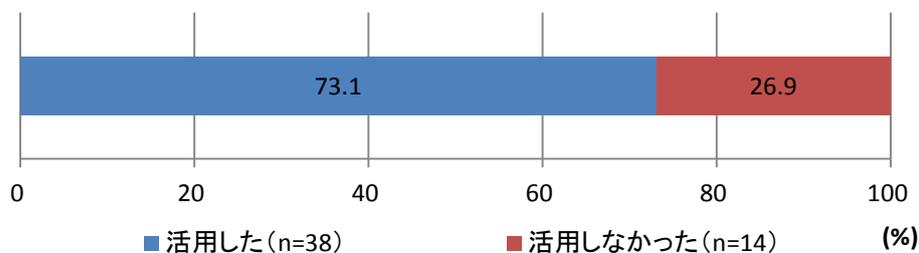
具体的かつ明確な審査基準が示されていましたか。(SA)



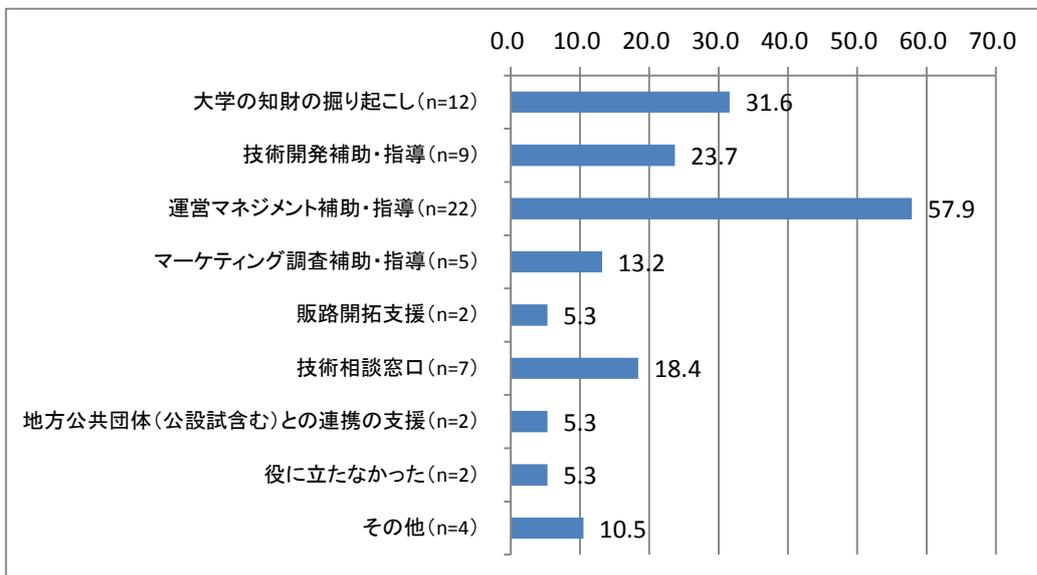
本制度において、成果管理責任者の研究開発管理は適切なものと感じましたか。(SA)



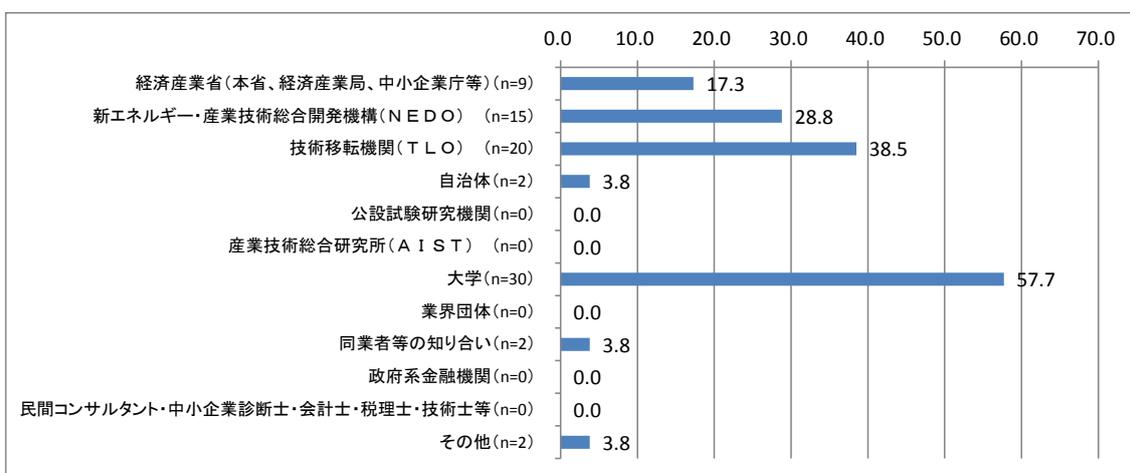
本研究開発の実施にあたり、技術移転を扱う組織(TLO等)や公設試験研究機関等を何らか活用されましたか。(SA)



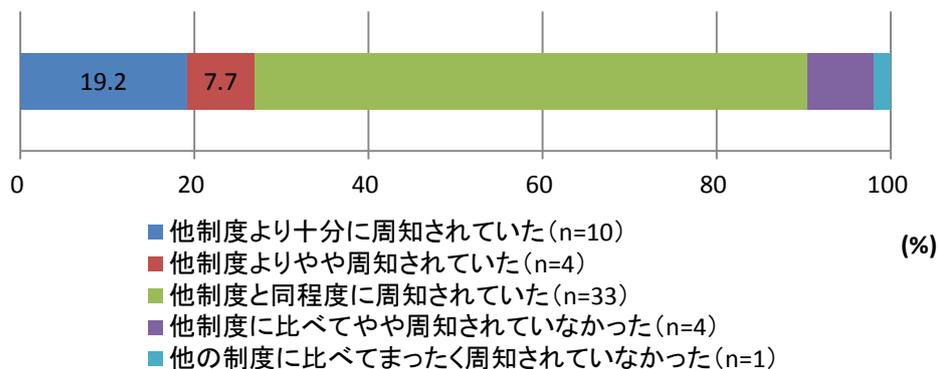
「活用した」と回答した方に質問します。技術移転を扱う組織（TLO等）や公設試験研究機関のどのような機能が役に立ちましたか。（MA）



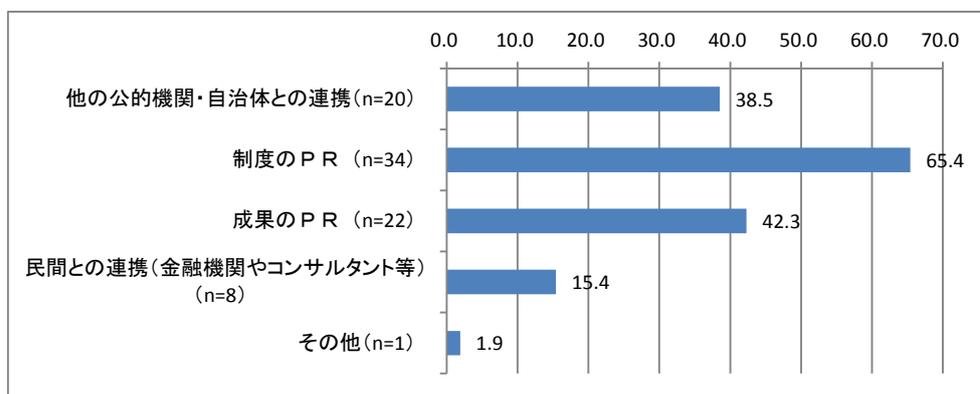
本制度の公募が実施されることをどこから知りましたか。（MA）



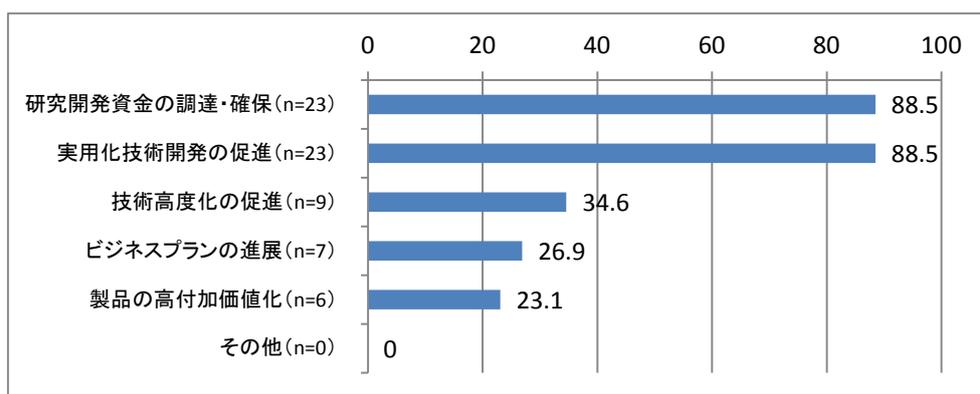
本制度は他の制度に比べて周知されていましたか。(SA)



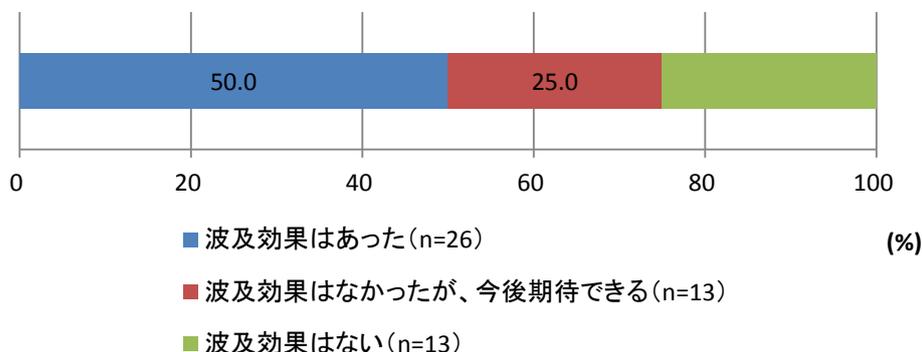
本制度のような産学連携に関する国制度を、世の中にさらに知ってもらうために必要なことはどんなこととお考えですか。(MA)



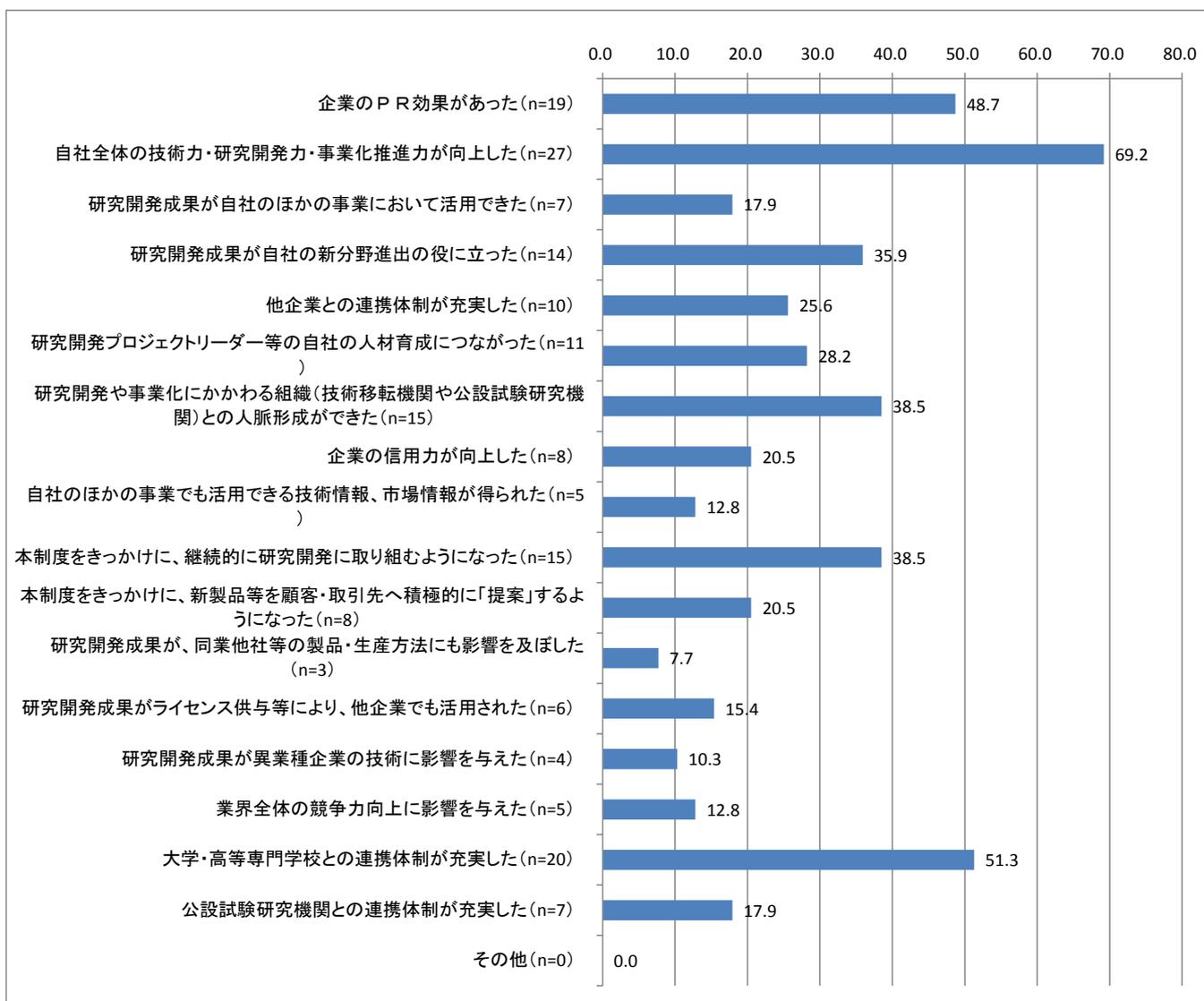
本制度はどのような点で有効であったと思いますか。(MA)



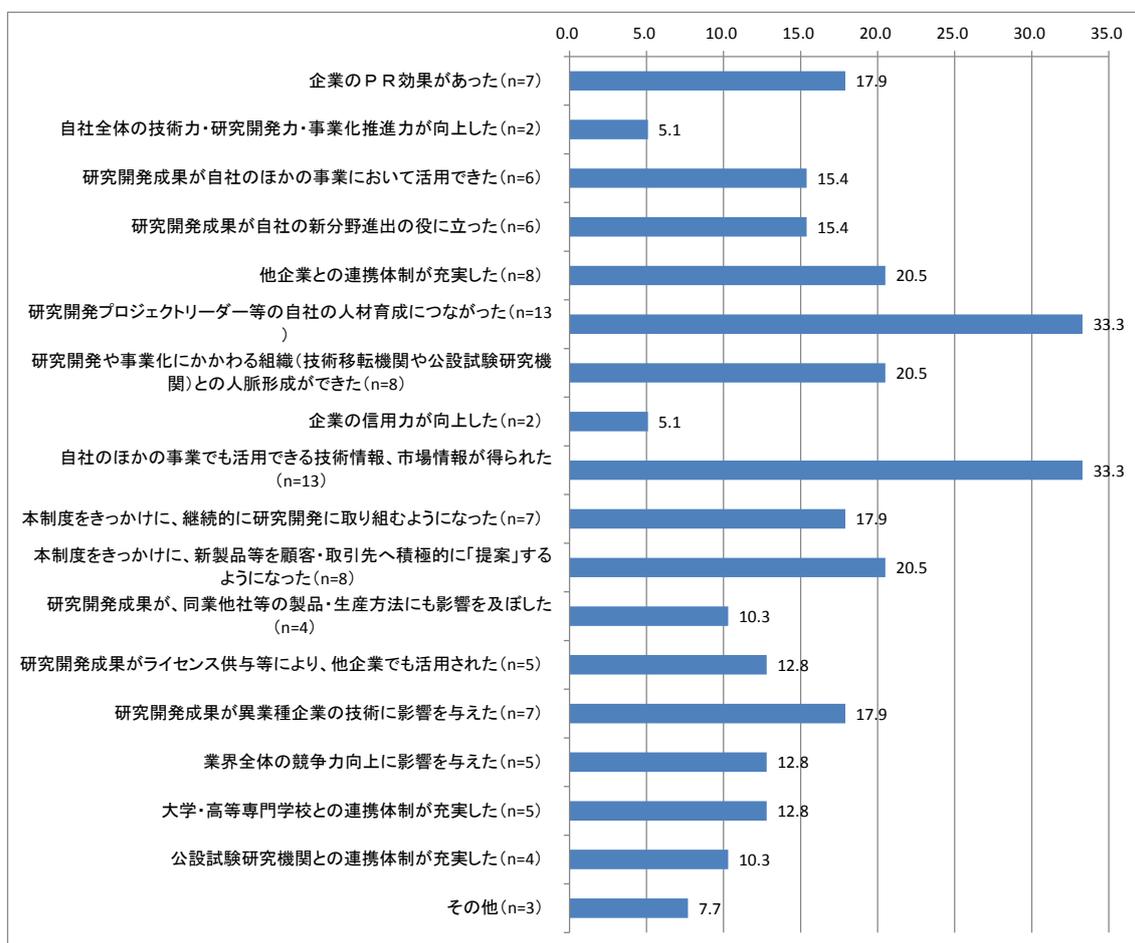
本制度について、事業実施の成果による波及効果はありましたか。(SA)



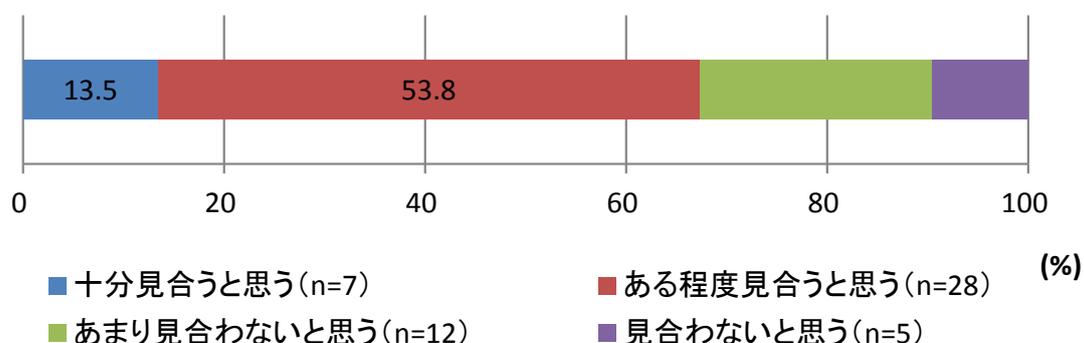
「波及効果はあった」「波及効果はなかったが、今後期待できる」と回答した方に伺います。波及効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。なお、当初想定していたものと、当初想定していなかったものに分けてご回答ください。／当初想定していたもの(MA)



「波及効果はあった」「波及効果はなかったが、今後期待できる」と回答した方に伺います。波及効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。なお、当初想定していたものと、当初想定していなかったものに分けてご回答ください。／当初想定していなかったもの(MA)



本制度において、貴社が投入した資源量(資金や労力)は、得られた売上高・収益(または今後見込める売上高・収益)に対して見合うものだと思いますか。あてはまるものをお選びください。(SA)



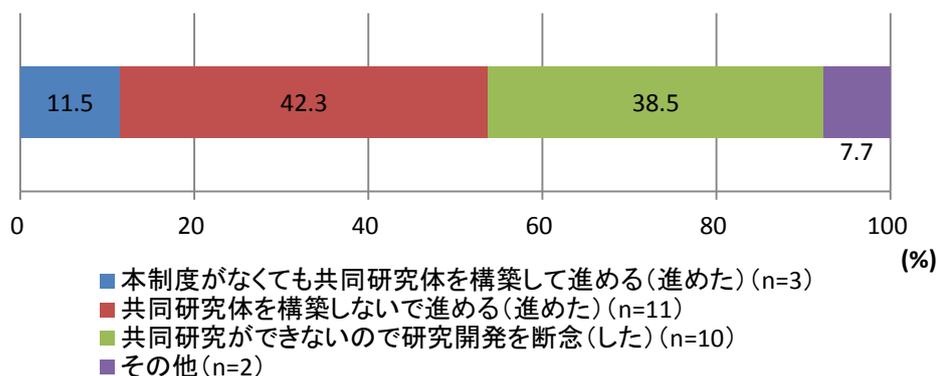
(4) 実施大学等（助成異業者を通じて送付）

送付数 235 件（機関の重複有り）

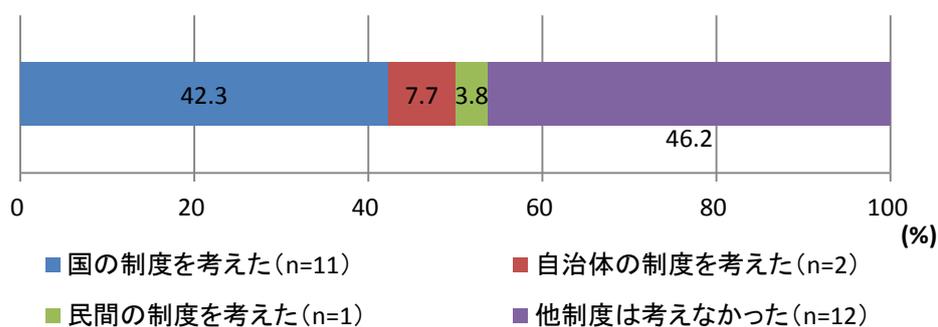
回収数 26 件

（2/14 時点）

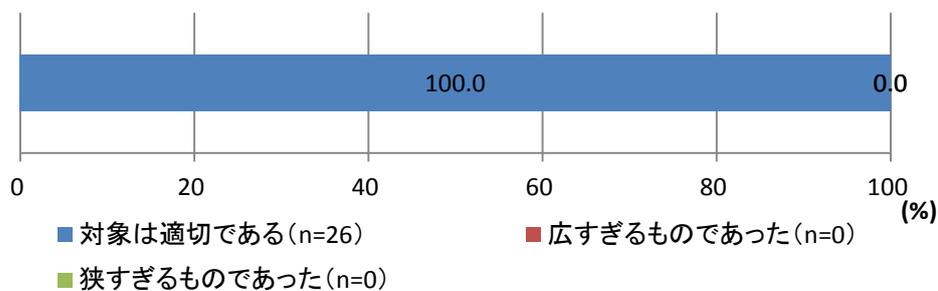
本制度がなかった場合、研究実施者は共同研究に関して、研究開発をどのように進めましたか。（SA）



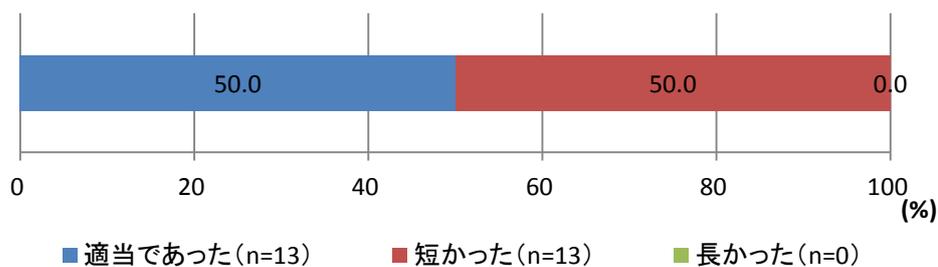
研究開発(技術移転を扱う組織の場合は「研究開発支援」)で、他制度の活用を考えましたか。（SA）



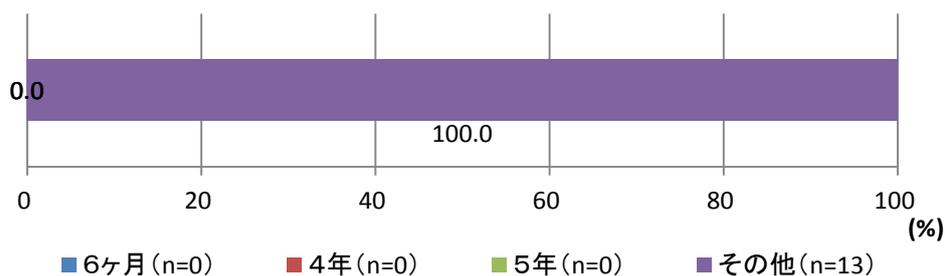
本制度の対象事業は「民間企業と大学等が連携して実施する研究開発事業であり、新たな産業・雇用創出に資する技術課題であって、8分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造(ものづくり)技術、社会基盤、フロンティア)のもの」です。この対象範囲は適切とお考えですか。(SA)



本制度の研究開発期間は「3年以内」です。この期間は目的達成のための事業実施期間として適切とお考えですか。(SA)

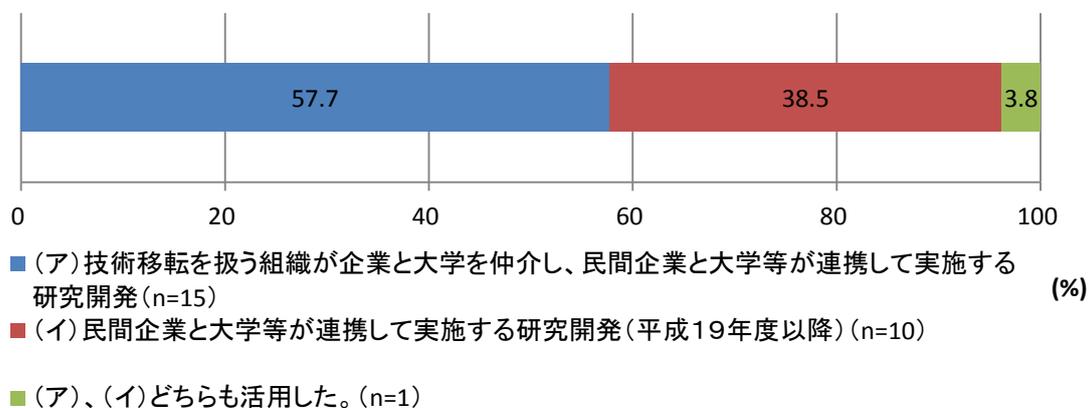


「短かった」及び「長かった」と回答した方にご質問します。適切と考える研究開発期間はどれくらいですか。(SA)

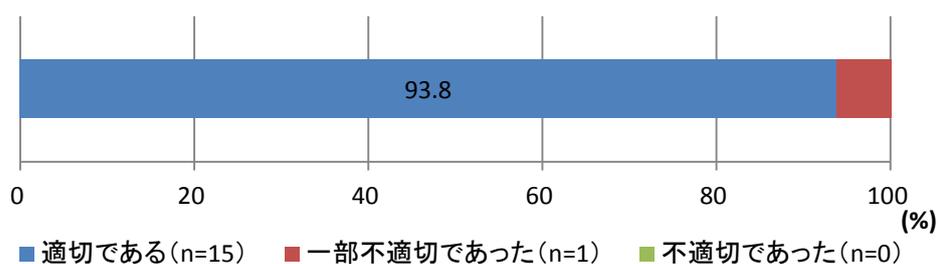


本制度は「(ア)技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発」及び「(イ)民間企業と大学等が連携して実施する研究開発(平成19年度以降)」の2つの

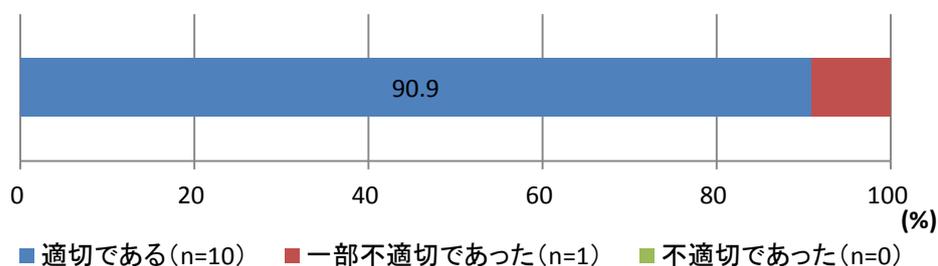
スキームがあります。貴機関の活用したスキームを選択してください。／活用したスキームを選択してください。(SA)



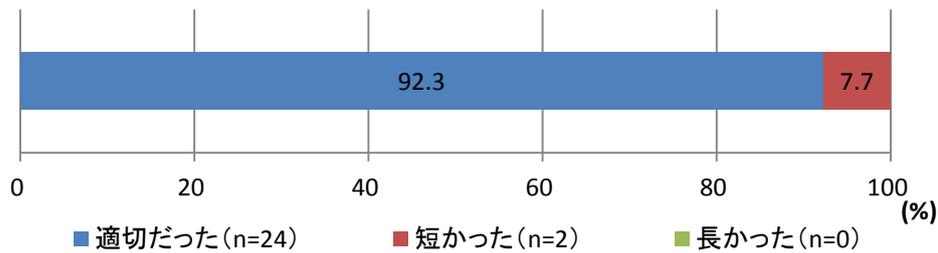
活用したスキームは適切でしたか。(ア) 技術移転を扱う組織が企業と大学を仲介し、民間企業と大学等が連携して実施する研究開発 (SA)



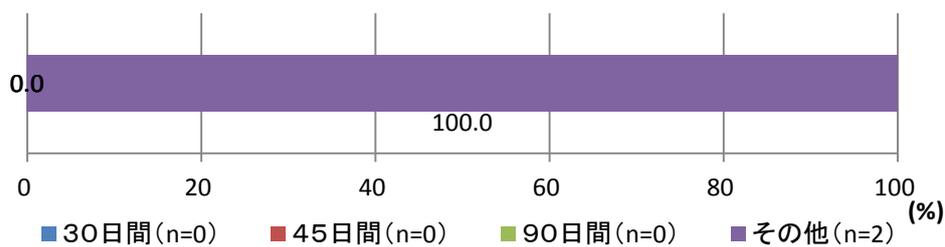
活用したスキームは適切でしたか。(イ) 民間企業と大学等が連携して実施する研究開発 (平成19年度以降) (SA)



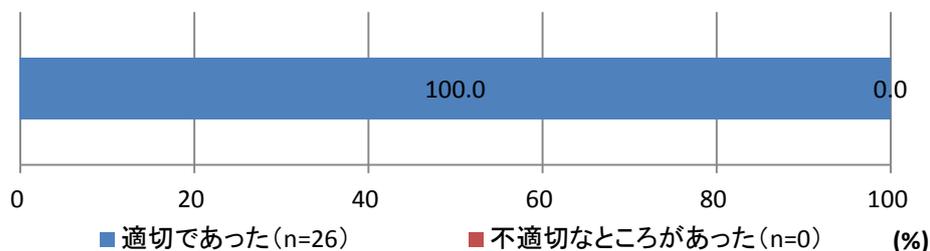
本制度の公募期間は適切でしたか。現在の公募期間は約60日です。(SA)



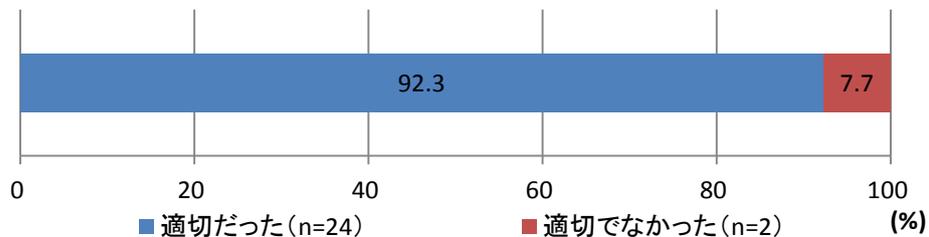
「短かった」及び「長かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを適切とお考えですか。(SA)



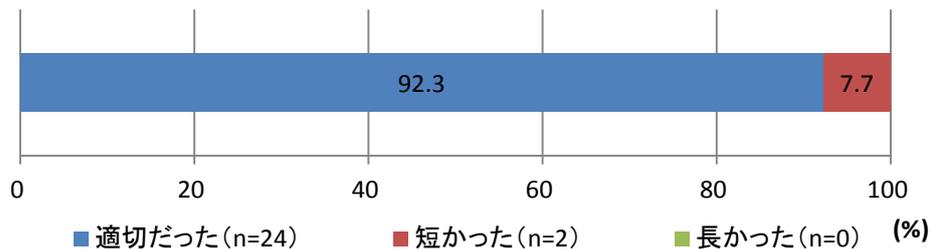
補助金の内容(補助対象経費の費目)は適切とお考えですか。(SA)



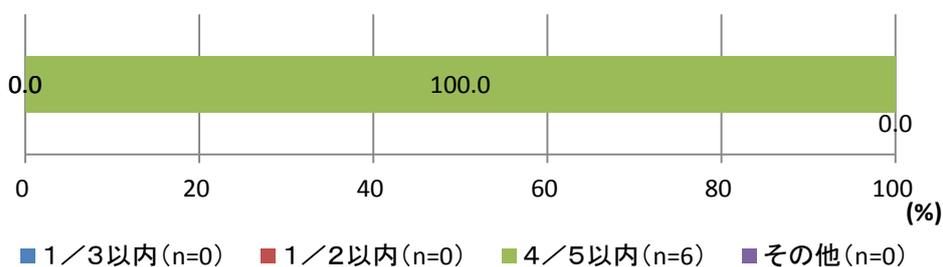
補助金の額(1年間1億円程度まで、新規提案時の下限は1年度1千万円)は適切でしたか。(SA)



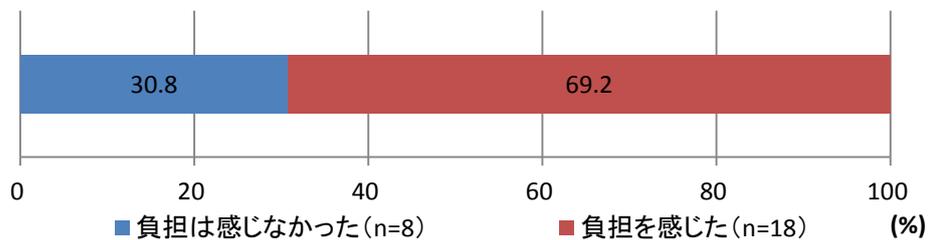
本制度の補助率(助成対象経費の3分の2以内)は適切でしたか。(SA)



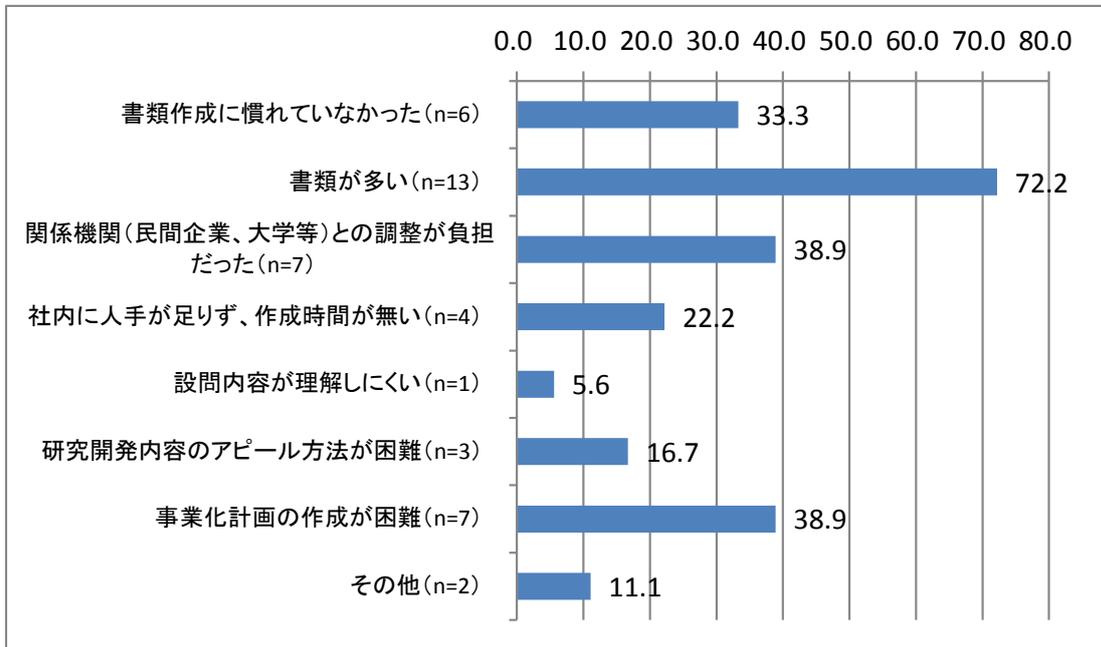
「低かった」及び「高かった」とお答えの方にご質問します。どのくらいを相当とお考えですか。(SA)



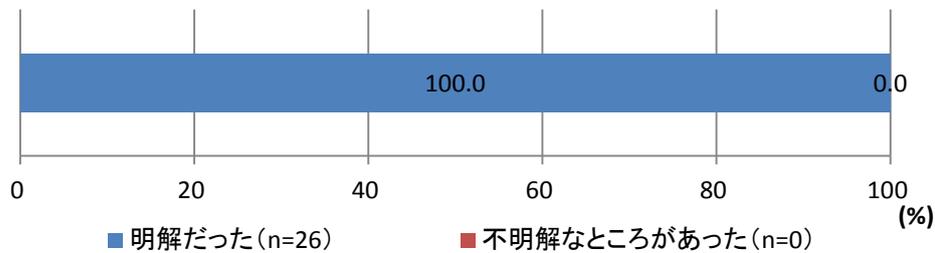
応募に必要な申請書類作成時の作業負担はどの程度でしたか。(SA)



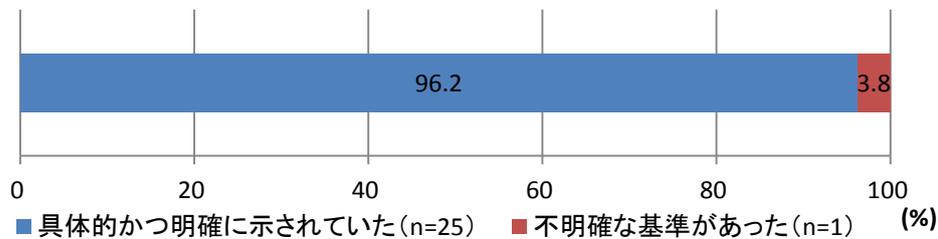
「負担を感じた」場合の理由 (MA)



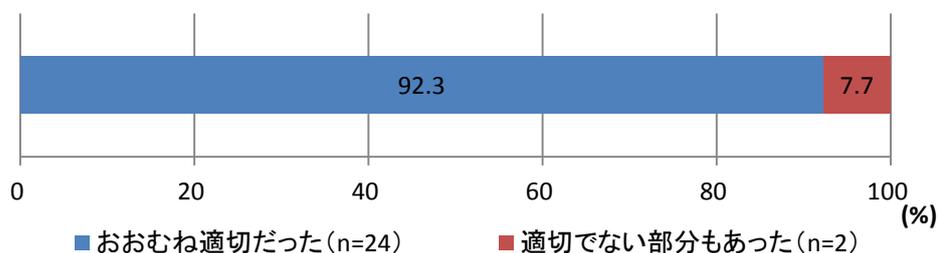
手続きは明解でしたか。(SA)



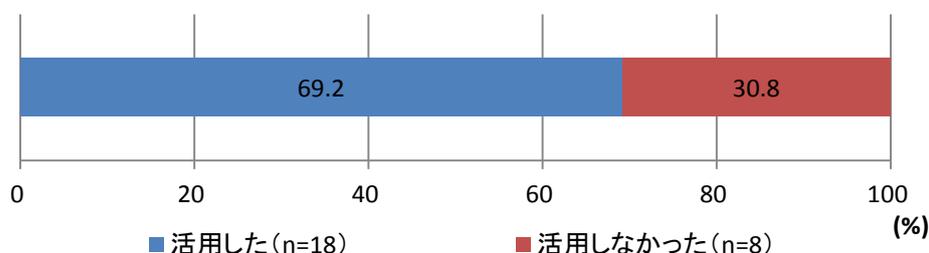
具体的かつ明確な審査基準が示されていましたか。(SA)



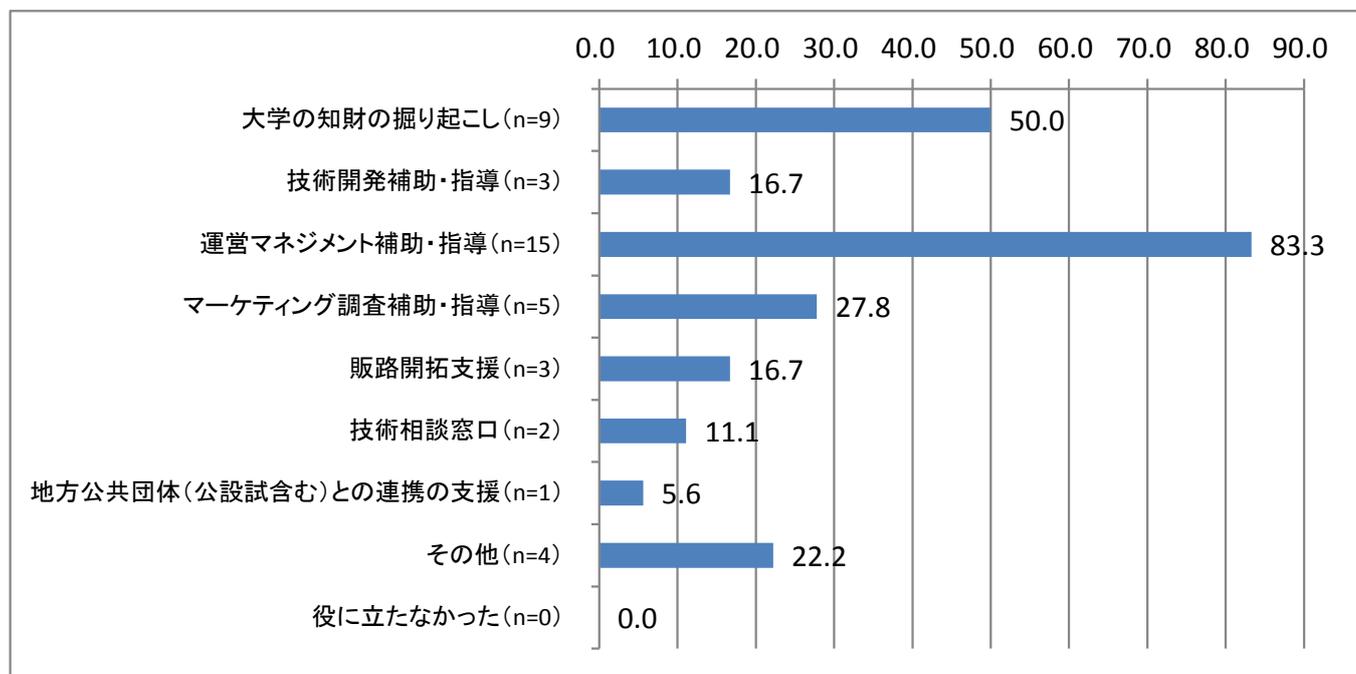
本制度において、成果管理責任者の研究開発管理は適切なものだと感じましたか。(SA)



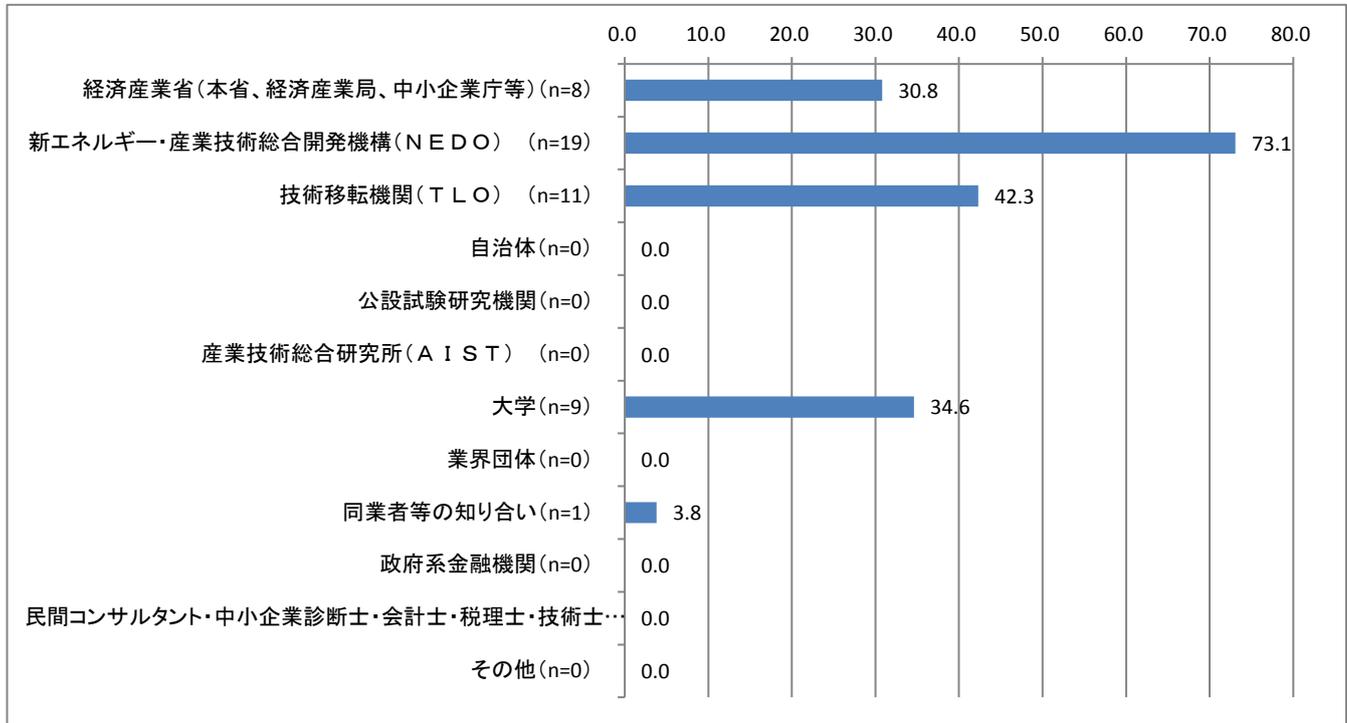
本研究開発の実施にあたり、技術移転を扱う組織(TLO等)や公設試験研究機関等を何らか活用されましたか。(SA)



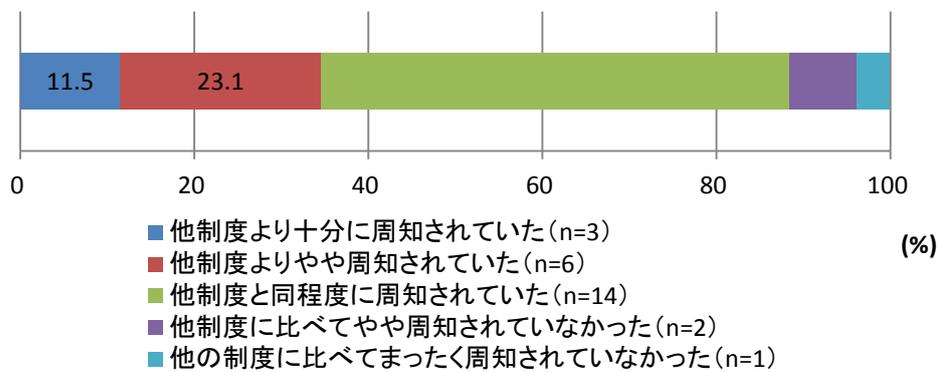
活用した」と回答した方に質問します。技術移転を扱う組織(TLO等)や公設試験研究機関のどのような機能が役に立ちましたか。(MA)



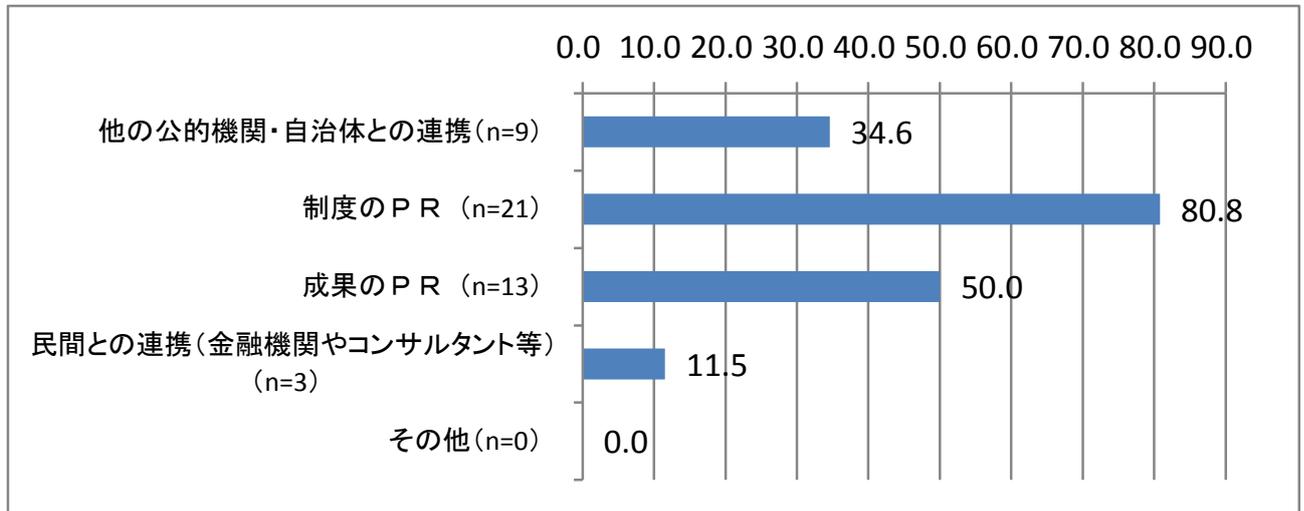
本制度の公募が実施されることをどこから知りましたか。(MA)



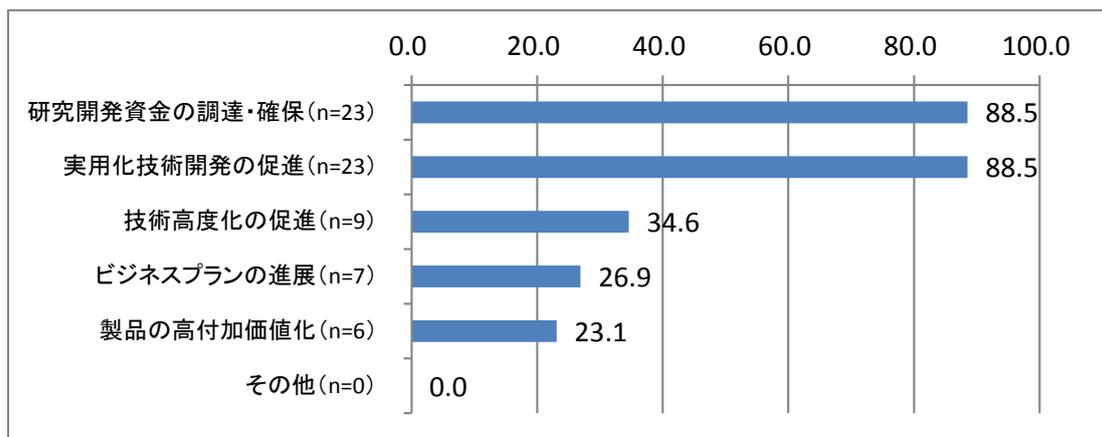
本制度は他の制度に比べて周知されていましたか。(SA)



本制度のような産学連携に関する国制度を、世の中にさらに知ってもらうために必要なことはどんなこととお考えですか。(MA)



本制度はどのような点で有効であったと思いますか。(MA)



2. ヒアリング調査結果【2/14 時点：分類3のみ記載】

【分類 1】助成事業期間終了時点において所期研究開発成果を得られず、かつ、現在まだ所期研究開発成果を得られていない者

A本事業の成果について

- 本事業の助成事業期間終了時点までに、研究開発・実用化を達成した（達成できなかった）主な要因（阻害要因）

- 助成事業終了後の状況、及びその背景・要因

B施策の目的・政策的位置付けの妥当性

a) 「地域イノベーション協創プログラム」に係る施策の目的の妥当性

- 施策の目的が波及効果、時期、主体等を含め、具体的であるか

- 技術的課題が整理され、目的に至る具体的目標は立てられているか

- インフラ整備と研究開発助成を組み合わせることは、地域におけるイノベーション創出の観点から適切なものであったか

b) 施策の政策的位置付けの妥当性

- 施策の政策的位置意義（上位の政策との関連付け）は高いか

- 他の類似施策と本施策との違い、関係をどのように認識しているか

c) 国の施策としての妥当性

- 国として取り組む必要のある施策と考えられるか。また、経済産業省が行うべき施策か

- 他の省庁・独法等の事業と比較・選択のうえで助成事業を選んだり、連携して実施したものはあるか

C施策の構造及び目的実現の見通し

- 本事業の実施によって、地域でのイノベーション創出の成果はあったか。また、その成果は、事業当初の予測（期待）と比して妥当なものか

- 施策の目的を実現するために、技術に関する事業が適切に配置されているか（事業の過不足、予算配分、スケジュール）

**【分類 2】助成事業期間終了時点において、所期研究開発を達成した（所期成果を得た）ものの、
現在までにおいて、実用化を達成していない者**

A本事業の成果について

- 本事業の助成事業期間終了時点までに、研究開発・実用化を達成した（達成できなかった）主な要因（阻害要因）

- 助成事業終了後の状況、及びその背景・要因

B施策の目的・政策的位置付けの妥当性

a) 「地域イノベーション協創プログラム」に係る施策の目的の妥当性

- 施策の目的が波及効果、時期、主体等を含め、具体的であるか

- 技術的課題が整理され、目的に至る具体的目標は立てられているか

- インフラ整備と研究開発助成を組み合わせることは、地域におけるイノベーション創出の観点から適切なものであったか

b) 施策の政策的位置付けの妥当性

- 施策の政策的位置意義（上位の政策との関連付け）は高いか

- 他の類似施策と本施策との違い、関係をどのように認識しているか

c) 国の施策としての妥当性

- 国として取り組む必要のある施策と考えられるか。また、経済産業省が行うべき施策か

- 他の省庁・独法等の事業と比較・選択のうえで助成事業を選んだり、連携して実施したものはあるか

C施策の構造及び目的実現の見通し

- 本事業の実施によって、地域でのイノベーション創出の成果はあったか。また、その成果は、事業当初の予測（期待）と比して妥当なものか

- 施策の目的を実現するために、技術に関する事業が適切に配置されているか（事業の過不足、予算配分、スケジュール）

【分類 3】助成事業期間終了時点において所期研究開発を達成し、かつ、現在までに実用化を達成している者

«A 者»

A本事業の成果について

- 本事業の助成事業期間終了時点までに、研究開発・実用化を達成した（達成できなかった）主な要因（阻害要因）
 - ・ A 者が行った経済産業省系の事業は、NEDOのマッチング5件、地域イノベとサポインが各1件である。
 - ・ 上記の事業が、成功するかどうかを決定する要因としては、以下の3点が上げられる。
 - ア) 基本的に大学、企業、管理法人のフォーメーション
 - イ) 大学と企業の緊密度
 - ウ) 企業の本気度

- 助成事業終了後の状況、及びその背景・要因
 - ・ TLOは、基本的に助成事業終了後についての研究開発には直接関与していないが、ライセンスの段階になったら新たに関与し始める。
 - ・ 一部、事業の一手前まで行っている事業がある。これは、大企業主導であり、終了後の資金も十分であることが大きな要因ではあるが、大学、大企業、中小企業のフォーメーションの強さも大きな要因の一つである。

B施策の目的・政策的位置付けの妥当性

a) 「地域イノベーション協創プログラム」に係る施策の目的の妥当性

- 施策の目的が波及効果、時期、主体等を含め、具体的であるか
 - ・ 東北の復興に最も重要な企業の活性化には、事業化に大きな目的を設定している地域イノベーションは有効に機能な施策のひとつである。
 - ・ 地域イノベは、サポインと異なり生産ラインへに資金供与も認められているので、事業化から大量生産体制への移行が容易であるため、成功した時の波及効果が大きいと思われる。

- 技術的課題が整理され、目的に至る具体的目標は立てられているか
 - ・ 重要なポイントは、特に大学と企業の間をより緊密にすることである。その意味では、採択のポイントとしては、特許等の有無よりも、大学と企業の特許の共同出願やライセンスアウトをしているかどうかの方が重要であると思う。

- インフラ整備と研究開発助成を組み合わせることは、地域におけるイノベーション創出の観点から適切なものであったか

- ・大学 ⇒ T L O ⇒ 企業、の関係が、地域シーズをニーズと合致させ企業が E X I T する、最良のパターンの一つである。その意味では、地域イノベーションは、大学、大企業、中小企業、及び T L O のフォーメーションを認めていることから、上記パターンの有用な施策である。

b) 施策の政策的位置付けの妥当性

■ 施策の政策的位置意義（上位の政策との関連付け）は高いか

- ・東北は未だ復興に取り組んでいるために、基本的な研究というよりも、出口に対しての補助が必須である。そのため、例えば文部科学省、J S T のスキームは東北には不向きであるのに対し、事業化を目的の全面に出している経済産業のスキームは、東北の実情に合致している。
- ・ただし、文部科学省、J S T のスキームについても、最近では事業化に対してやや力点を置き始めたように思える。

■ 他の類似施策と本施策との違い、関係をどのように認識しているか

- ・他の省庁と比べ、経済産業省の施策は、事業化について大きなウェイトを置いていると認識している。それが、即効的な経済活性化を目指している東北地域には合致している施策である。
- ・N E D O のマッチングファンドは、必要書類の整理、管理等について、大学と管理法人が行えば良いので、非常に使いやすいスキームである。
- ・それに比較して、地域イノベやサポインは、企業中心であるため、特に慣れていない企業への資料作成や予算の清算作業についてのサポートが非常に負担が掛かる。

c) 国の施策としての妥当性

■ 国として取り組む必要のある施策と考えられるか。また、経済産業省が行うべき施策か

- ・あくまでもシーズを具体的に事業化するのが企業である以上、企業サイドへの支援を行うことが使命である経済産業省が、N E D O のマッチング、地域イノベ、サポイン等を通じて今後も積極的に実施していくべきである。

■ 他の省庁・独法等の事業と比較・選択のうえで助成事業を選んだり、連携して実施したものはあるか

- ・文部科学省、J S T の事業を行っている。

C 施策の構造及び目的実現の見通し

■ 本事業の実施によって、地域でのイノベーション創出の成果はあったか。また、その成果は、事業当初の予測（期待）と比して妥当なものか

- ・製造プロセスが終了し、プロトサンプルのリース、展示会での発表等を始めたケースが

ある。この案件は、大手企業、大学、中小企業が良好なフォーメーションを実施した結果、事業化の一步手前まで達成することができた例である。

■ 施策の目的を実現するために、技術に関する事業が適切に配置されているか（事業の過不足、予算配分、スケジュール）

- ・ 特に、地域イノベについては、プラントの購入費用も認められているため、企業の研究開発から事業化への段階については、有用なスキームであると思われる。
- ・ NEDOのマッチングファンドについては、2/3補助であるため、企業にとってはやや敷居が高くなっているが、企業の本気度を測る意味で有用であることから、事業の成功率は高くなっていると思われる。
- ・ 補助金については、例えばNEDOのマッチングファンドの1/3の企業負担については、政府系金融機関の積極的な関与や、金利負担の軽減等の施策があれば、意欲的な企業の積極的な参加が促進されると思われる。
- ・ 科学研究費ではなく、現在はまだまだ特許の段階ではない未熟な技術・研究に対して、補助を行う、例えば”パテント育成補助金”のようなスキームが必要である。
- ・ NEDOのマッチングファンド以外は、ダブルの目的の出張を認めないといった、まさに大学・企業の生産性を阻害するような清算制度は排除すべきである。